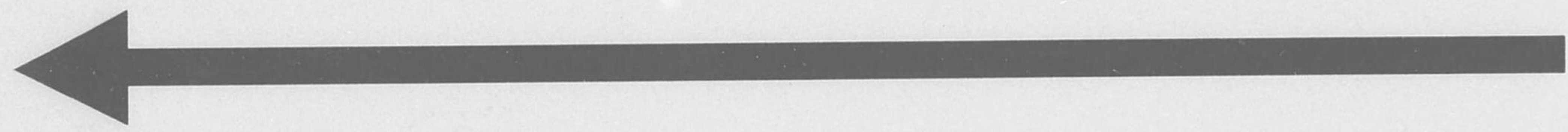


始



337

38

Ⓜ



露光量違いの為重複撮影

687
68

書叢真寫屋家本日

種百棚床

卷上

露光量違いの為重複撮影

34
7
68

書叢真寫屋家本日

種百棚床

卷上

1247-44

337-38

337
38

影撮局輯編院書築建

書叢真寫屋家本日

種百棚床

卷上

京東

行發院書築建

明治
44. 4. 20
丙交

◎日本家屋寫眞叢書

- 床棚百種……………(上下二冊)……………二百葉
- 欄間百種……………(全一冊)……………百葉
- 建具と手摺百種……………(全一冊)……………百葉
- 門と立關百種……………(全一冊)……………百葉
- 外形と諸部百種……………(全一冊)……………百葉

(此外順次發刊す)

本書の發刊に就て

近來一般の人士が住宅を建築するに當つて、其外形とか間取とか、又は内外諸造作などの撰定に、孰れも相當の注意を拂ふやうにあつてきた。是れは畢竟時勢の進歩に伴つて、建築趣味の普遍した結果に外あらぬので、余輩の大に慶賀する所である。從て世間に素人の參考ともなるべき、卑

本書の發刊に就て

近來一般の人士が住宅を建築するに當つて、其外形とか間取とか、又は内外諸造作あごの撰定に、孰れも相當の注意を拂ふやうにあつてきた。是れは畢竟時勢の進歩に伴つて、建築趣味の普遍した結果に外からぬので、余輩の大に慶賀する所である。従て世間に素人の參考ともなるべき、卑近な通俗的な、然かも實用的な住宅建築圖集の出版を、久しく渴望してゐる人達も、甚だ尠くはいこころ思ふ。余輩は所謂普請道樂とも稱すべき一部の素人諸君が、自から建築に堪能な大工、其他の職工を率ゐて、所々の建築物を視察し、而して其粹を抜き英を摘みて、之を自家の建築に應用すると言ふやうな熱心家も、亦た甚だ尠からぬことを、常に屢々耳にしてゐる。

乃で、余輩は斯くの如く考へた。即ち前述のやうな建築に趣味を有する、初學者や素人諸君をして、一目の下に其構造の大要を知らしめ、而して其撰定に便ならしむるには、之を専門的に縮尺製圖するよりも、寧ろありのまゝの實物寫眞にする方こそ、却て了解を早むる唯一の方便だと思つたので、今茲一月、寫眞部員と共に、各地に於て先づ家屋の外形から續て床、棚、欄間、建具、手摺、玄關、門、四阿、便所等の各部、及び其他の雜部に至るまで、無慮壹千有餘種を撮影した上、之を分類蒐輯して茲に『日本家屋寫眞叢書』と名づけて、今回發

刊したのである。而して其所掲の寫眞は、あるべく各方面に涉つて、専ら多種多様と云ふことに重きを置いて撮影したものであるから、孰れも皆模範的のものばかりではない。併し幸ひにも本書が、初學者や素人諸君の参考とありて、聊か其應用の便とあることが出来たならば、余輩の大に満足するところである。

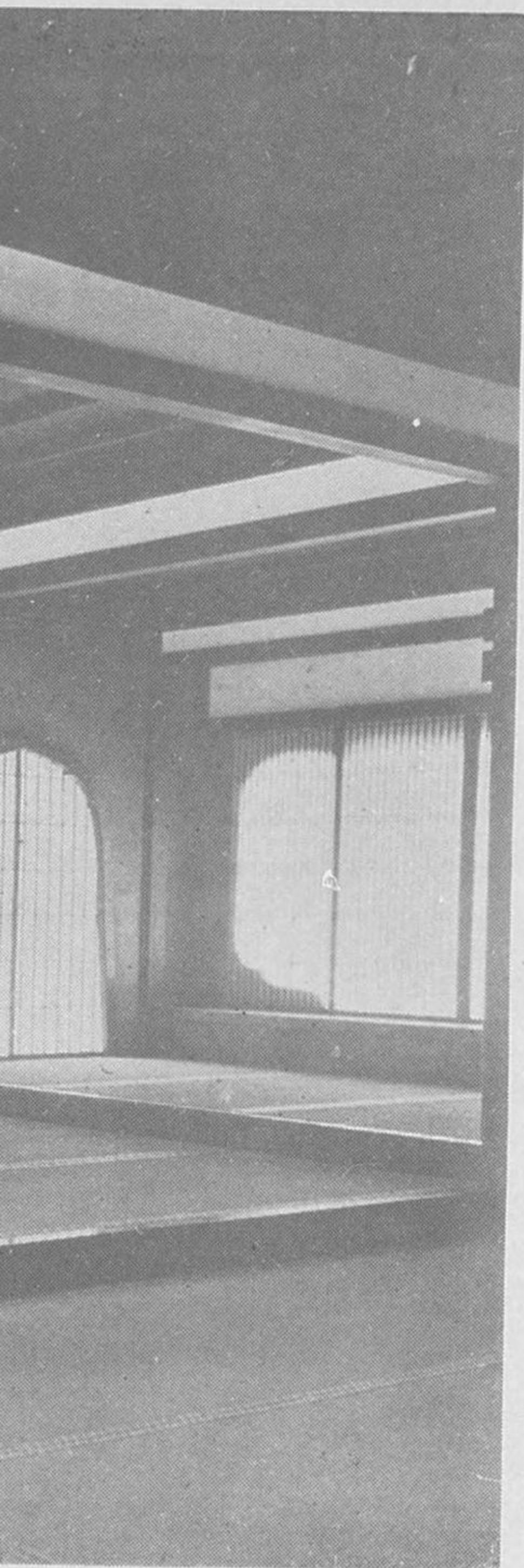
元來、本書中に掲げた寫眞に就ては、其各部の材料の種類、寸法及び疊數、壁色と其配合其他を一々記載する筈であつたが、何分にも其當時撮影の時日に些の餘裕なく、孰れも忽々の裡に之を結了したので、之れが爲め遺憾ながら當初の目的を果たすことが出来なかつたのは、深く大方諸君に謝する所である。夫れから尙ほ所掲の寫眞に對しては、一々其所有主各位の氏名をも記載する筈であつたが、中には之を避けて望まざる人士も多かつたので、遂に全部掲記しなうことにした。閱覽諸君、幸ひに之を諒察せられんことを希望するのである。

終りに臨みて尙ほ一言すべきは、本書の發刊に際し、斯道諸大家の懇篤ある賛助を忝くし、特に伊東工學博士からは、有益な教示と種々の便宜を多く與へられたことで、余輩は茲に其芳志に對し、深く感謝の意を表するのである。

建築書院編輯局にて

吉 原 米 次 郎

明治四十四年三月

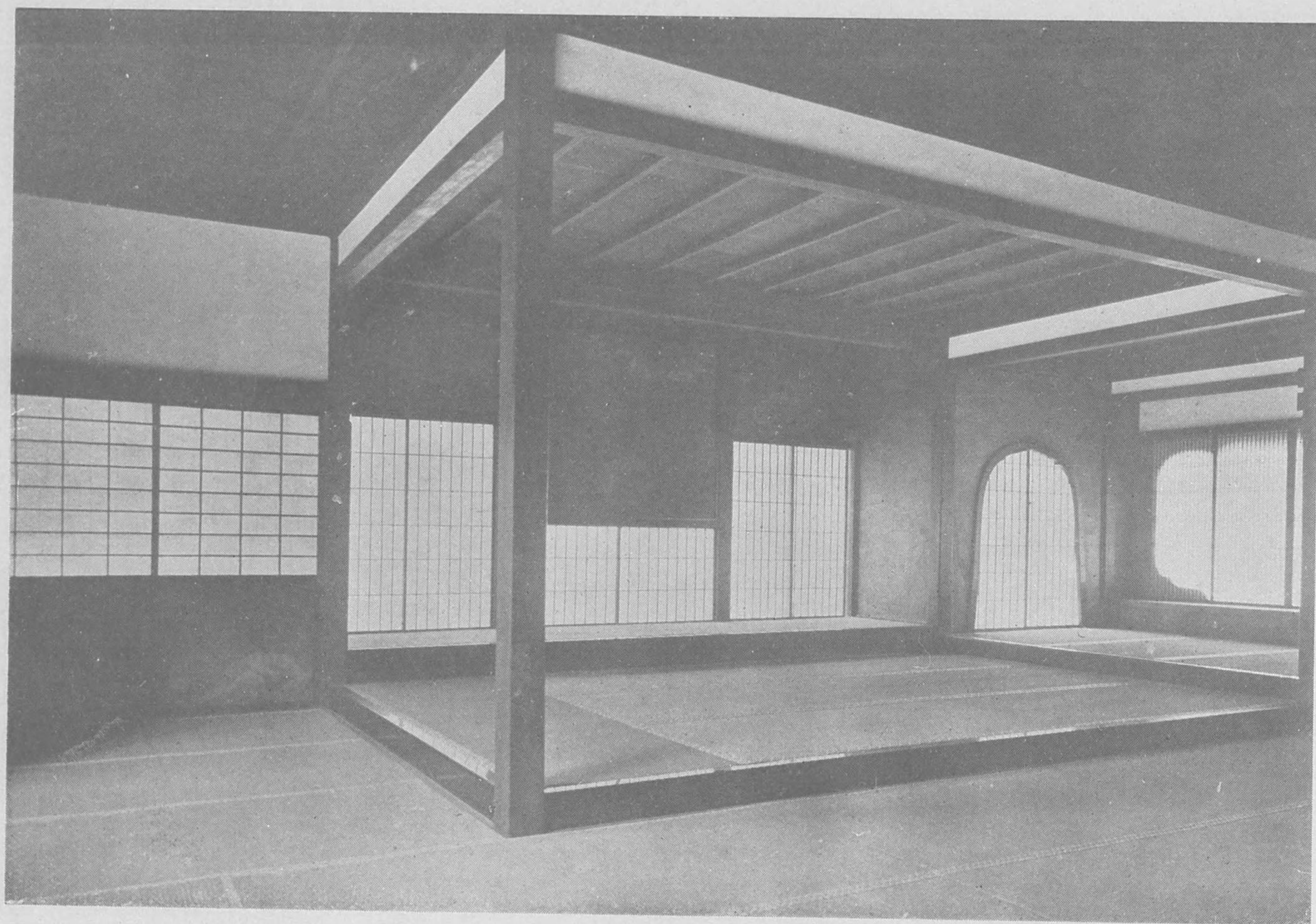


諸大家の懇篤ある賛助を忝くし、特に伊東工學博士からは、
有益な教示と種々の便宜を多く與へられたことで、余輩は
茲に其芳志に對し、深く感謝の意を表するのである。

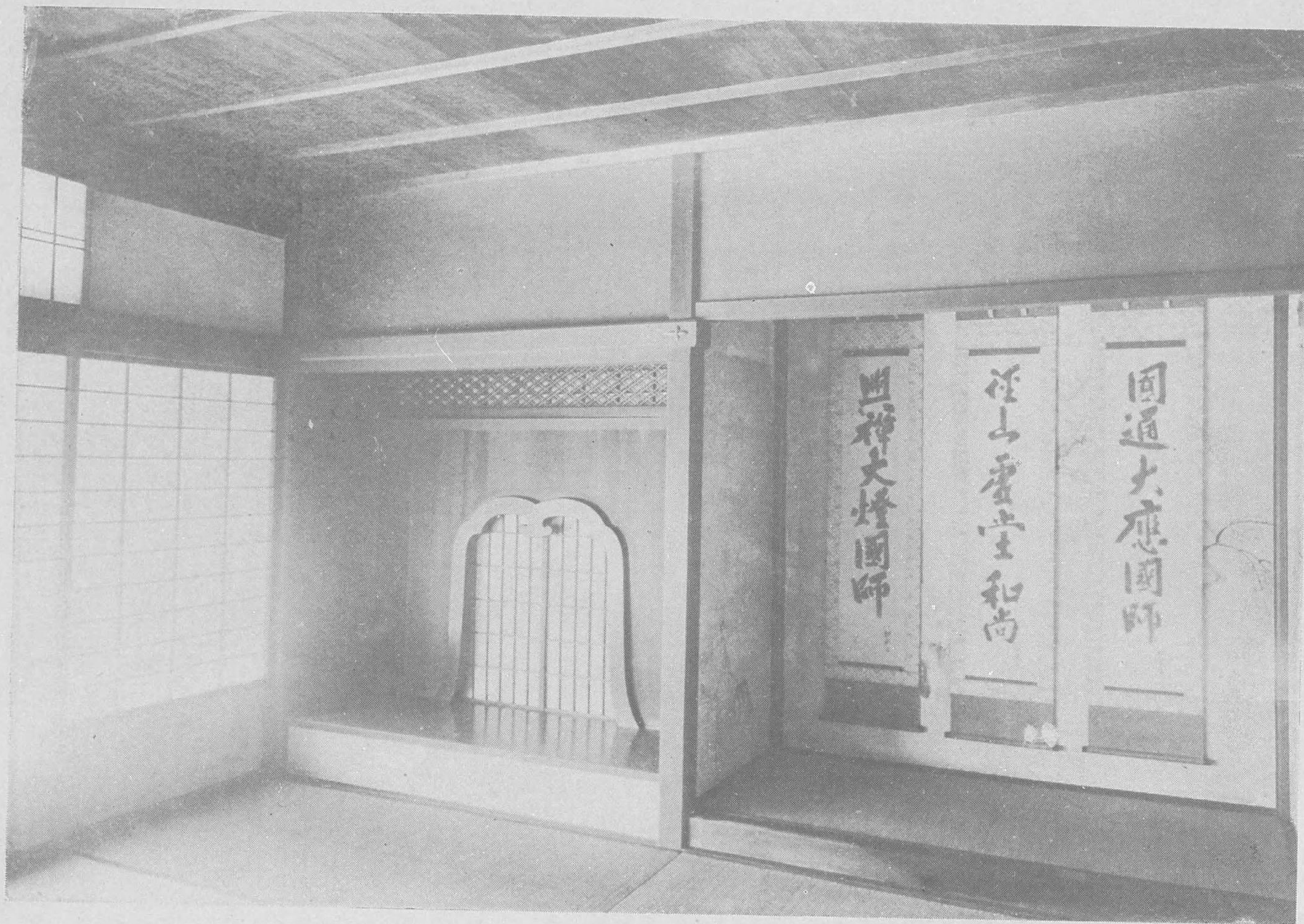
建築書院編輯局にて

吉原米次郎

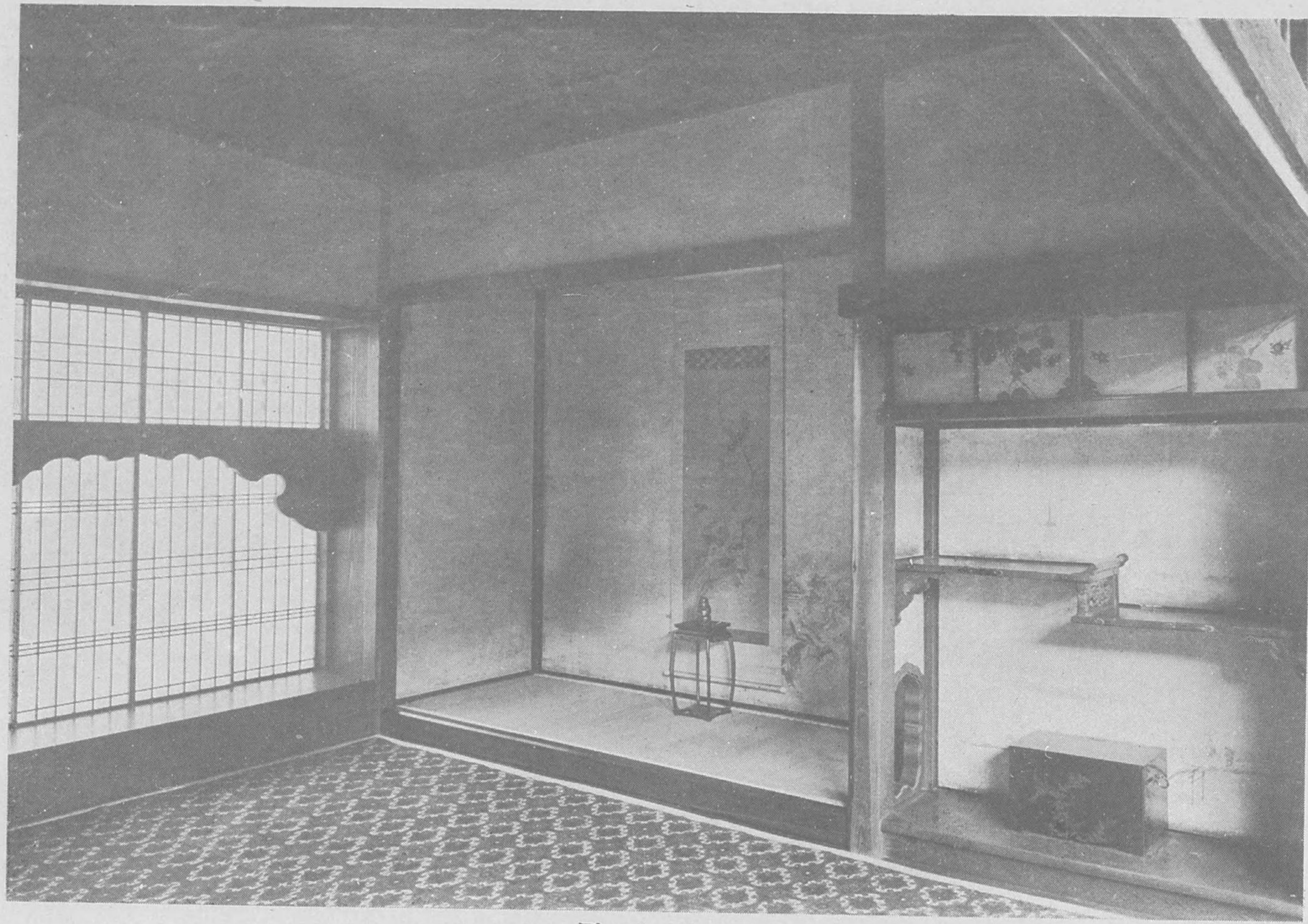
明治四十四年三月



第一圖



圖二第



圖三第

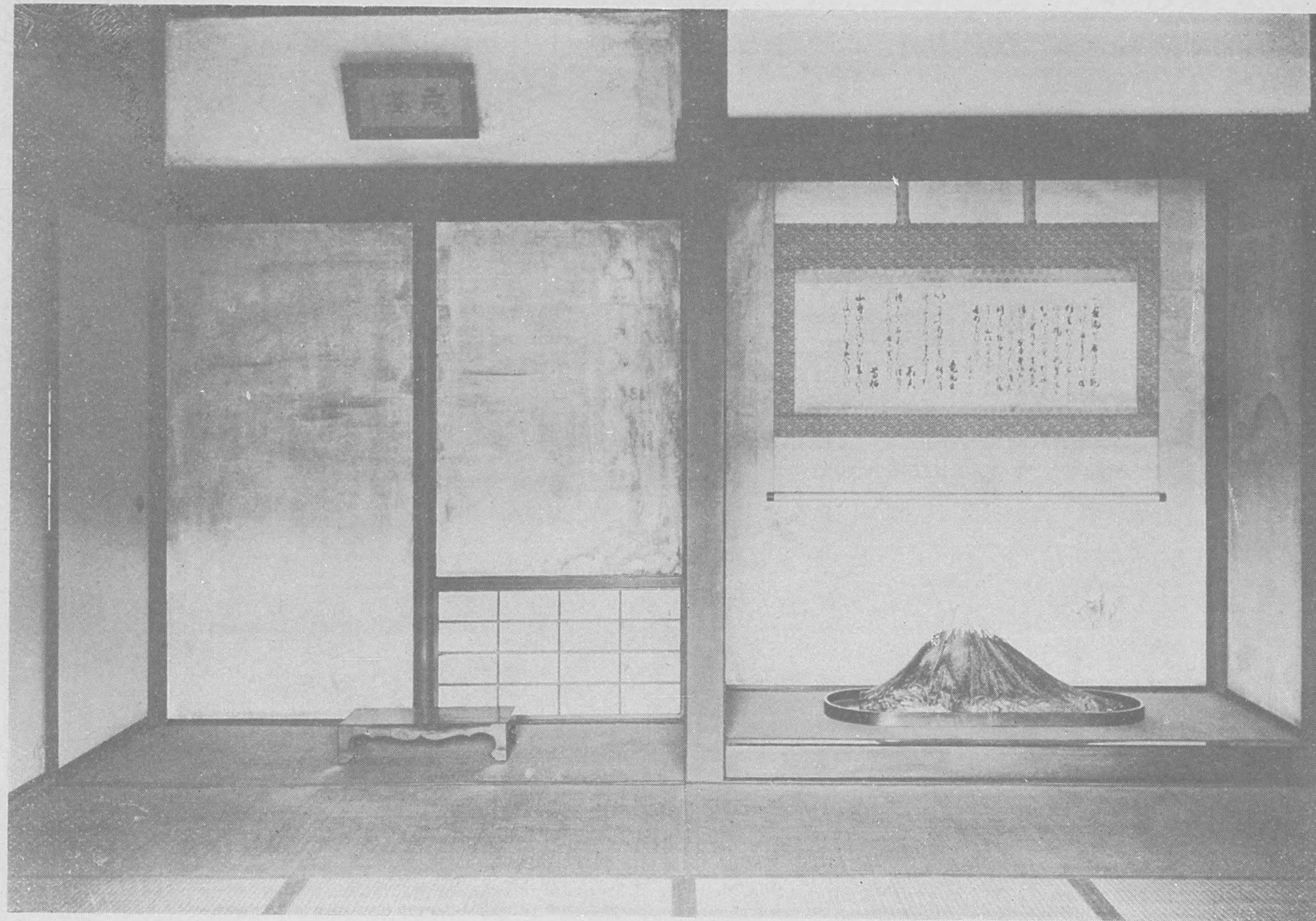


圖 四 第

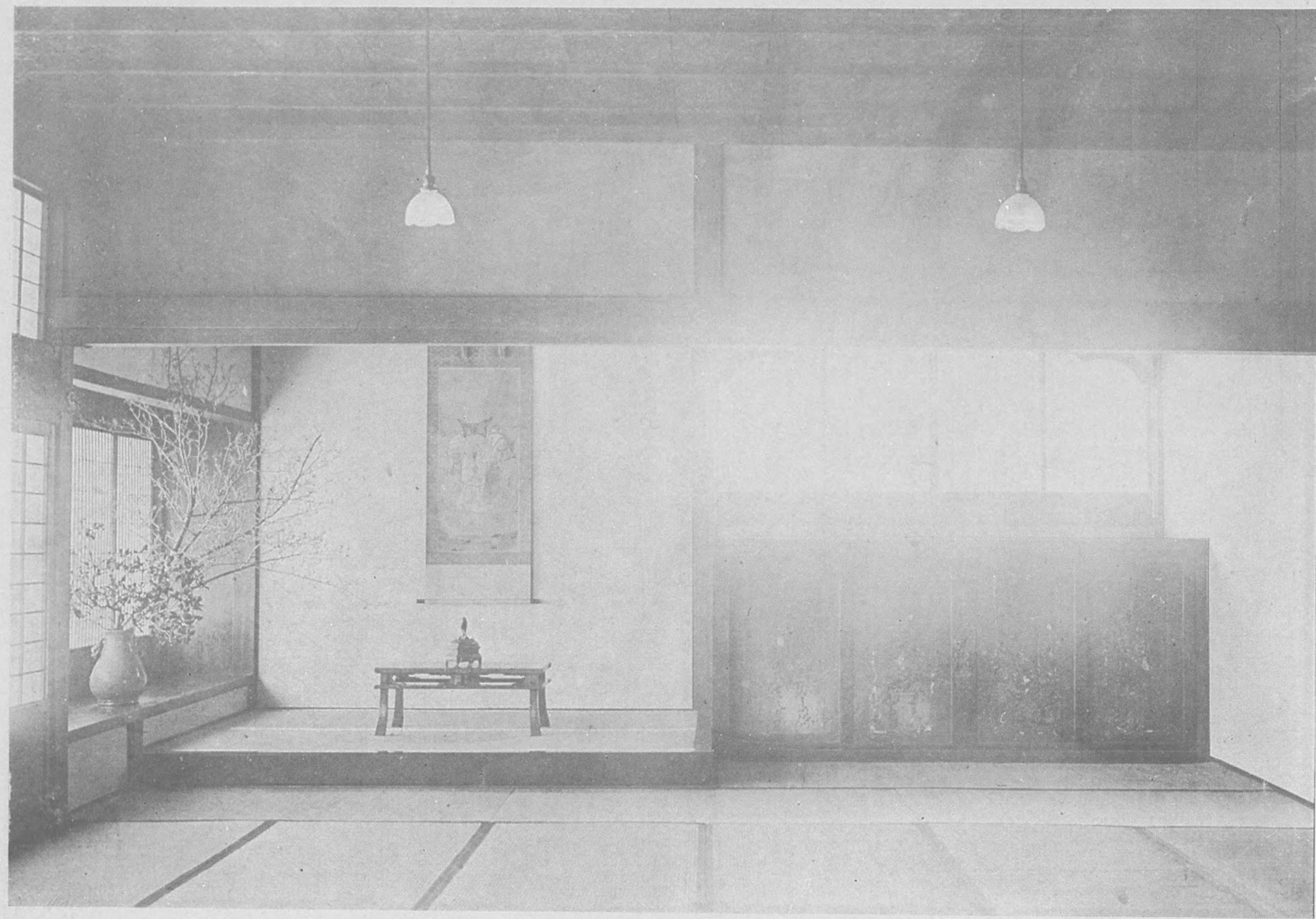
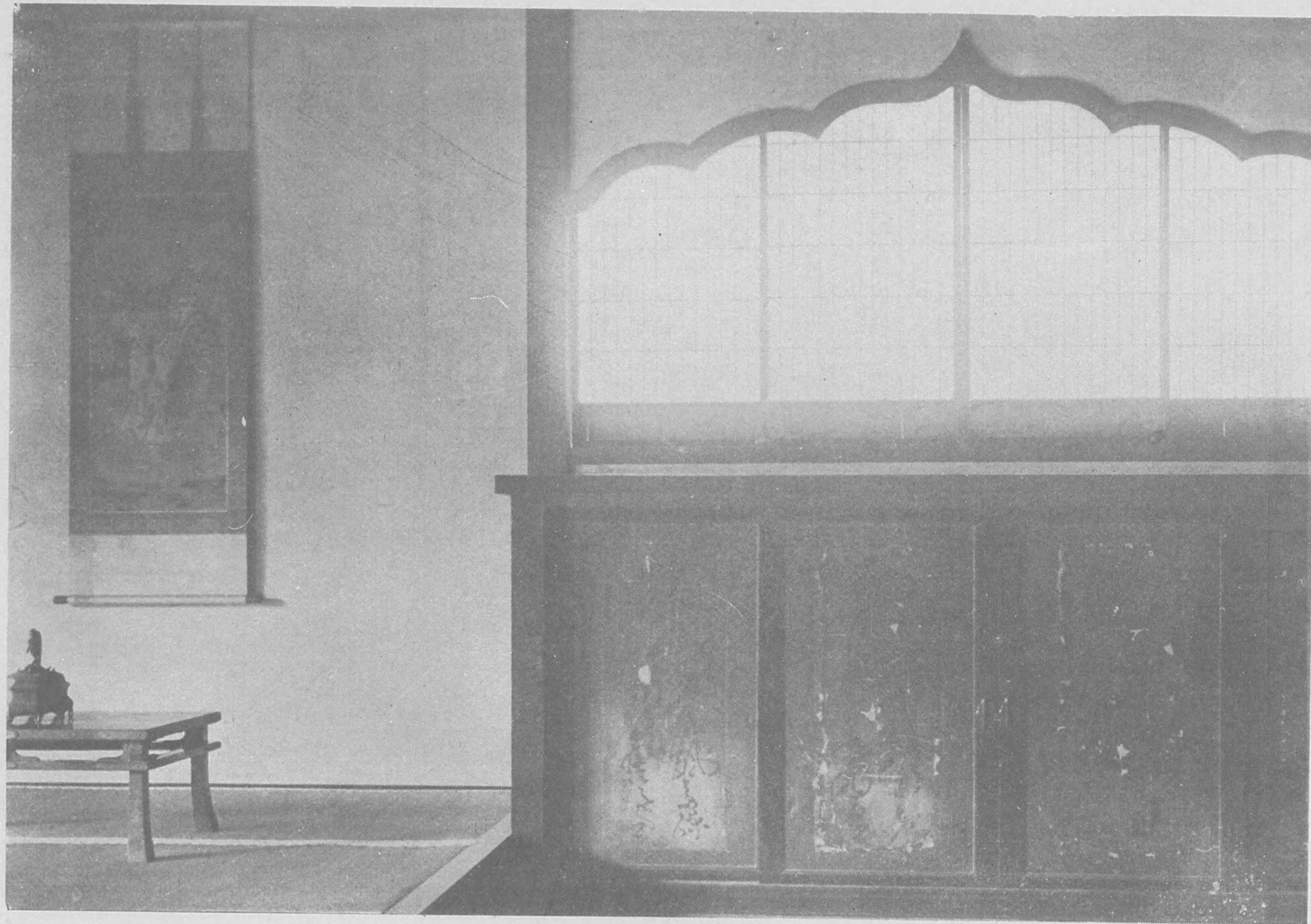
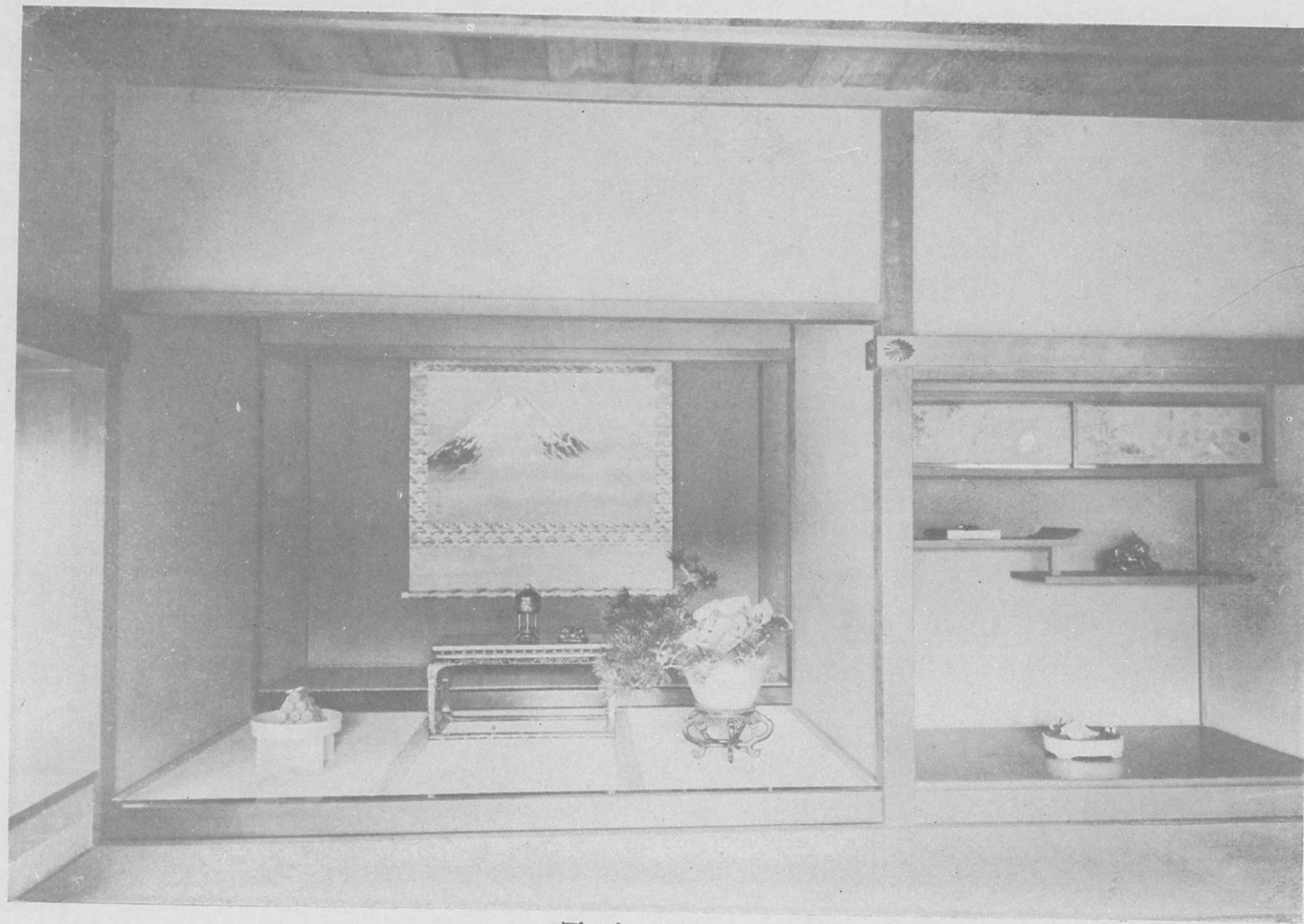


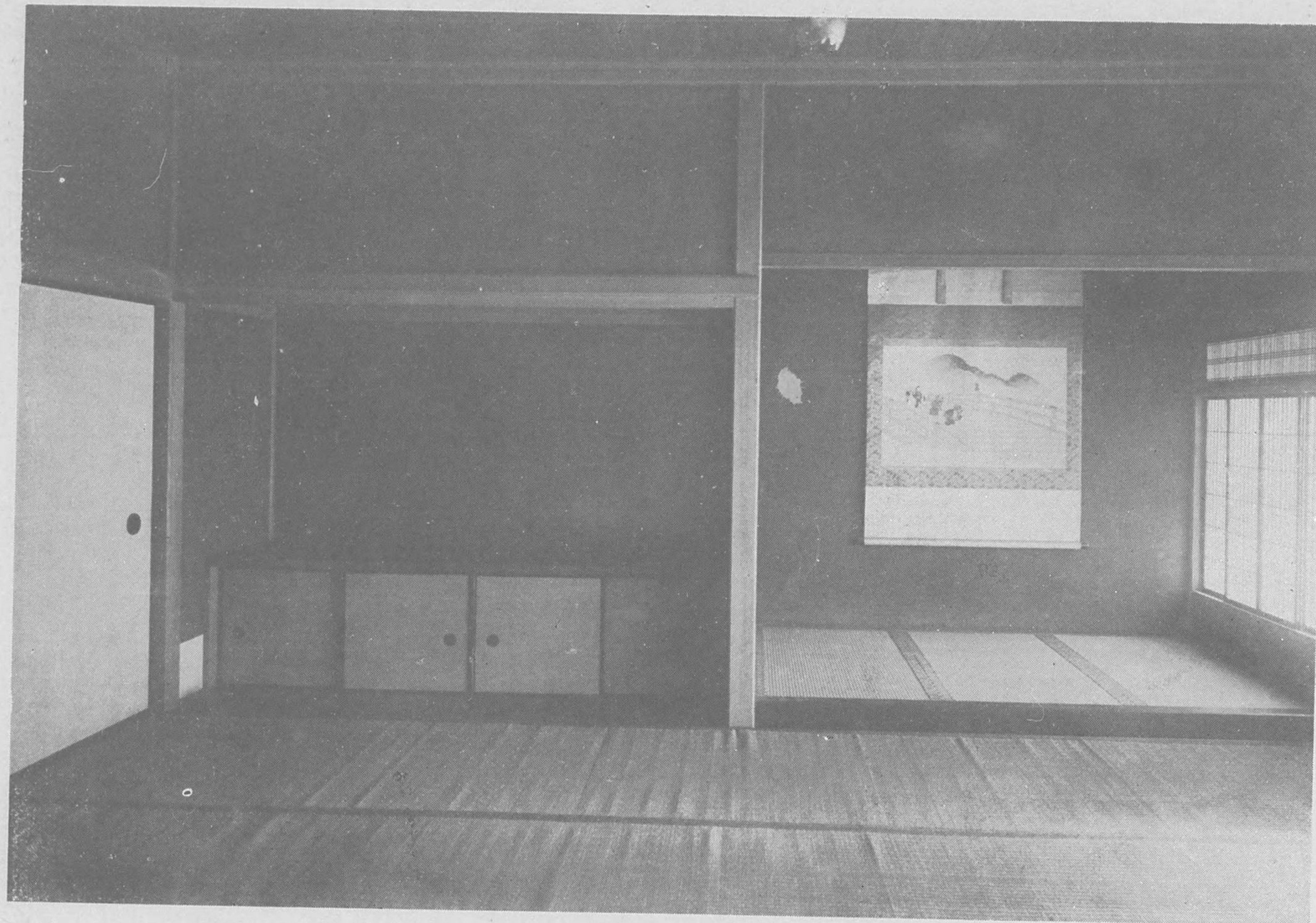
圖 五 第



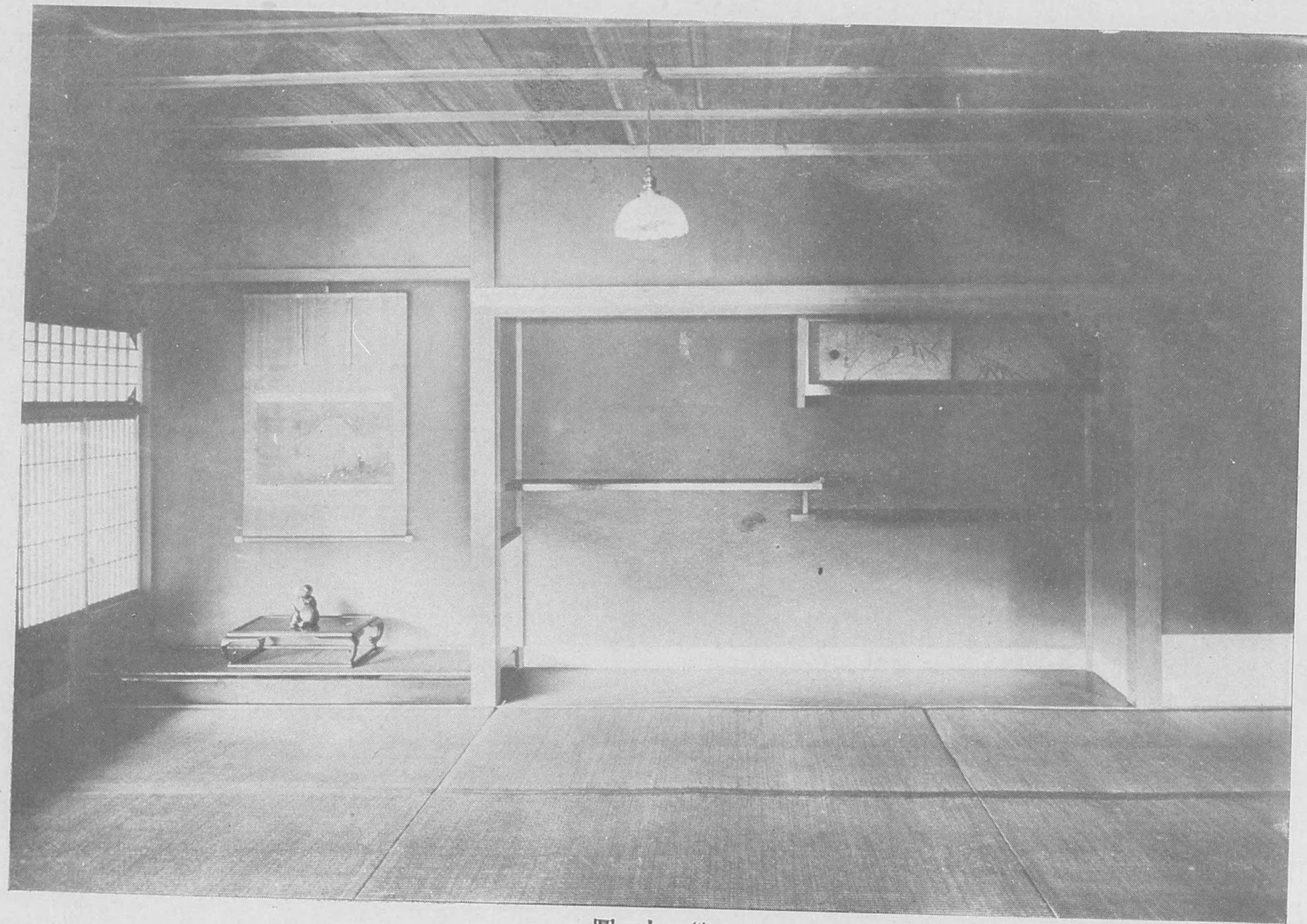
圖六第



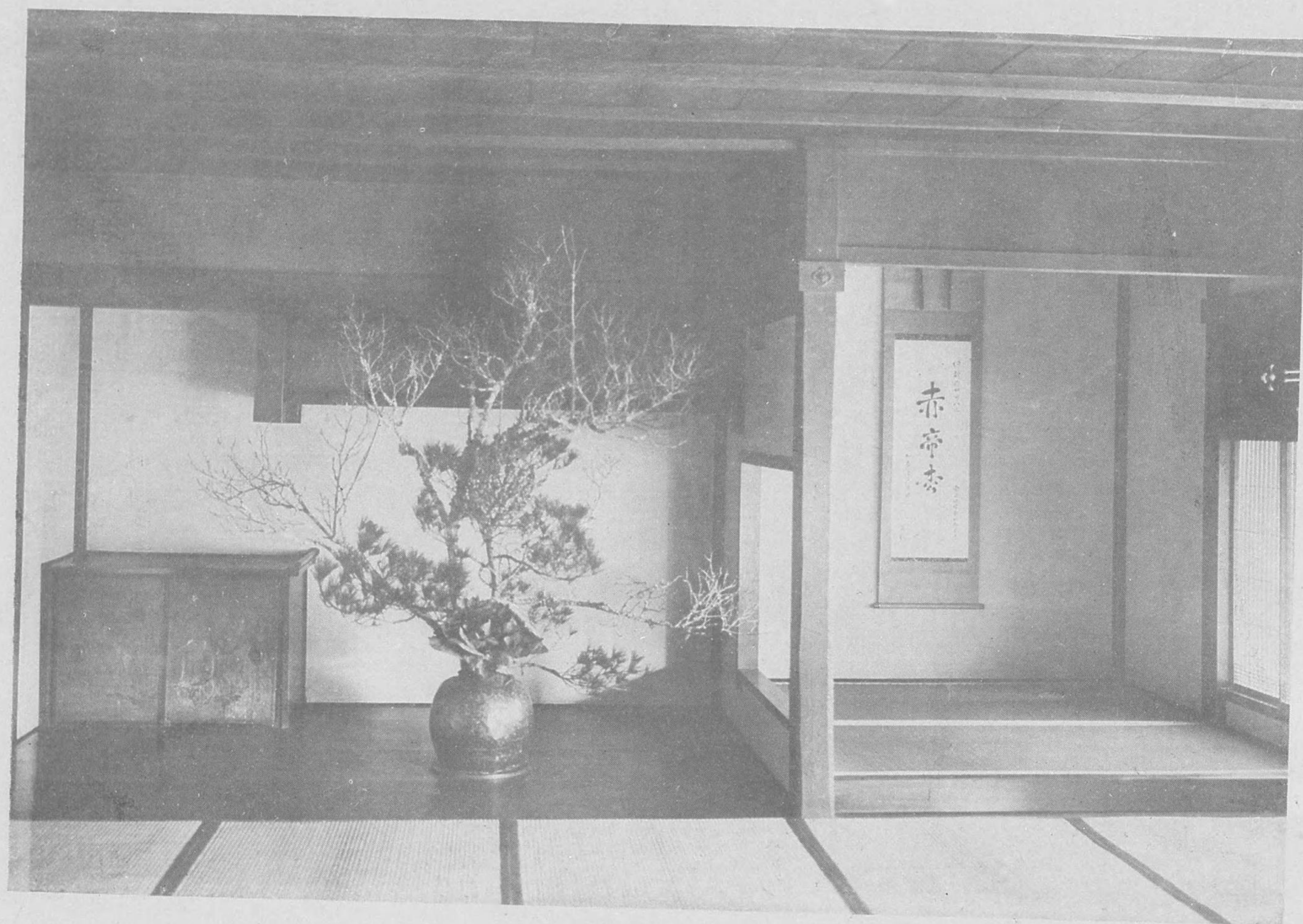
圖七第



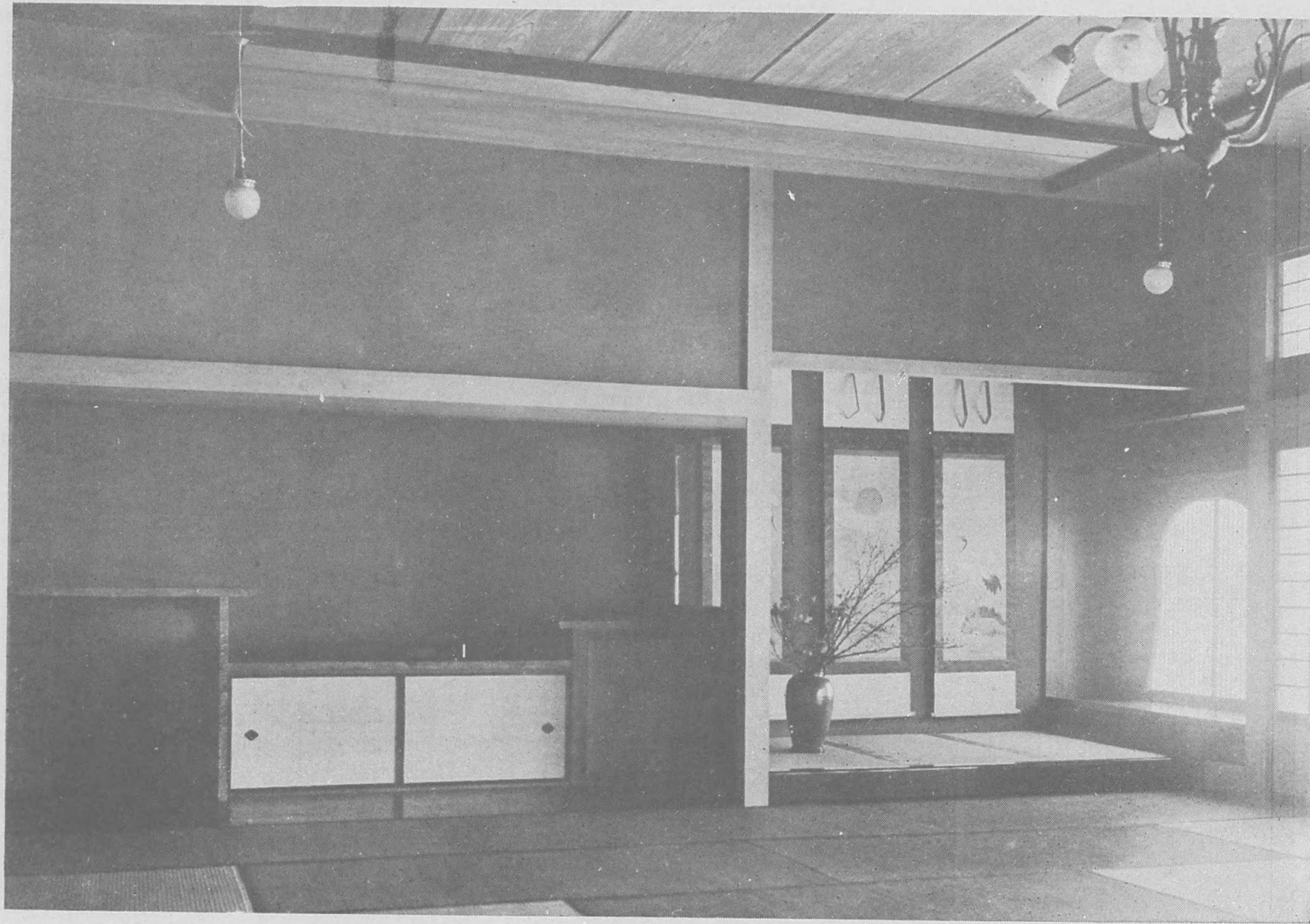
圖八第



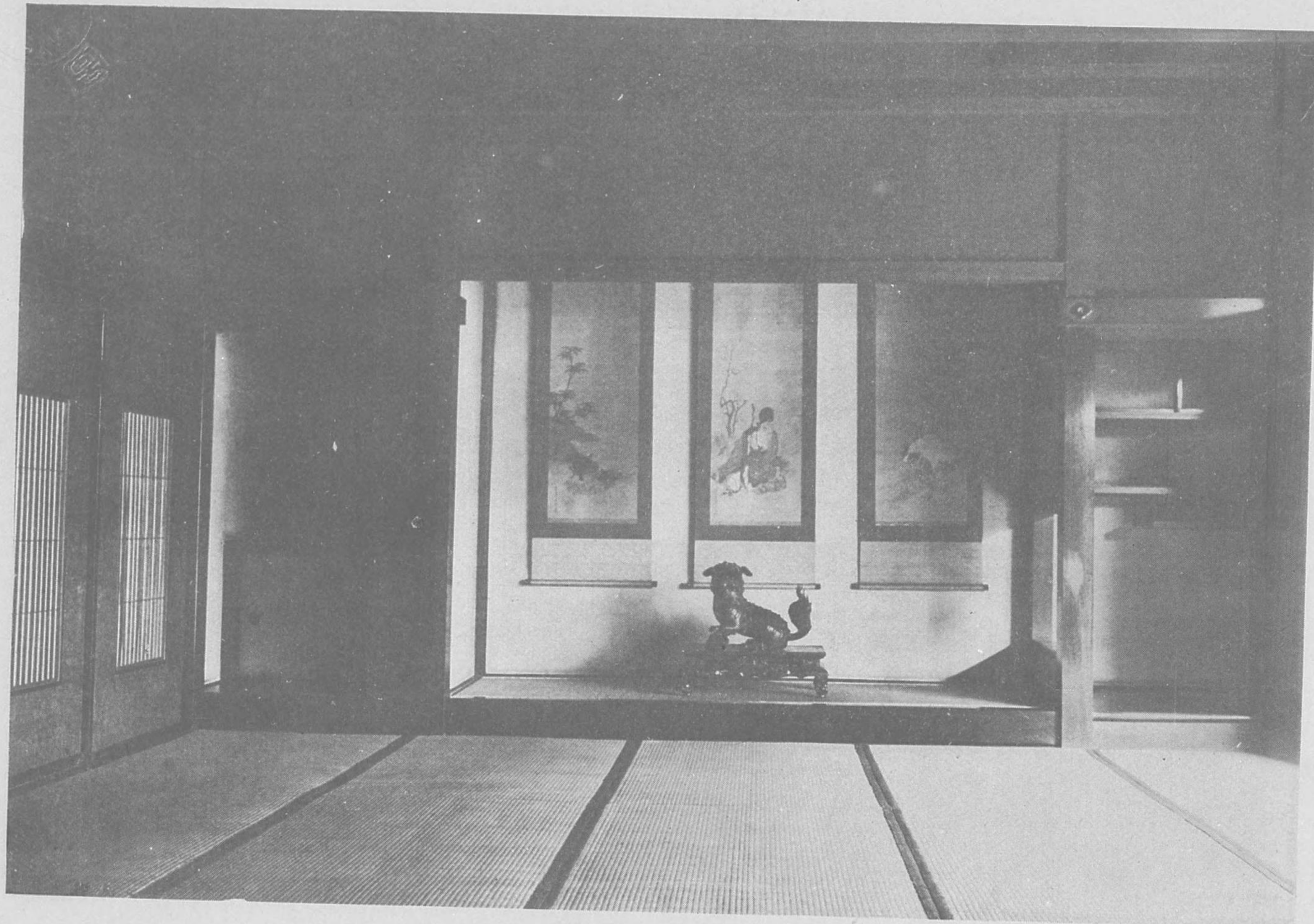
圖九第



第十圖



圖一十第



圖二十第



圖三十第

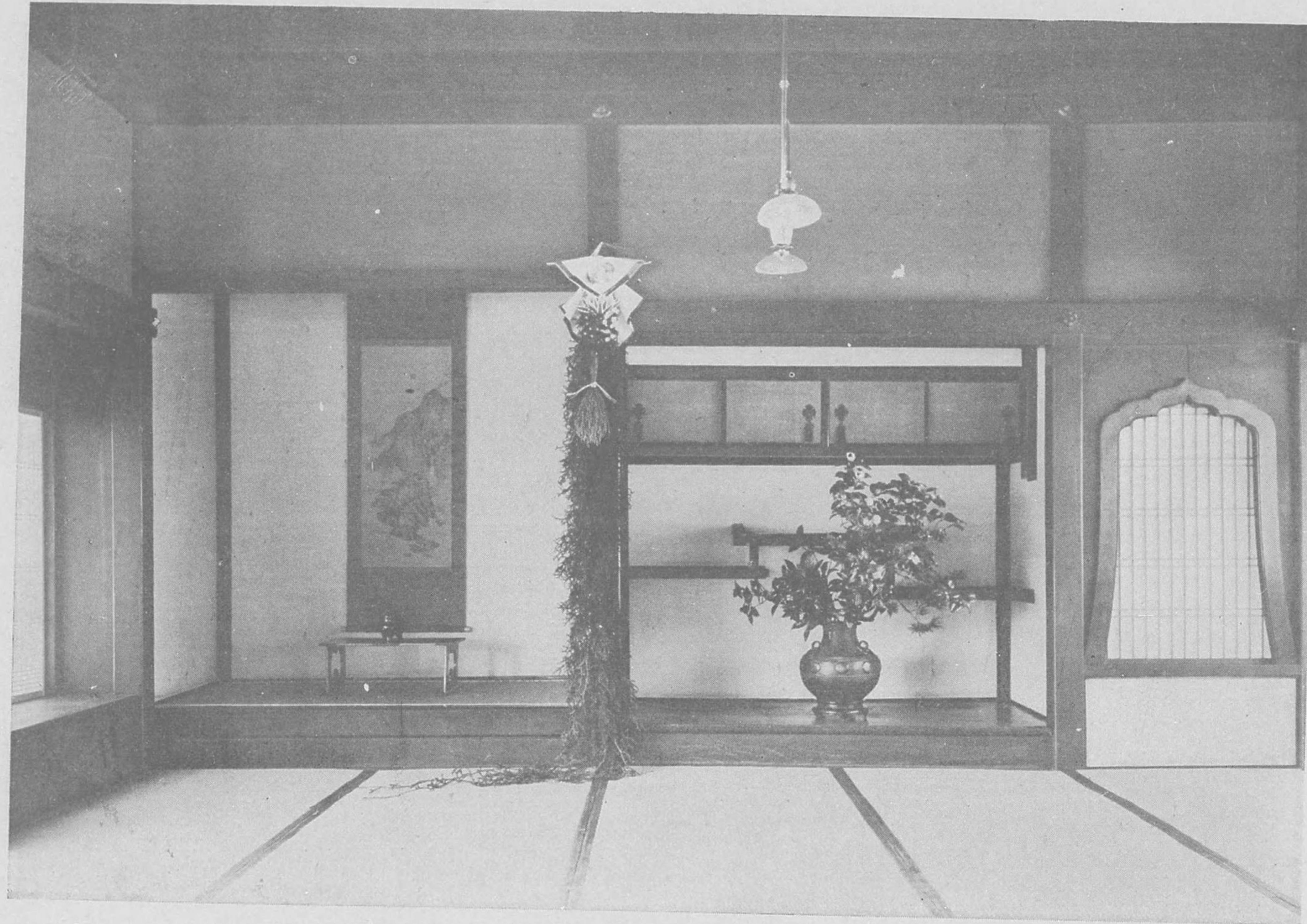


圖 四 十 第

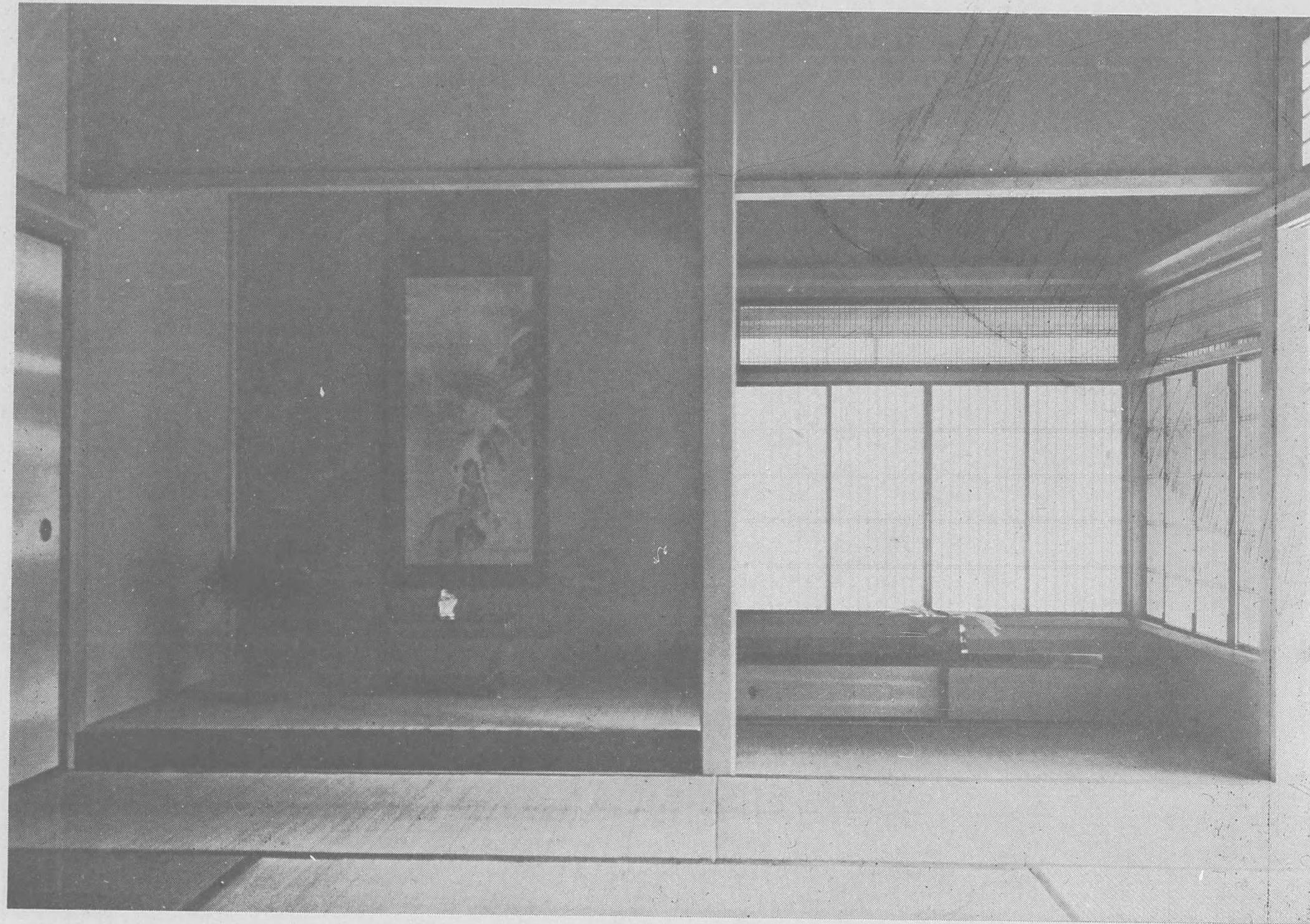
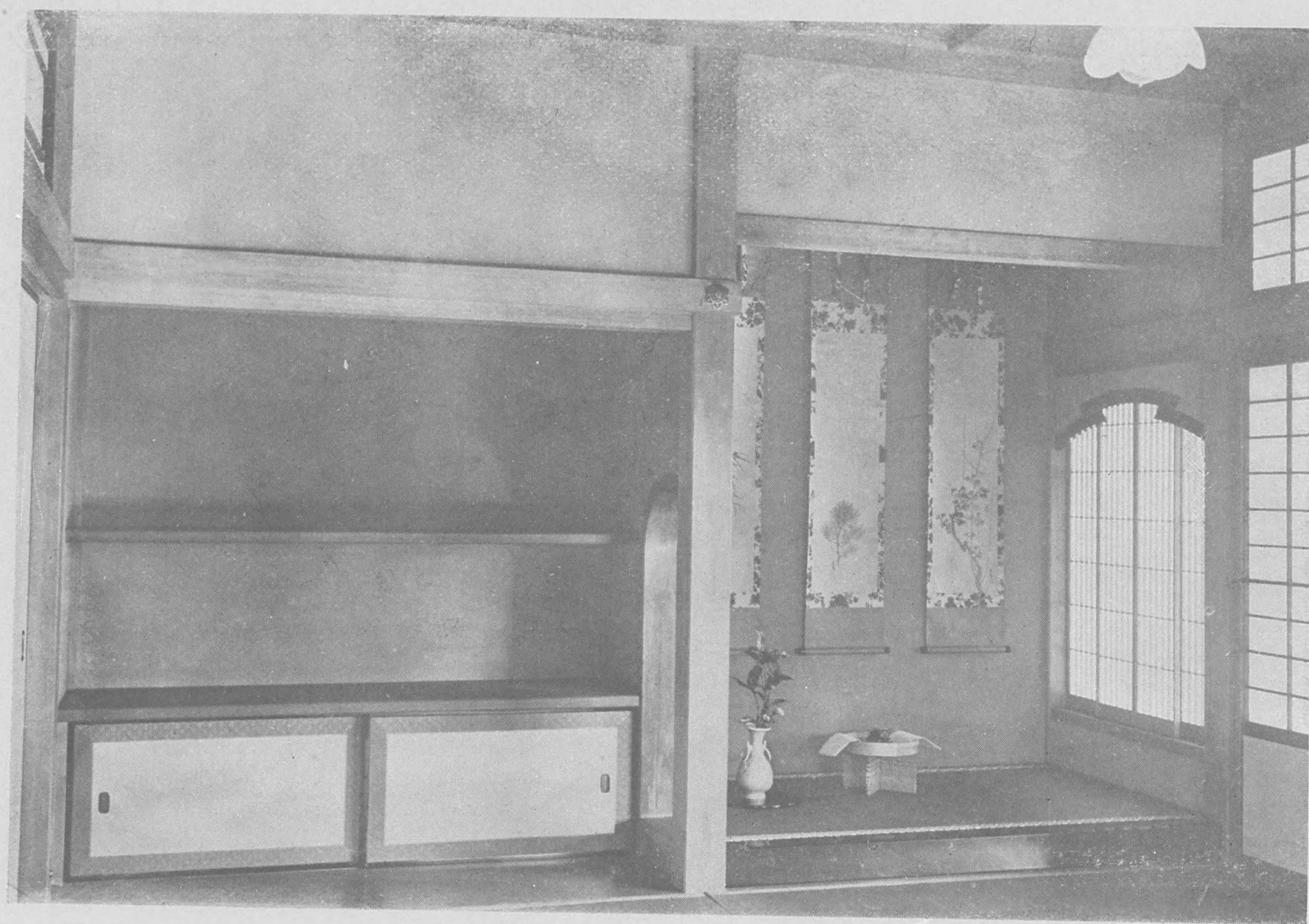


圖 五 十 第



圖六十第



圖七十第

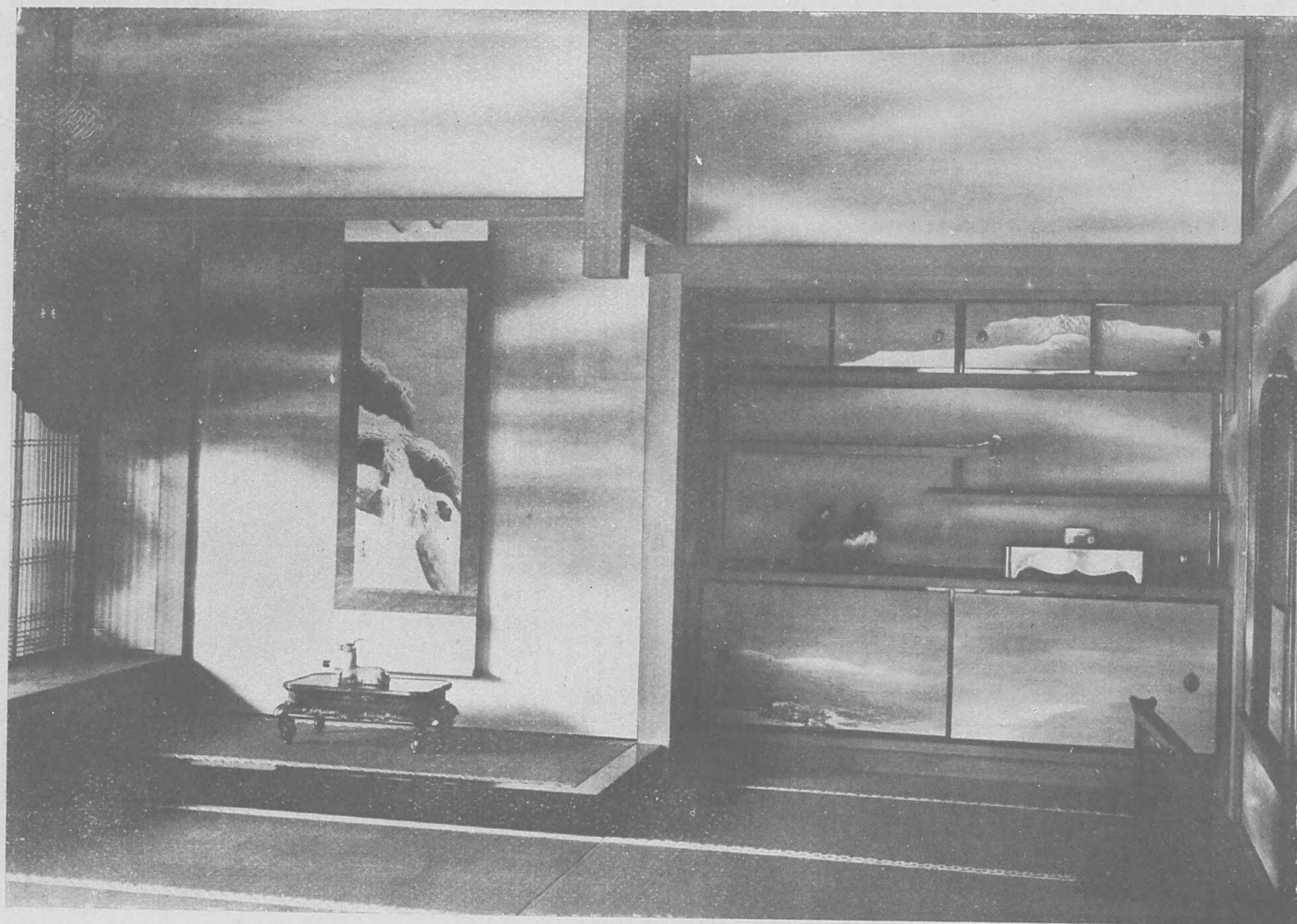
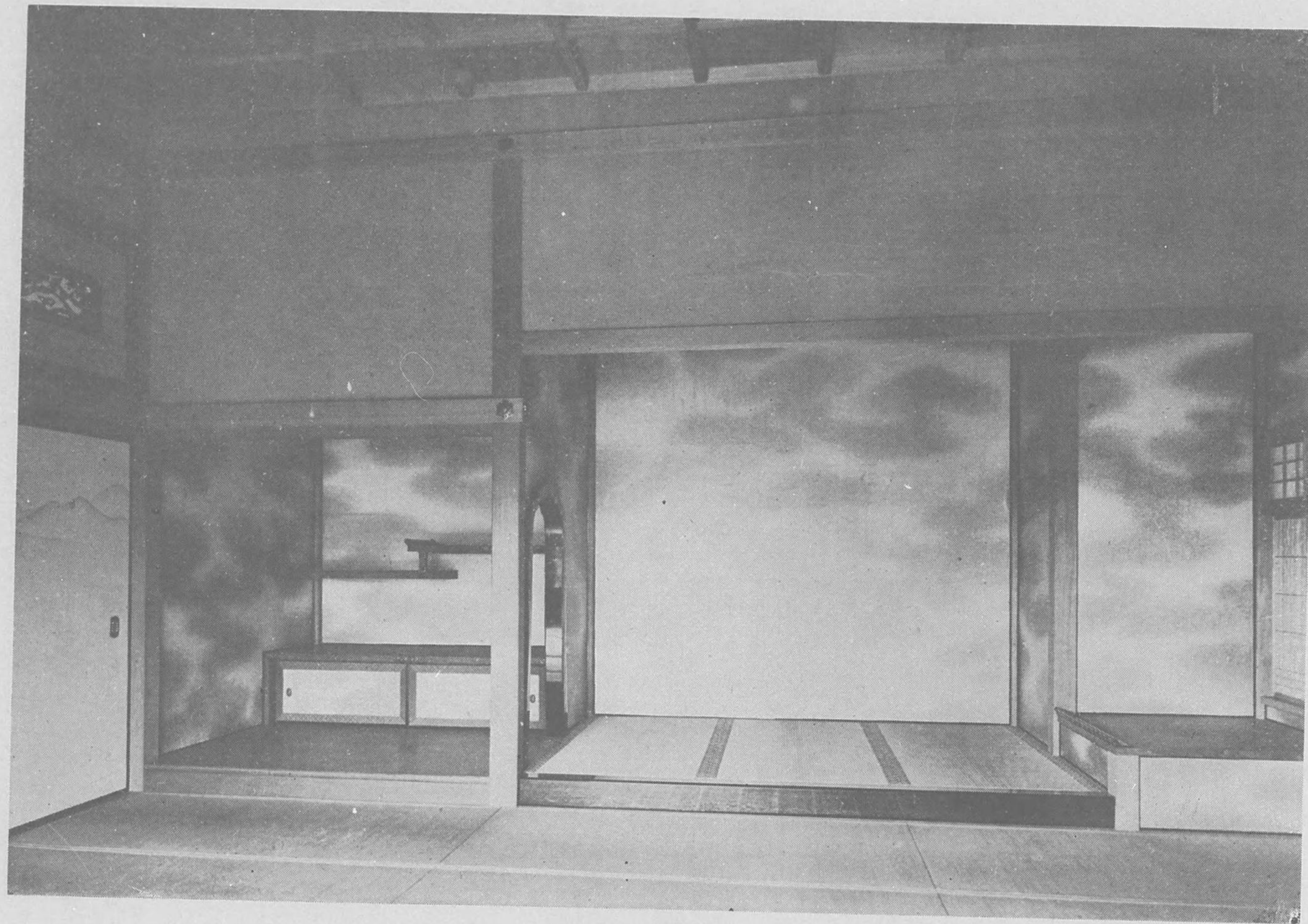


圖 八 十 第



圖九十第

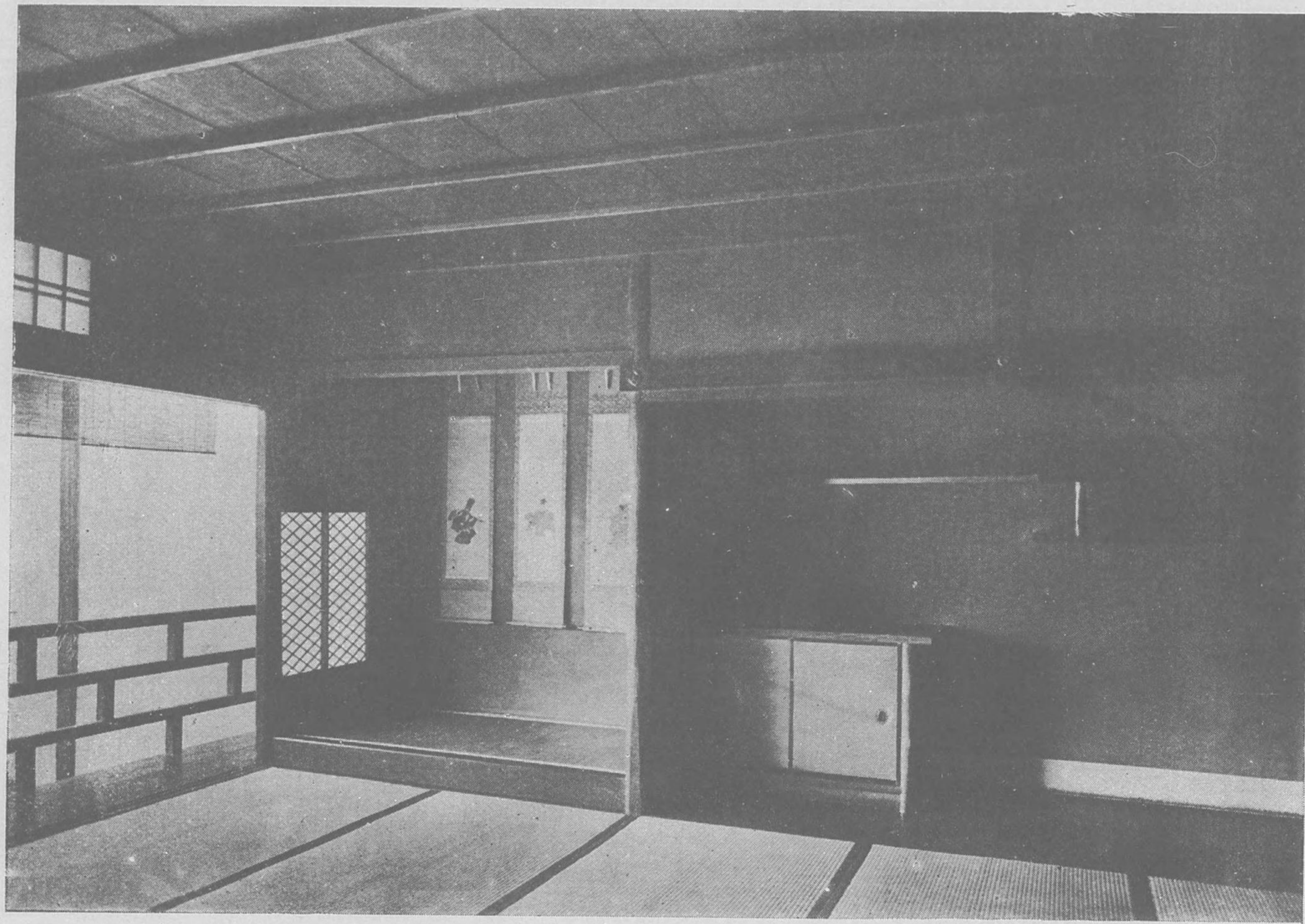


圖 十 二 第



圖 一 十 二 第

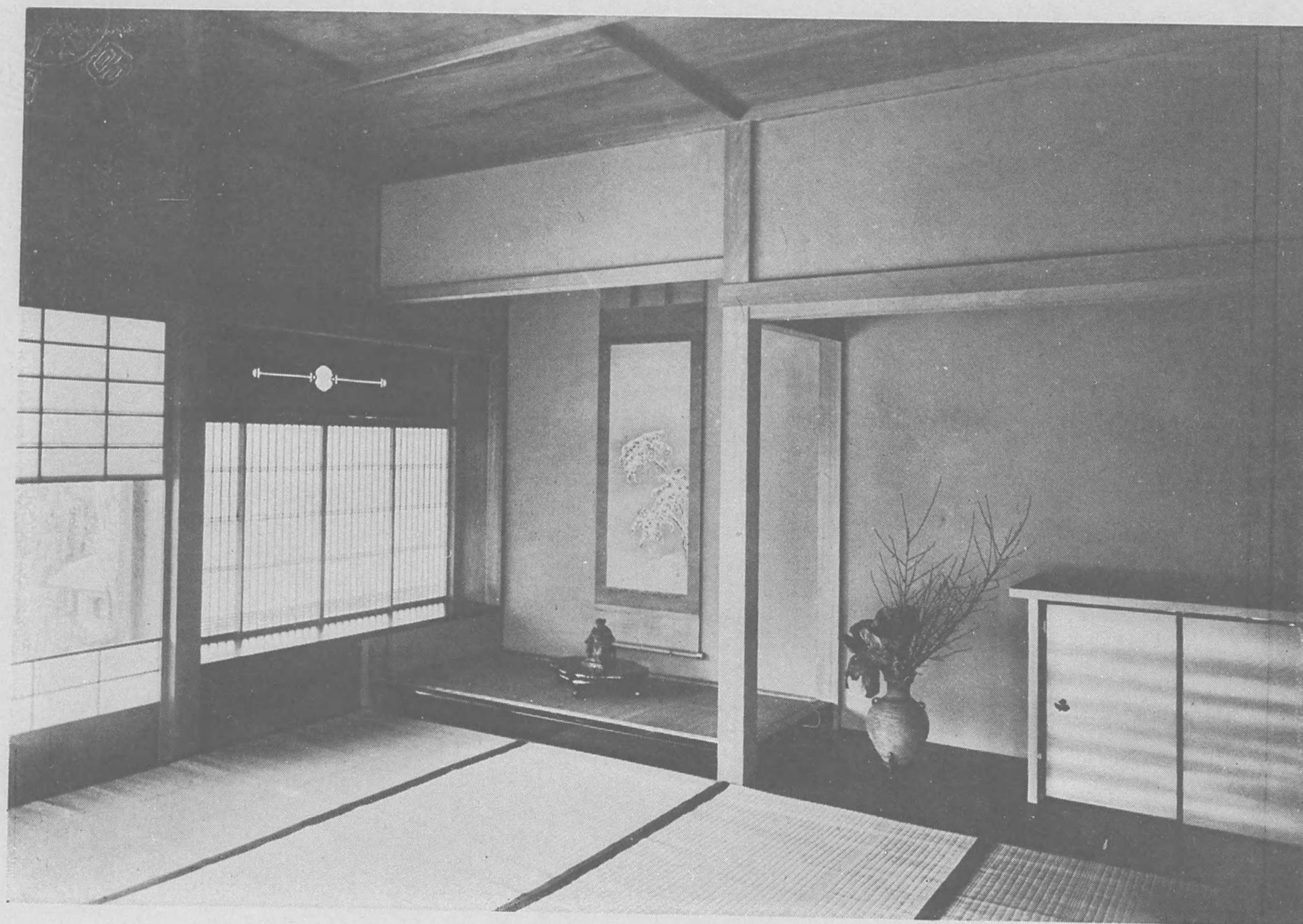


圖 二 十 二 第



圖 三 十 二 第

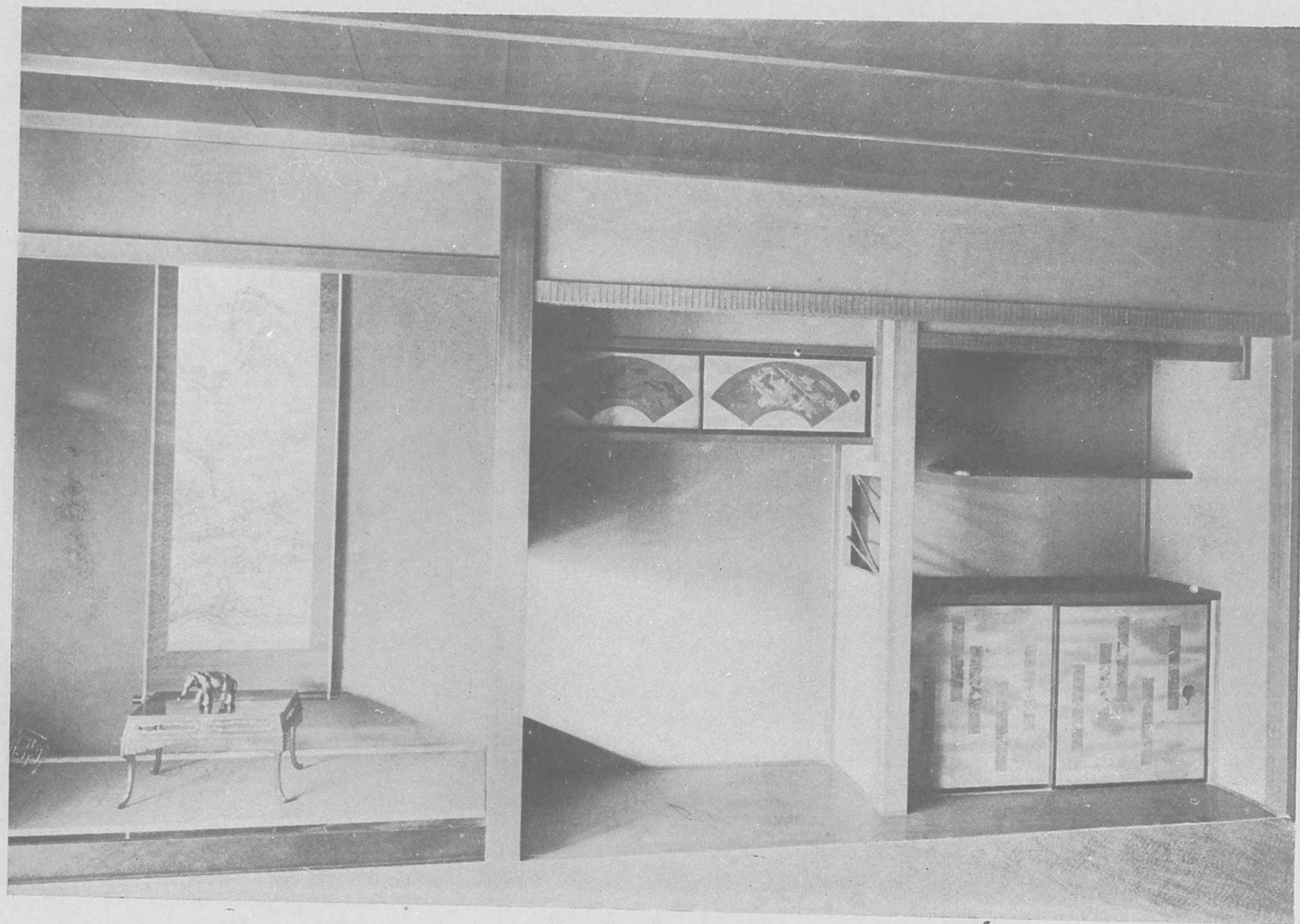
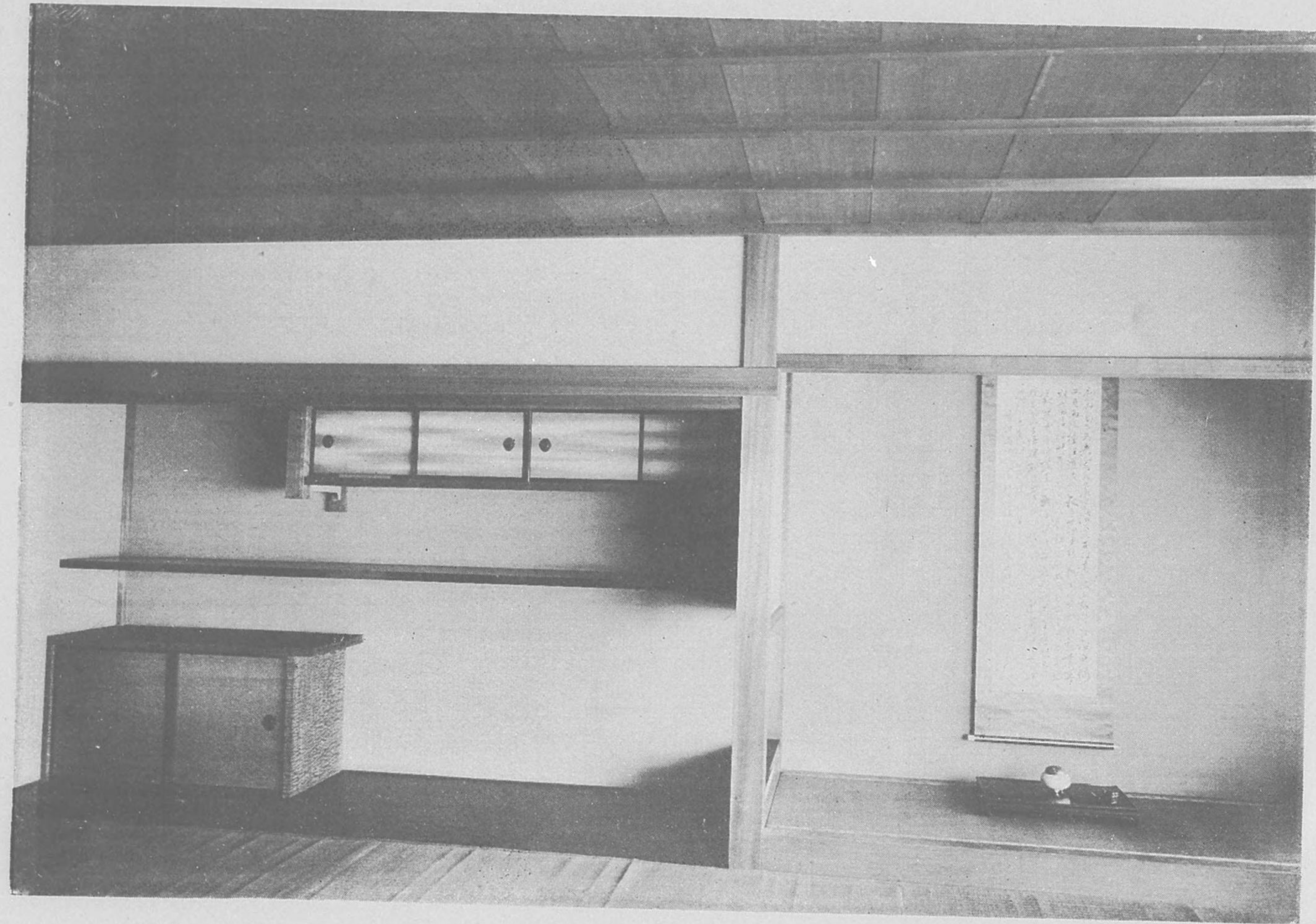


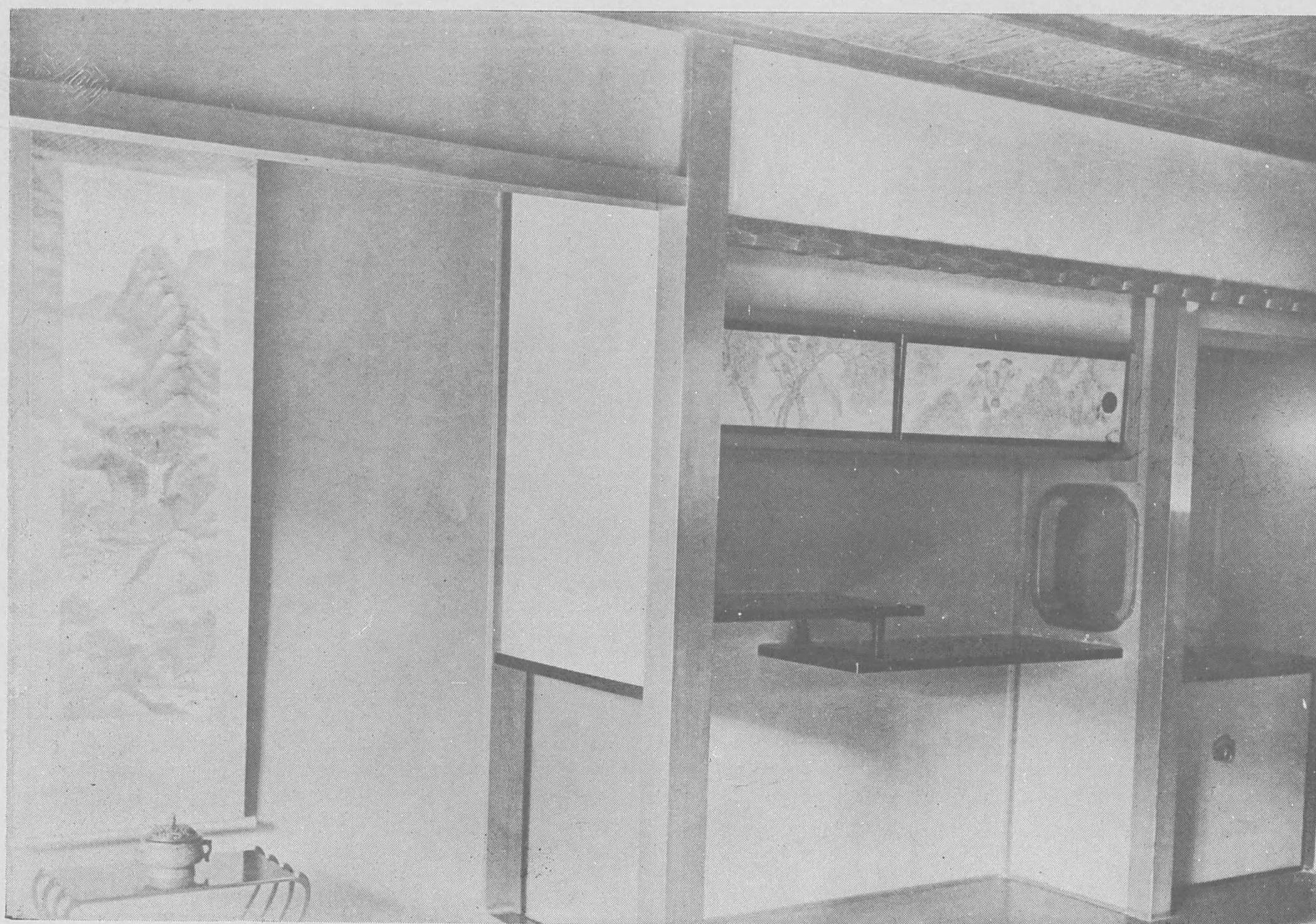
圖 四 十 二 第



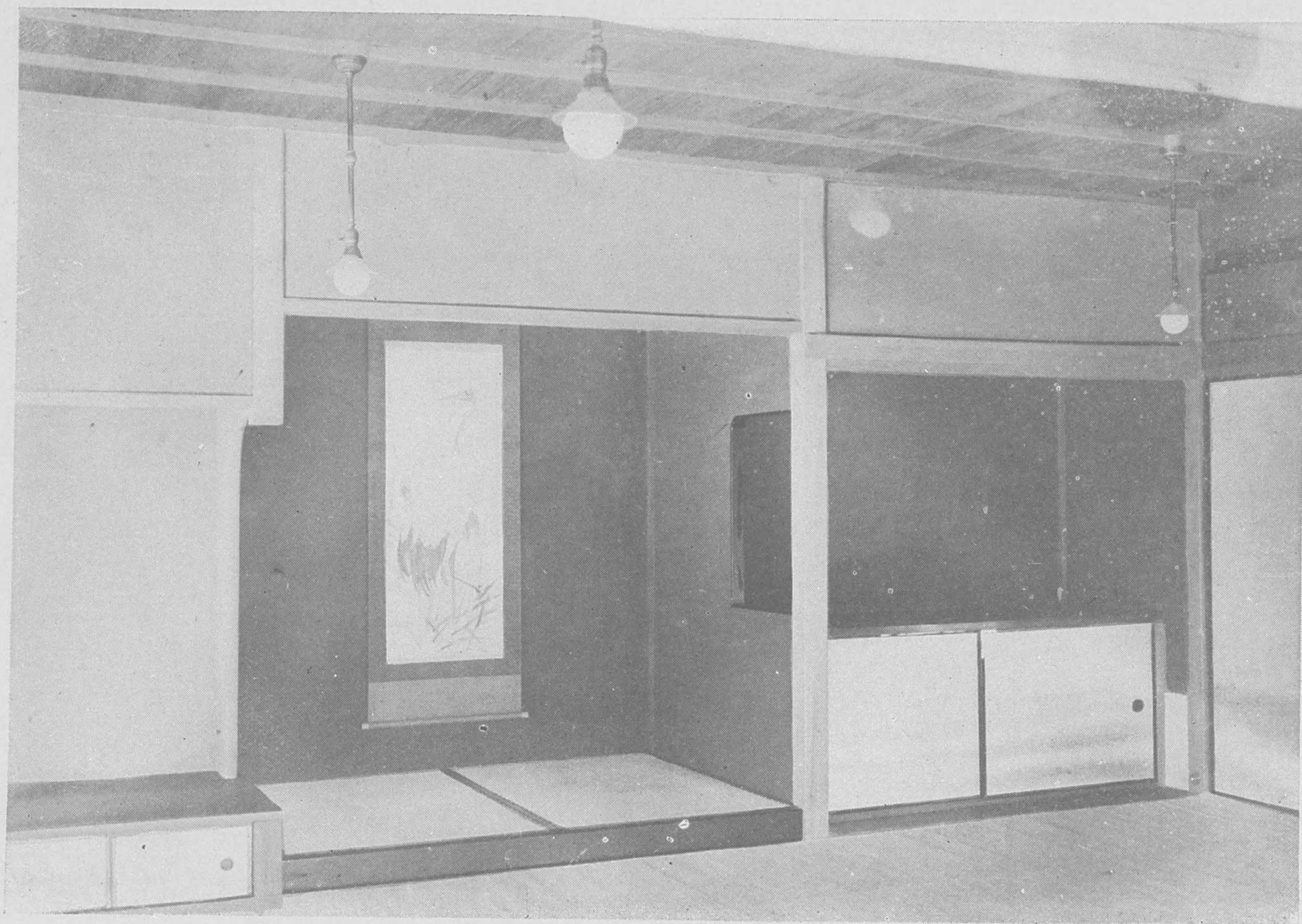
圖五十二第



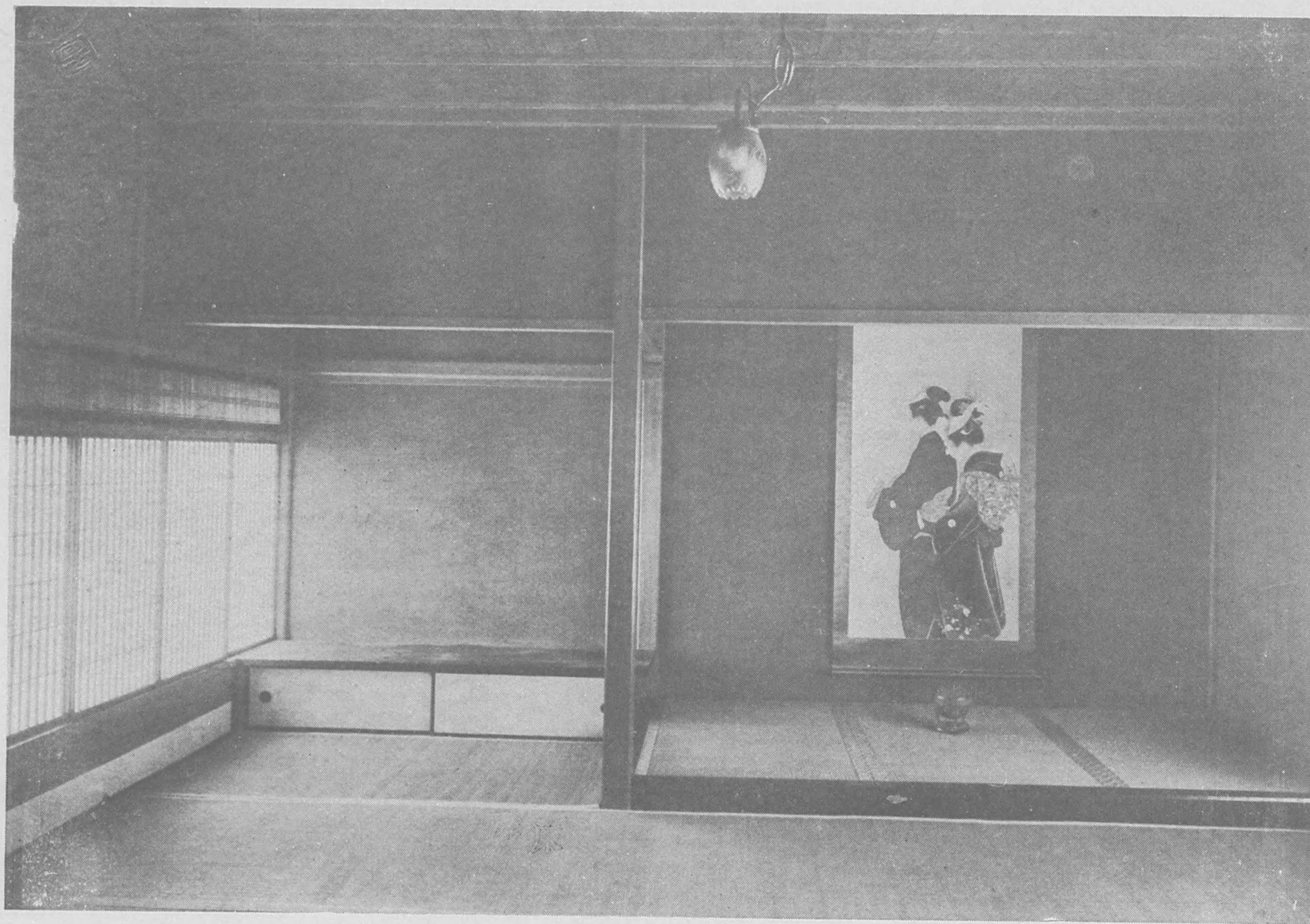
圖六十二第



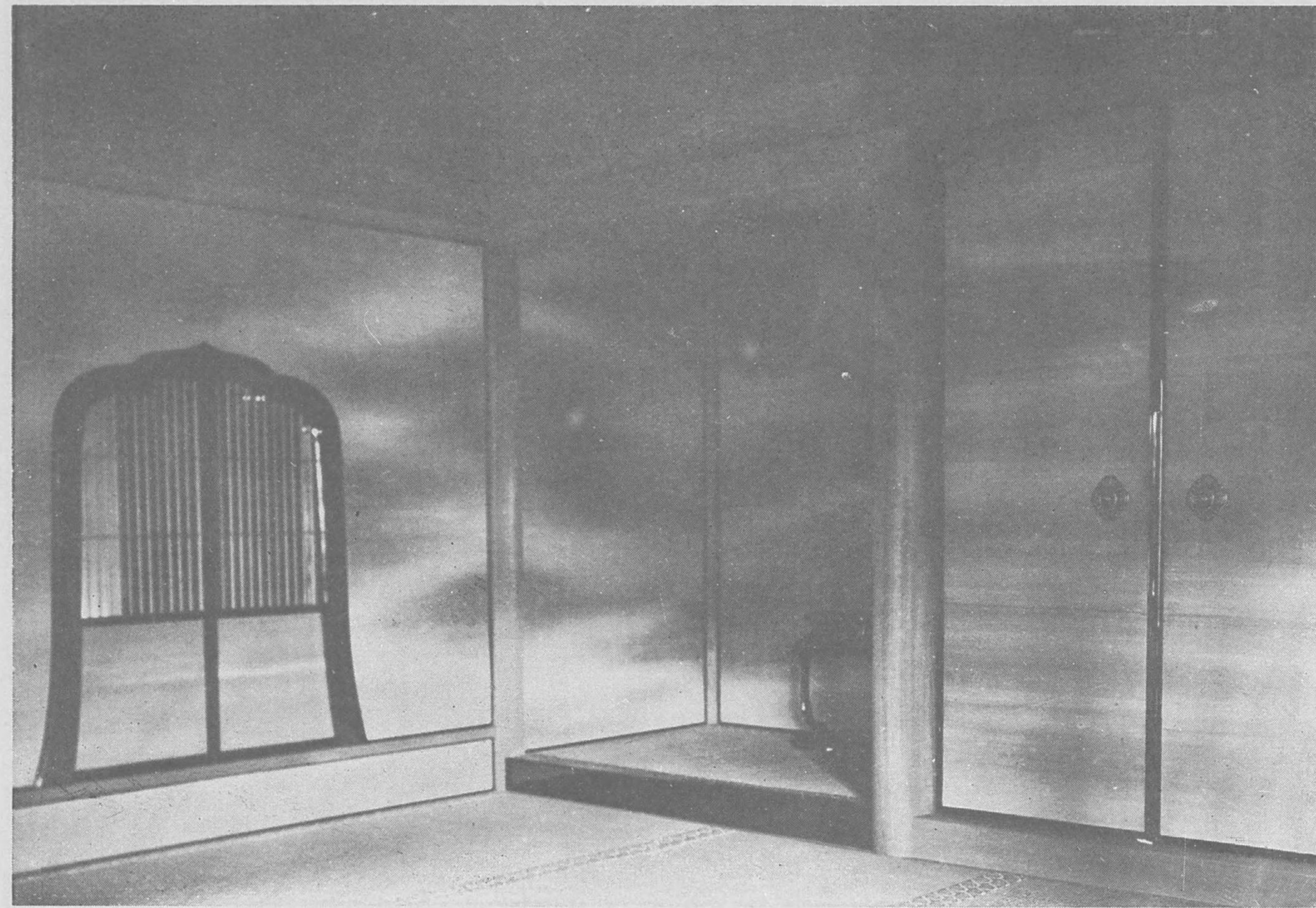
圖七十二第



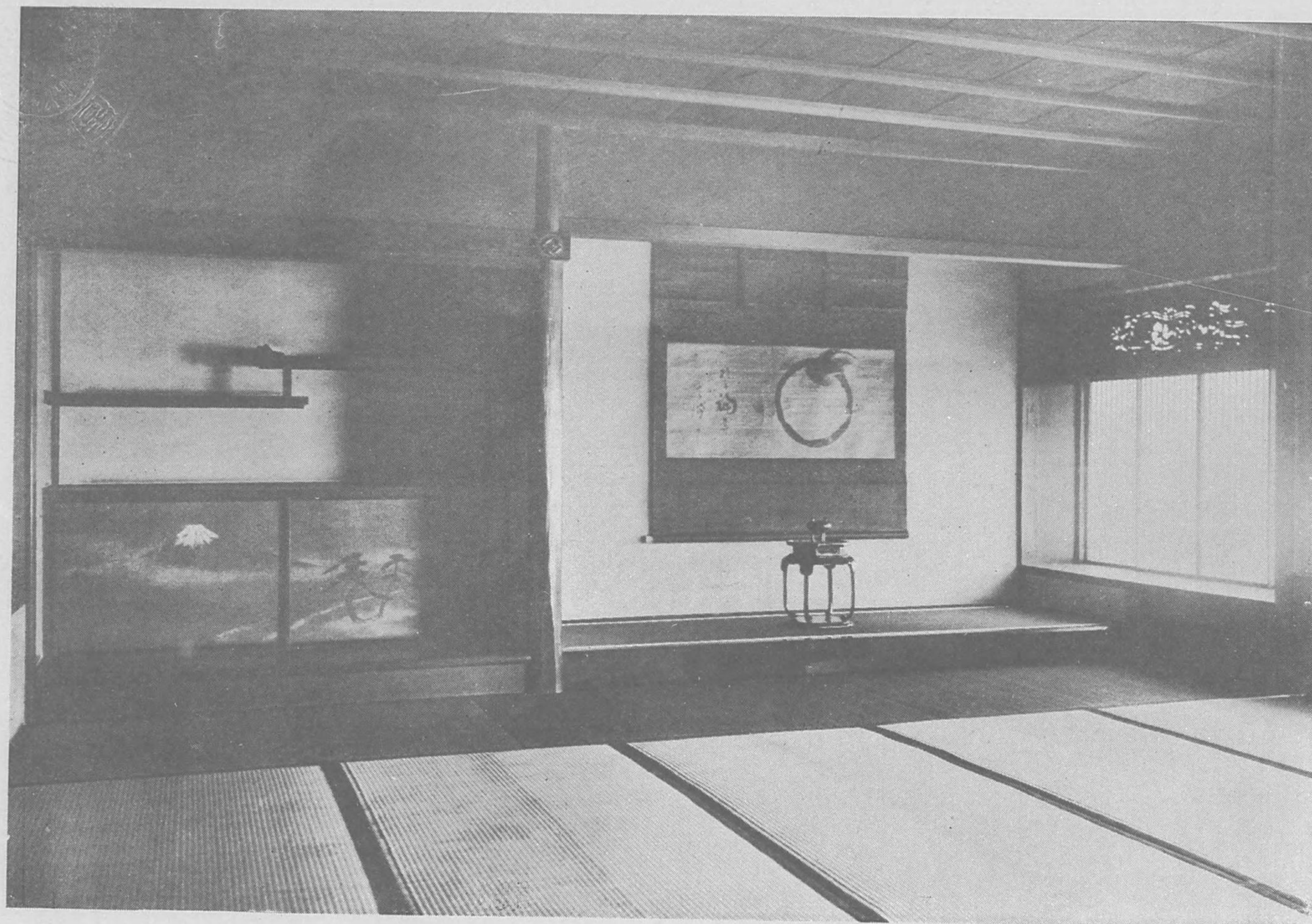
圖八十二第



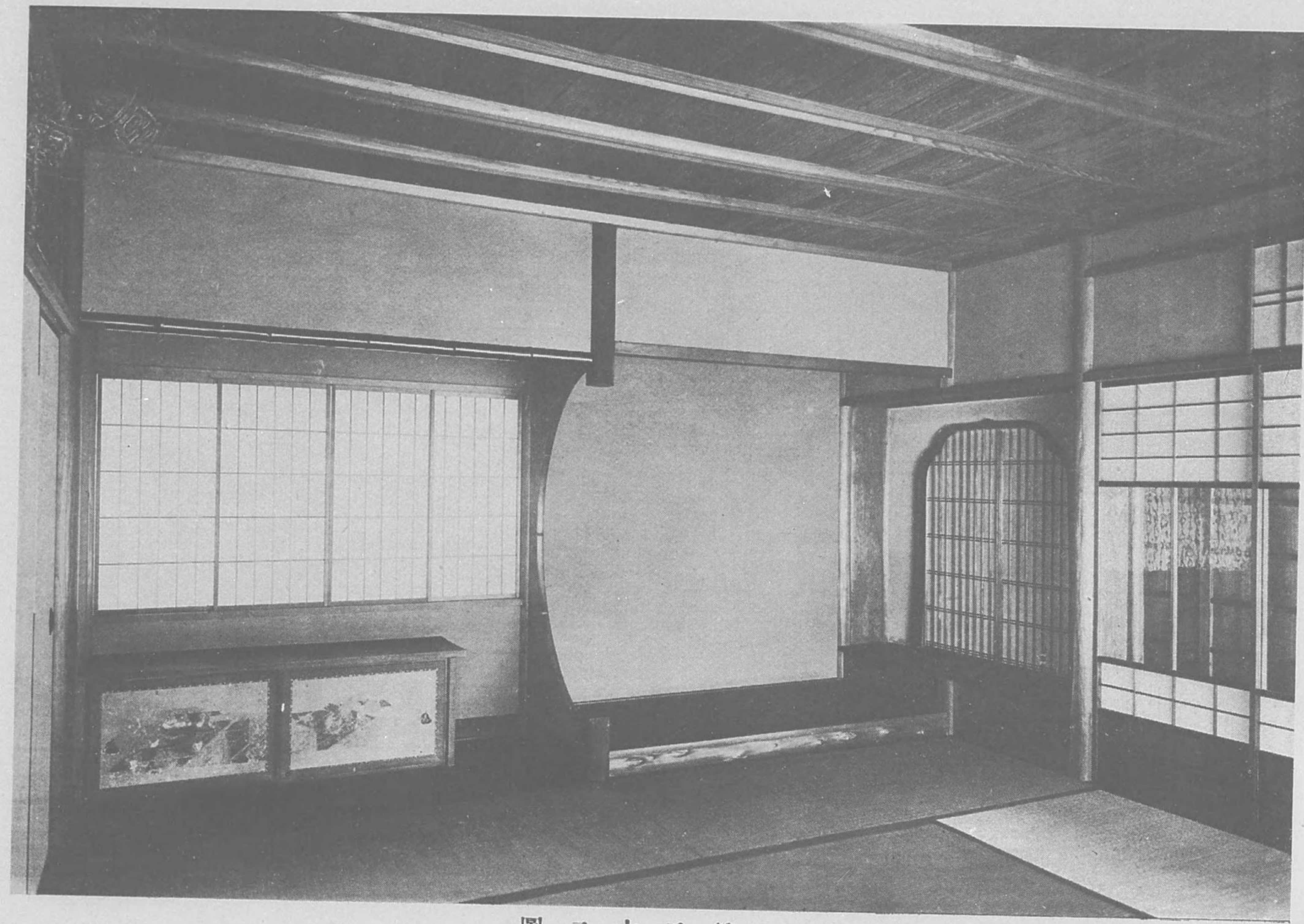
圖九十二第



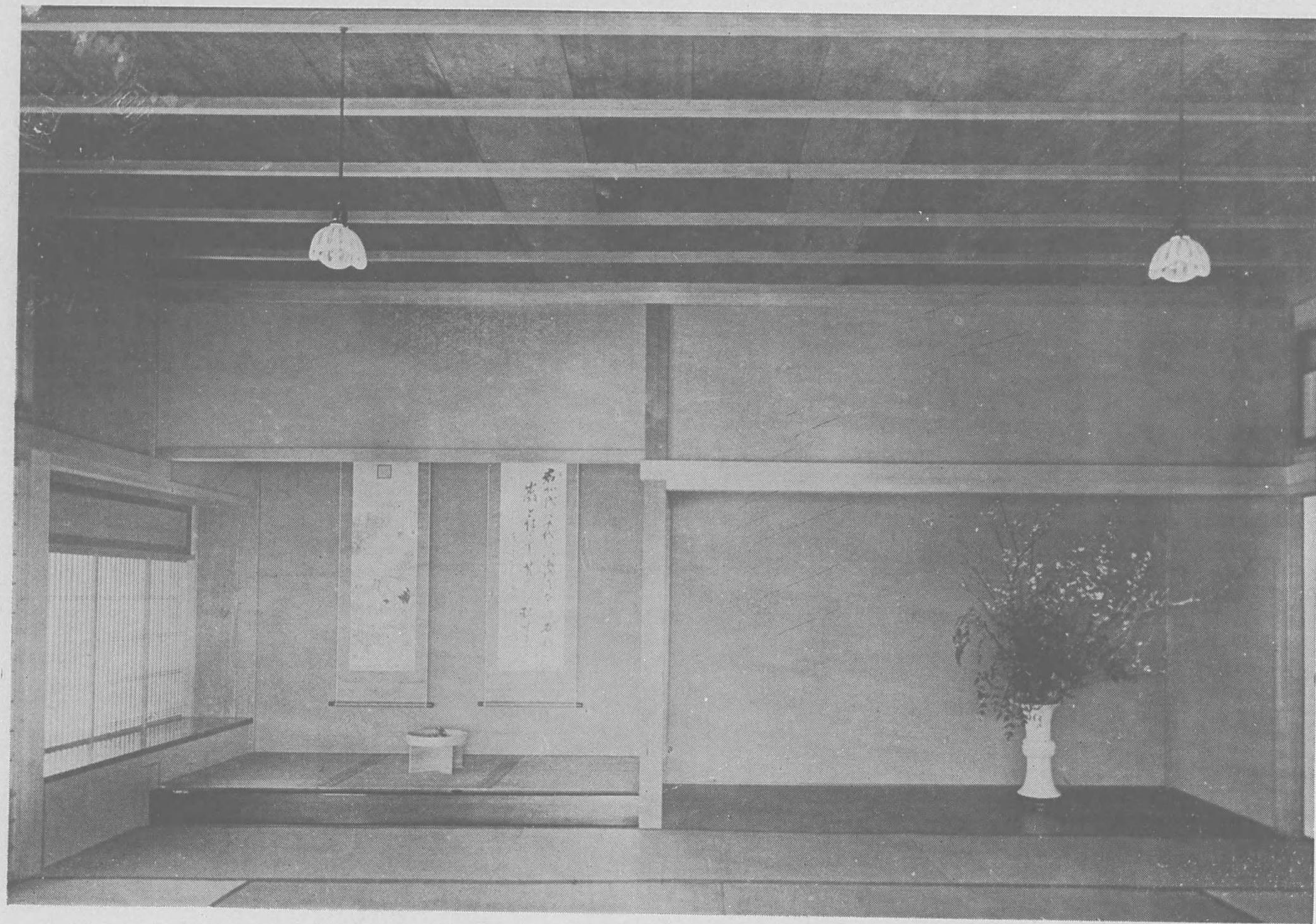
圖十三第



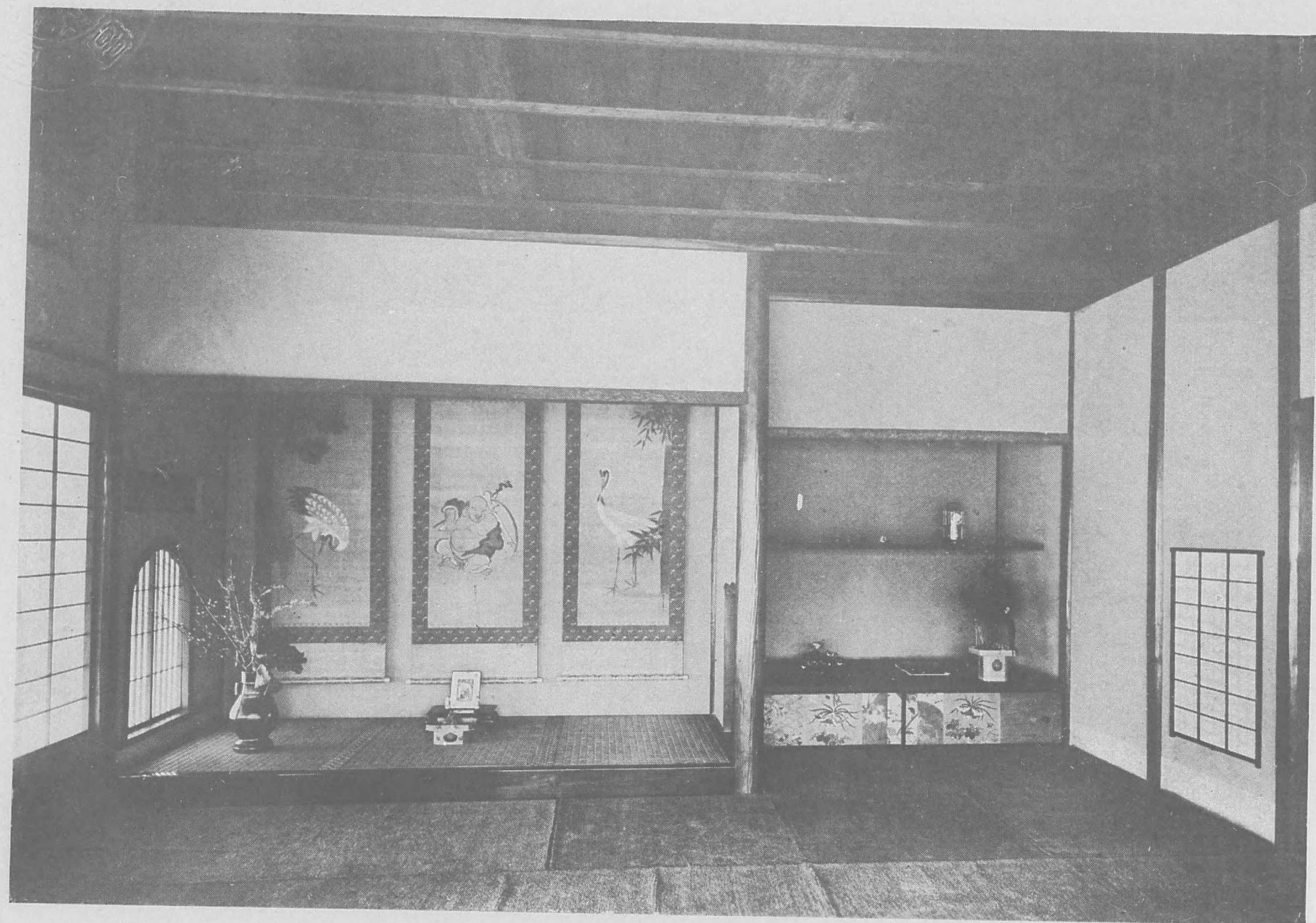
圖一十三第



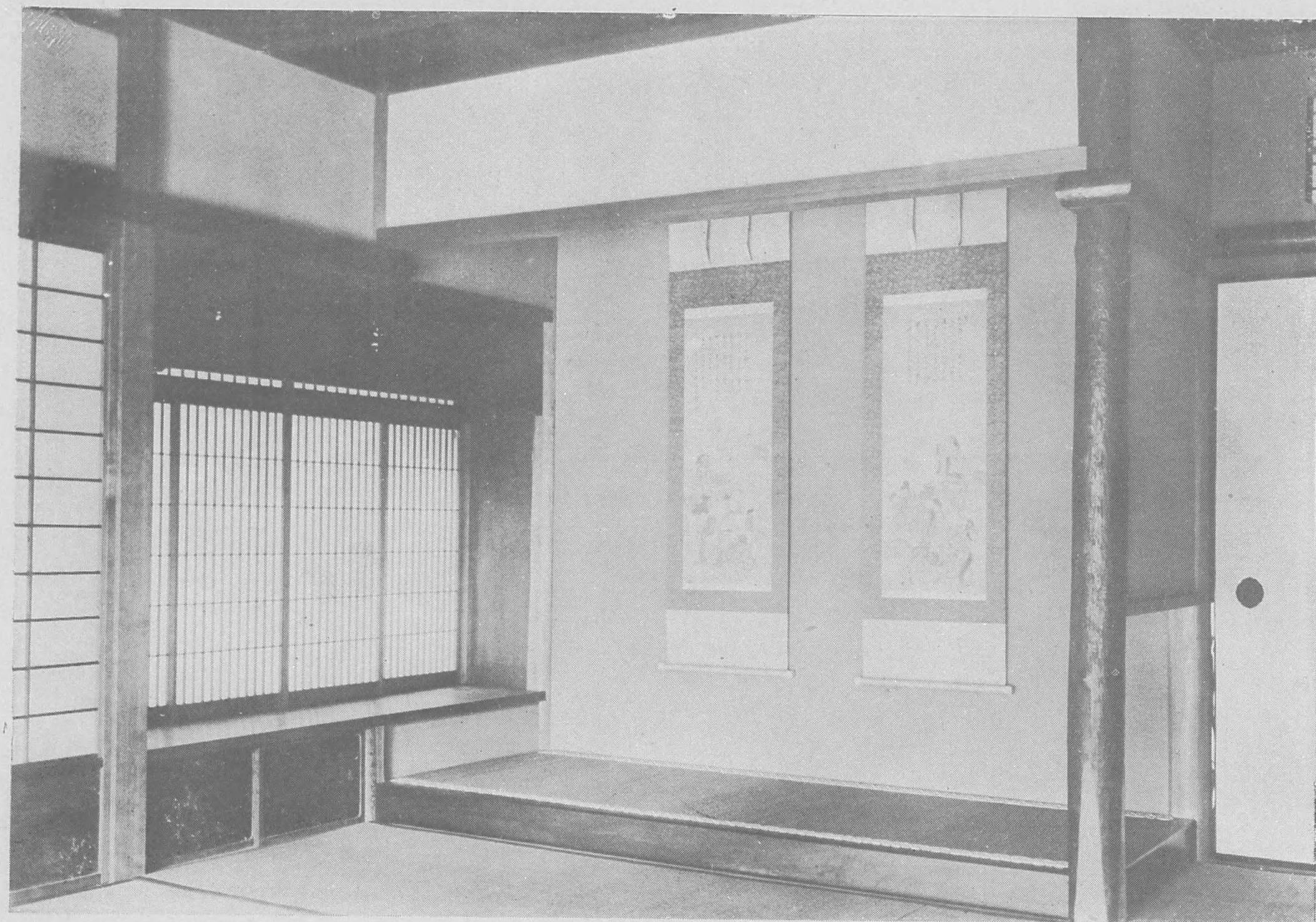
圖二十三第



圖三十三第



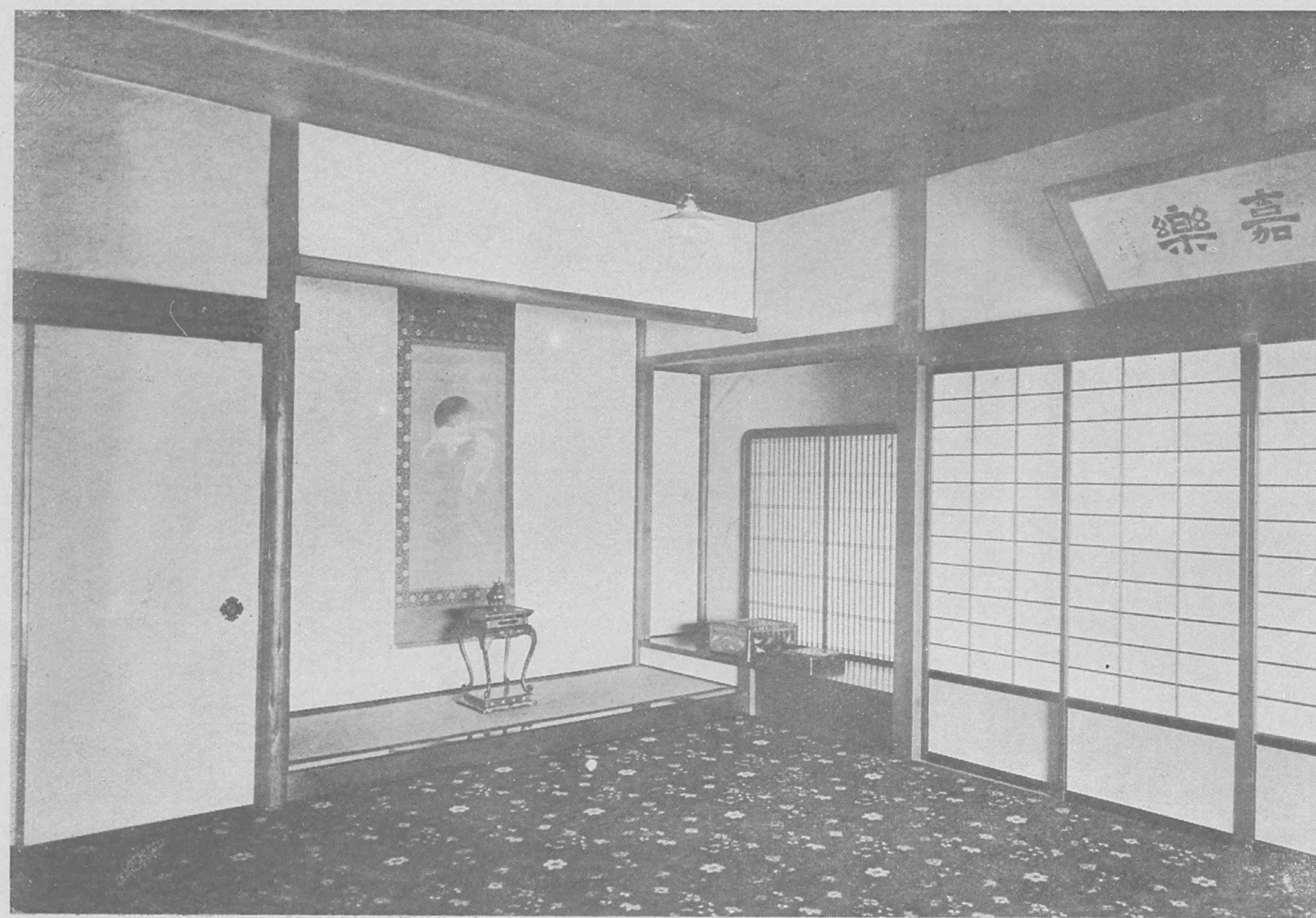
圖四十三第



圖五十三第



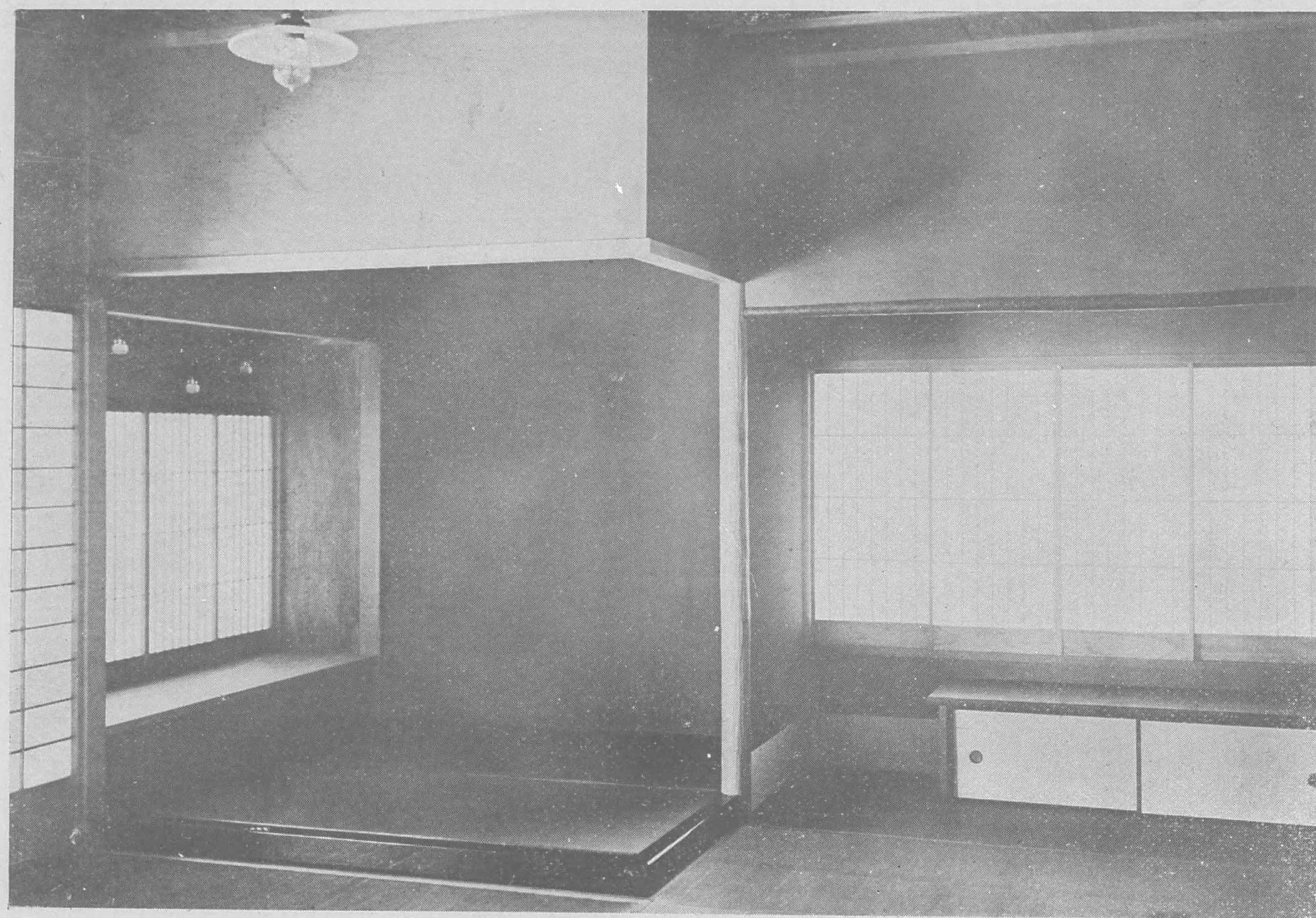
圖六十三第



圖七十三第



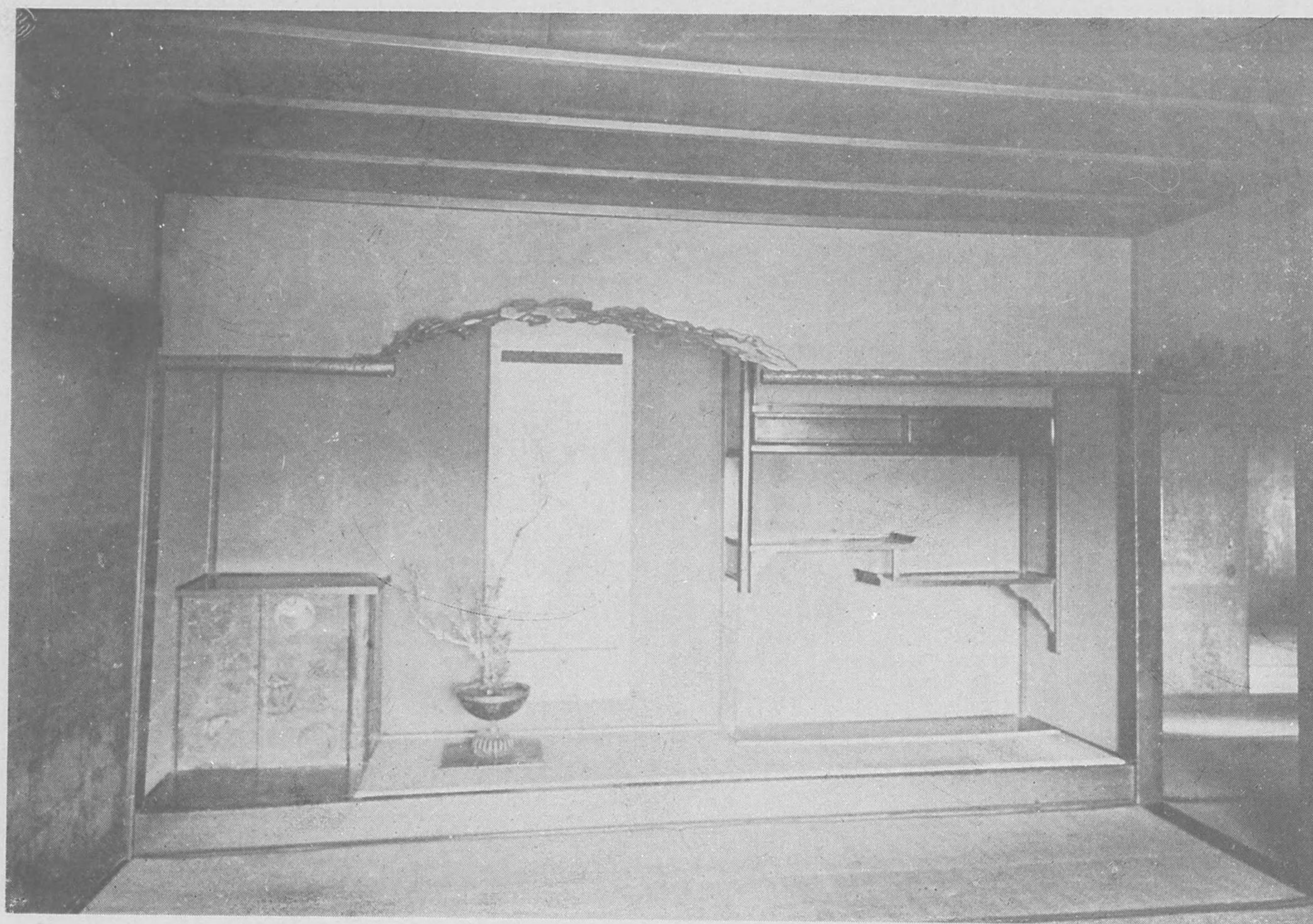
圖八十三第



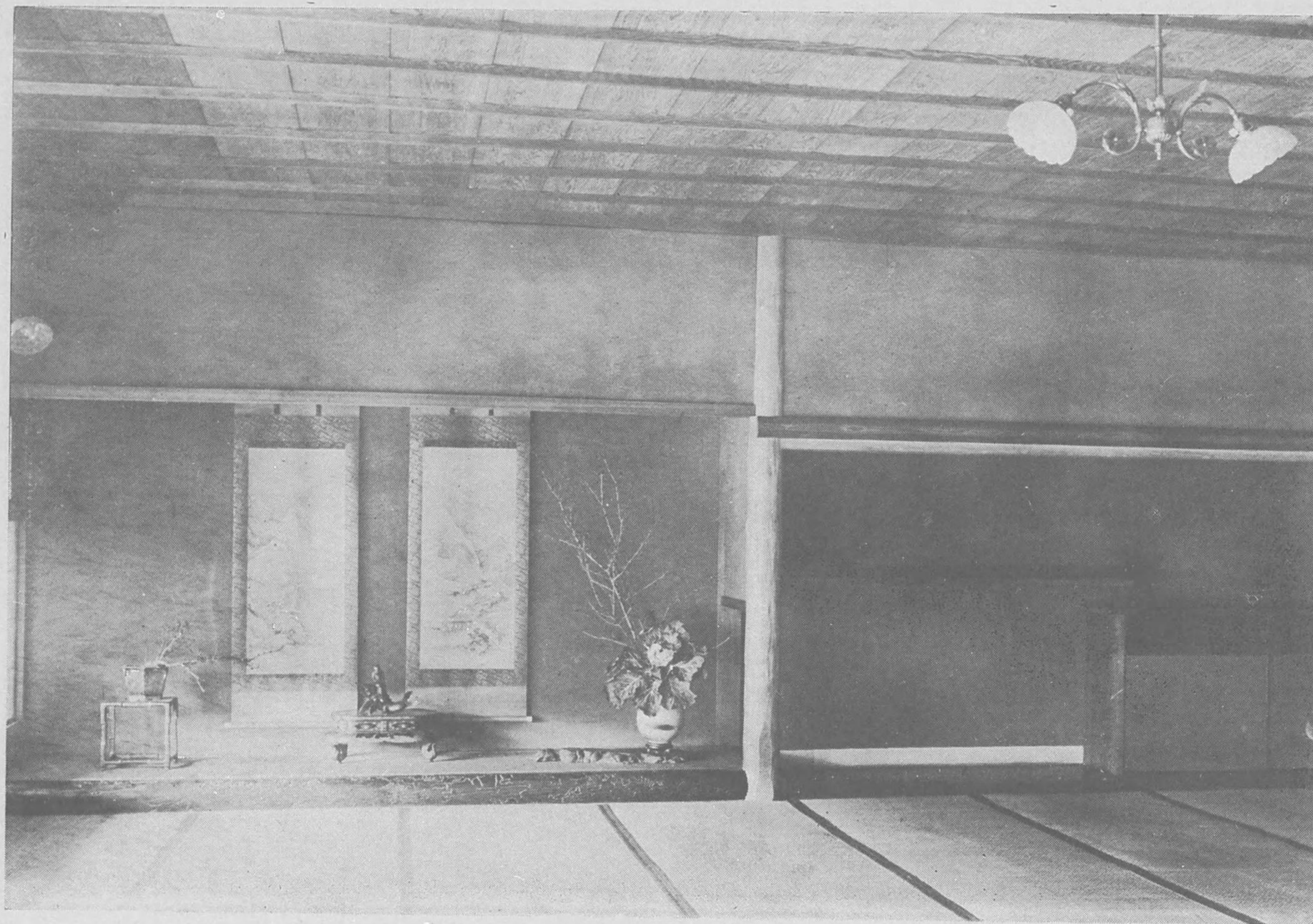
圖九十三第



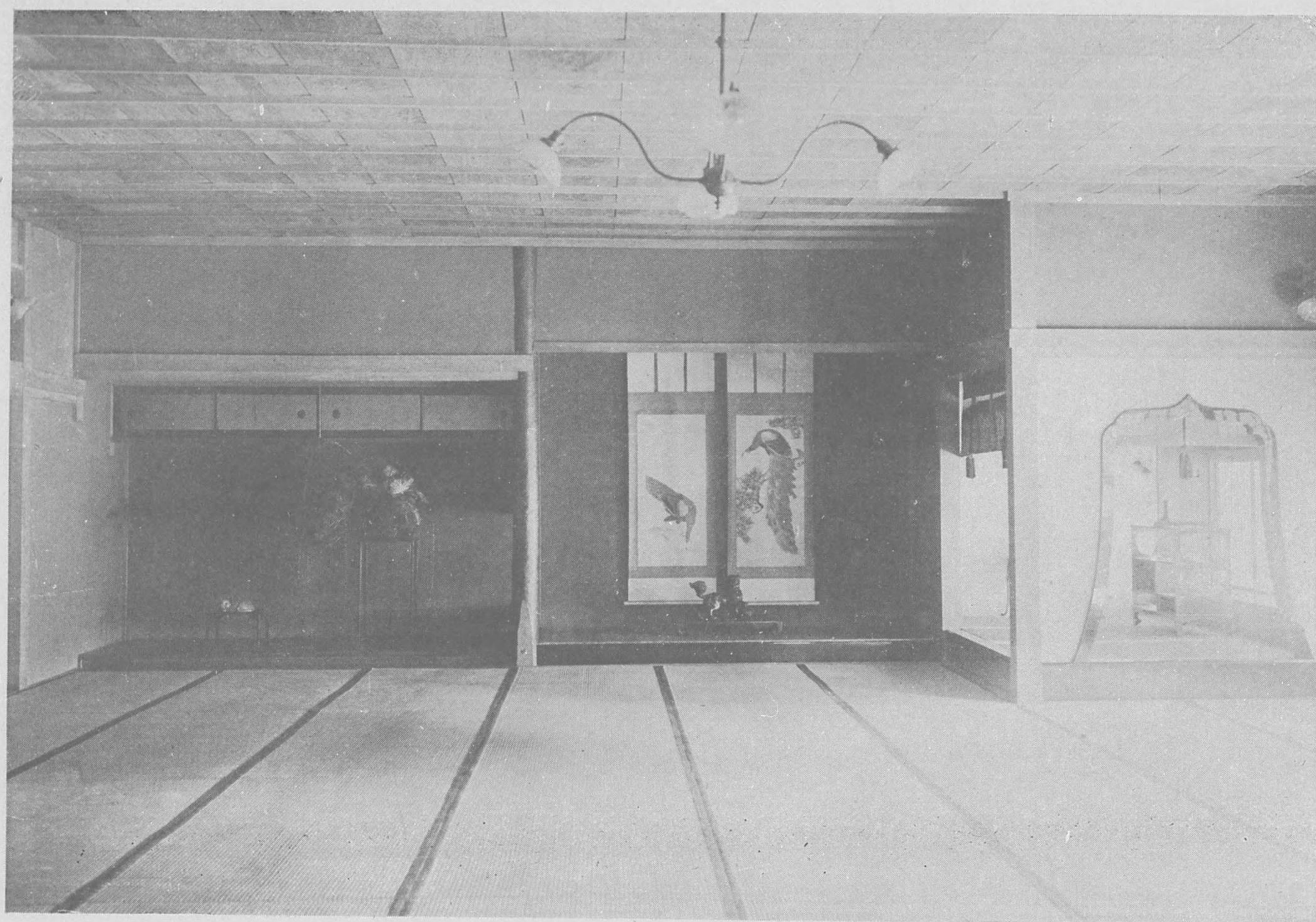
圖十四第



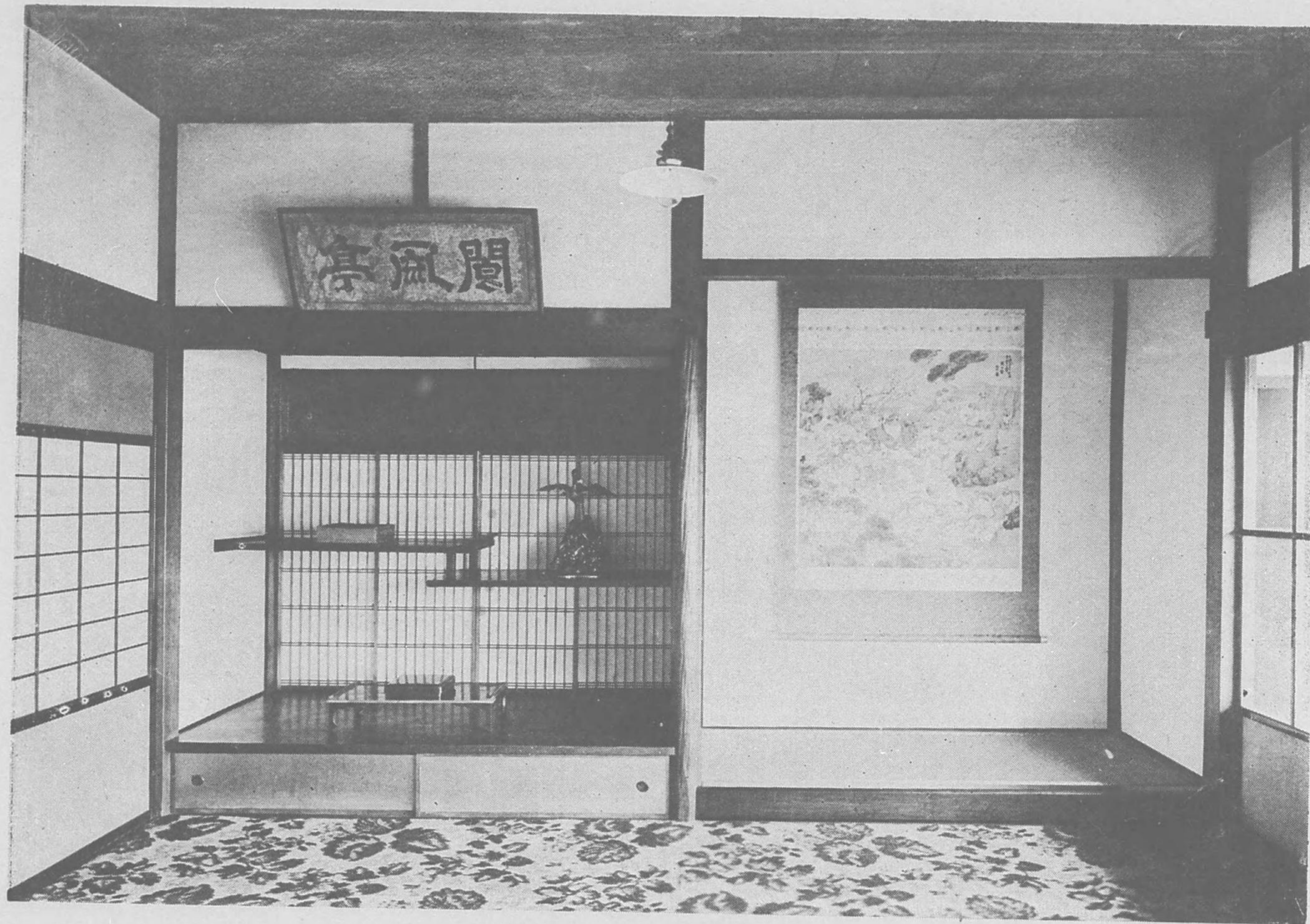
圖一十四第



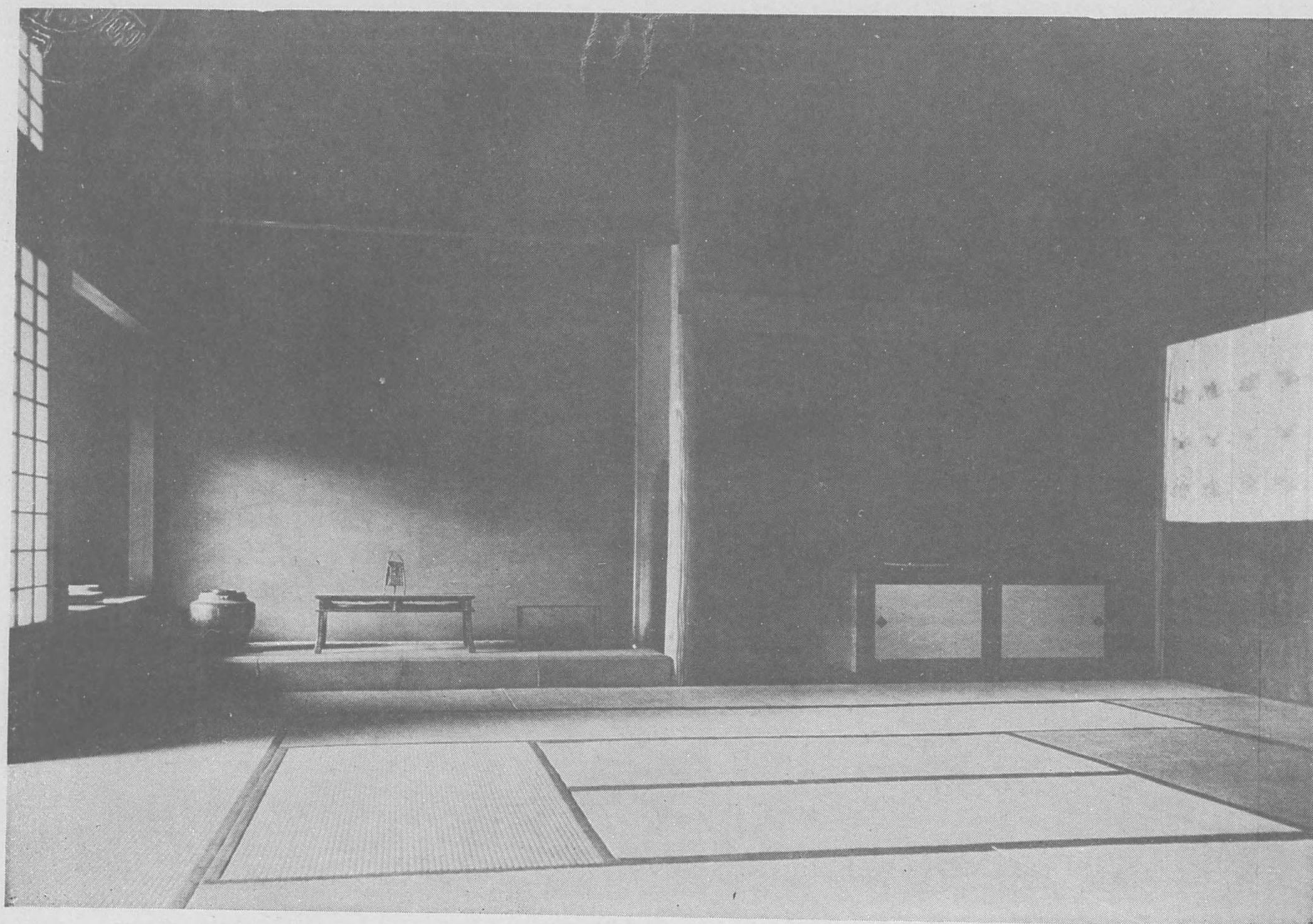
圖二十四第



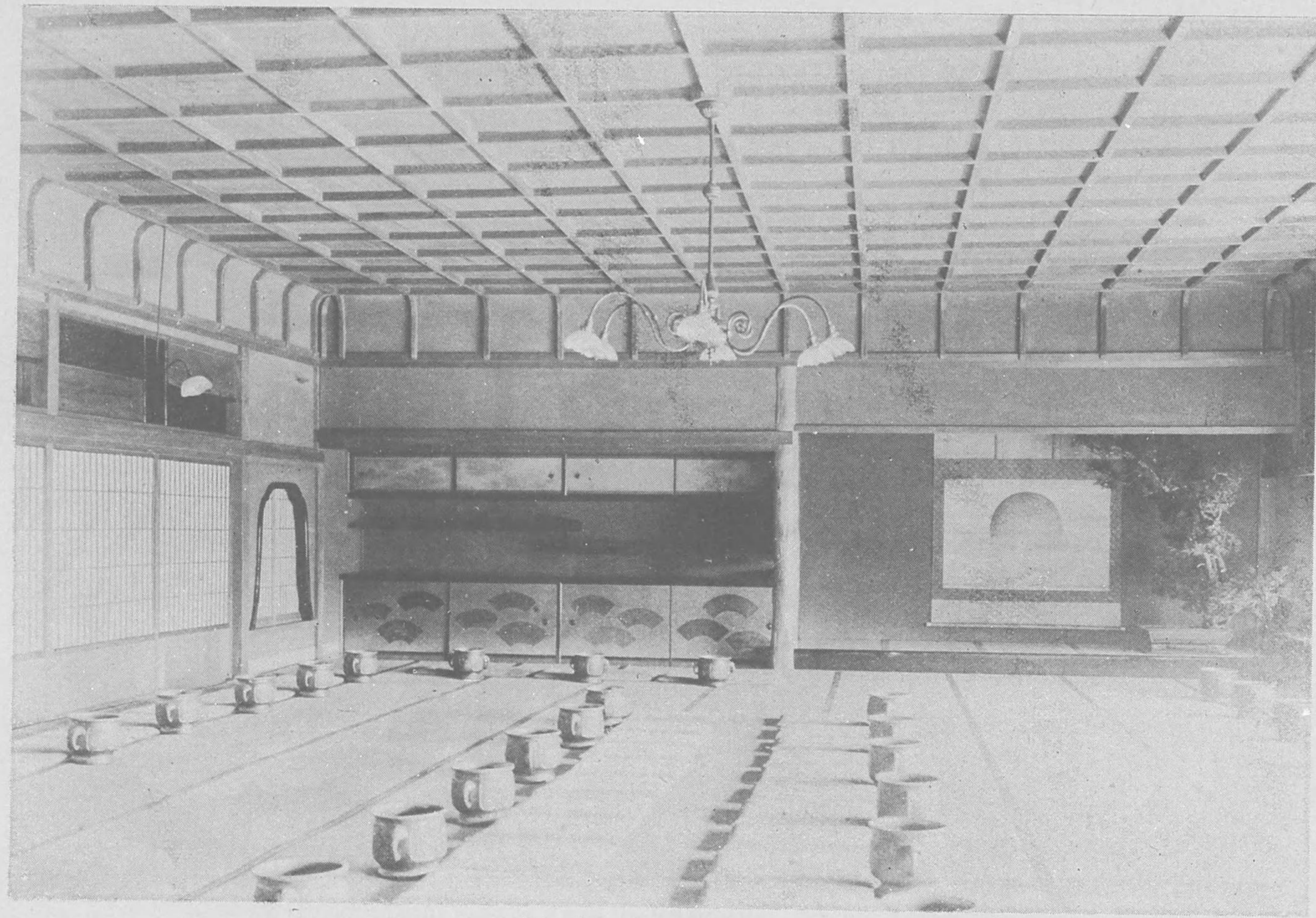
圖三十四第



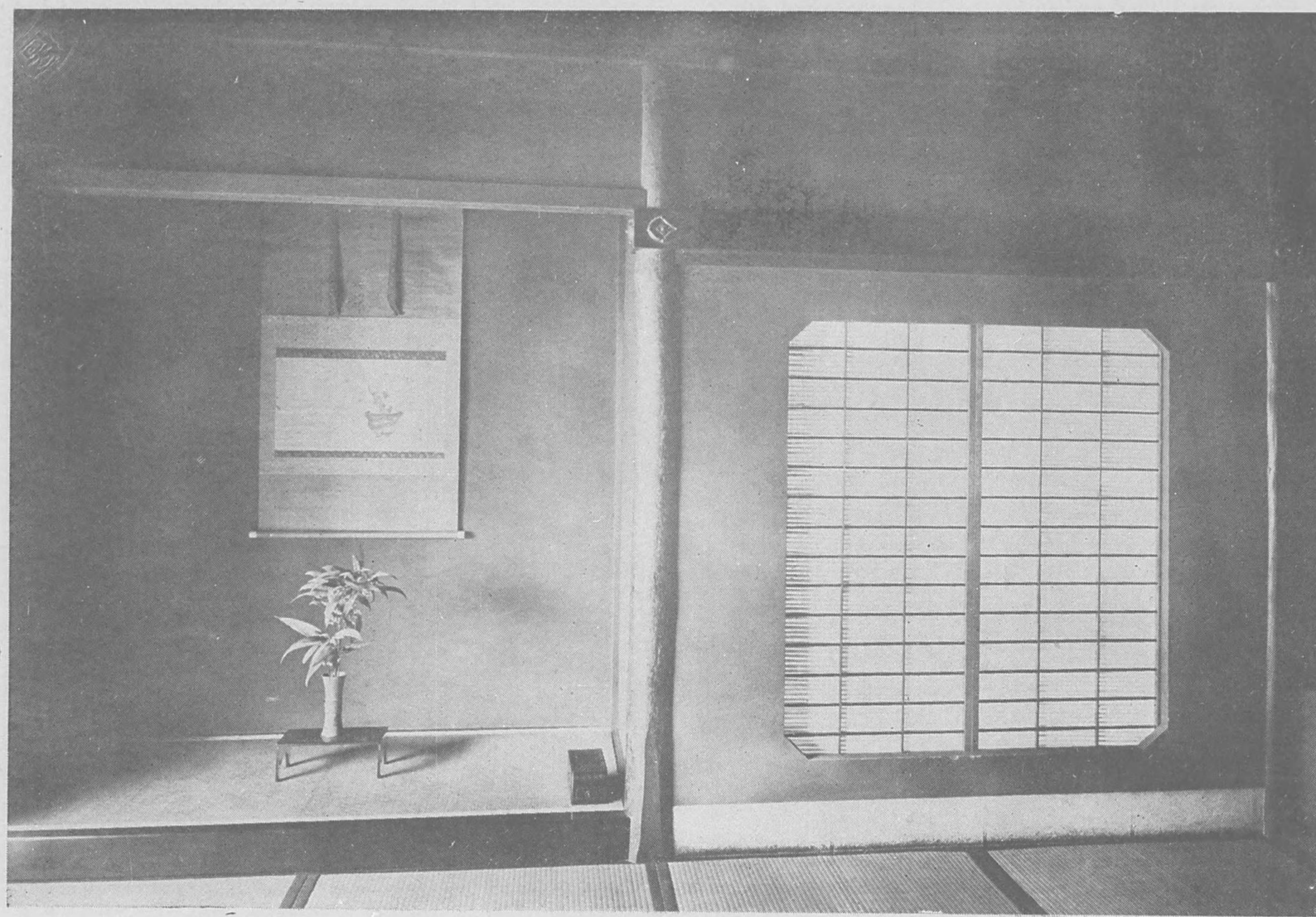
圖四十四第



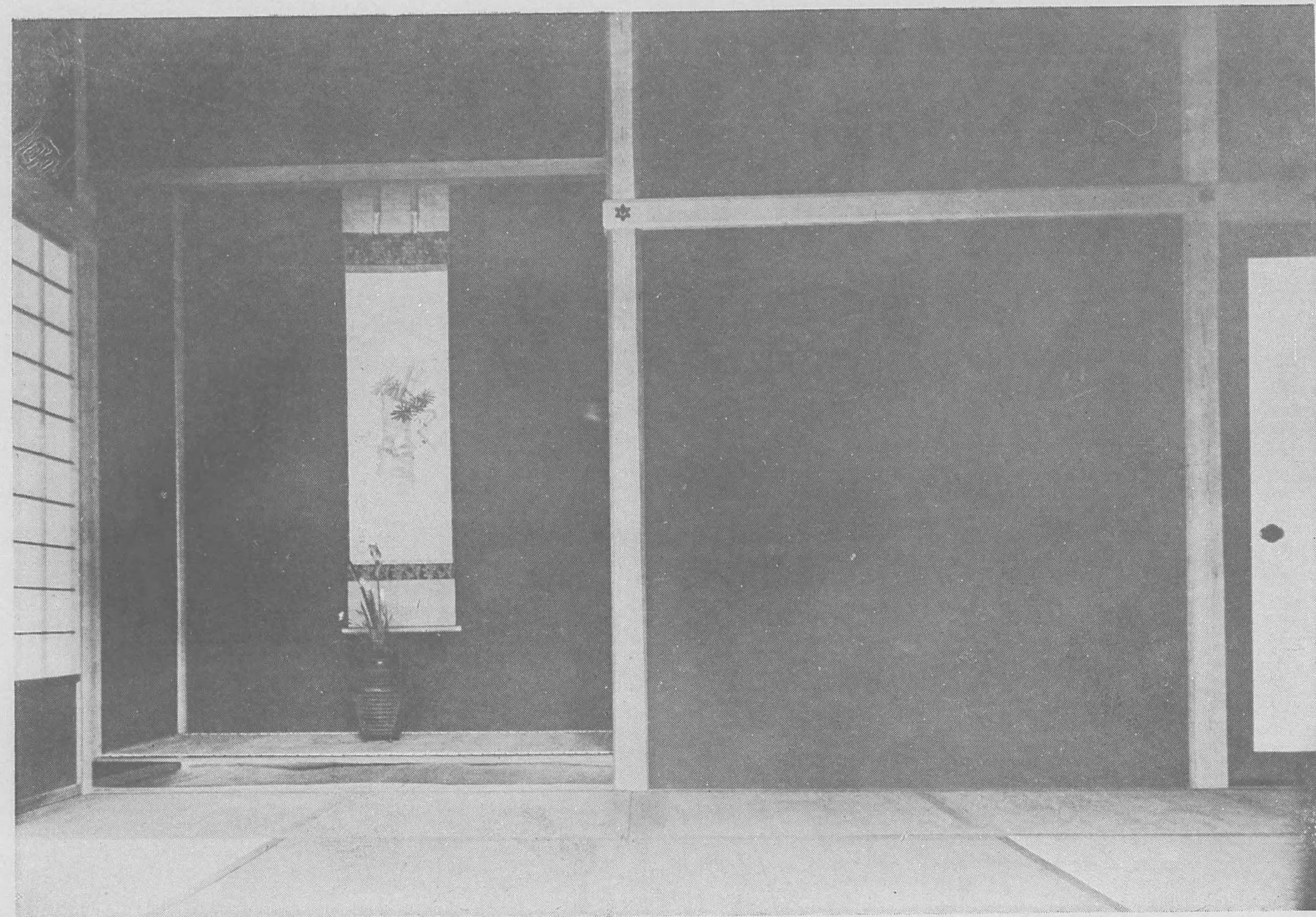
圖五十四第



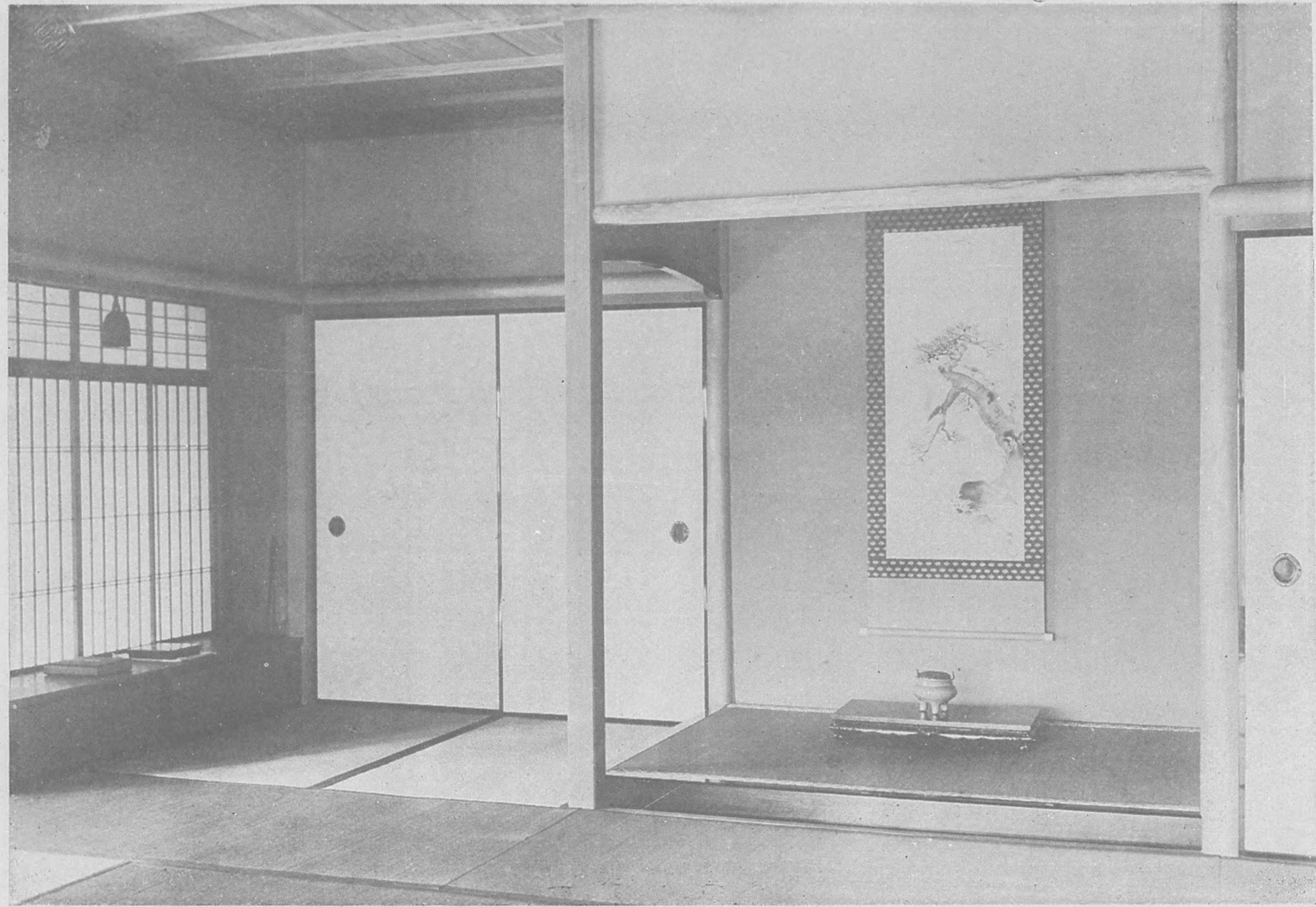
圖六十四第



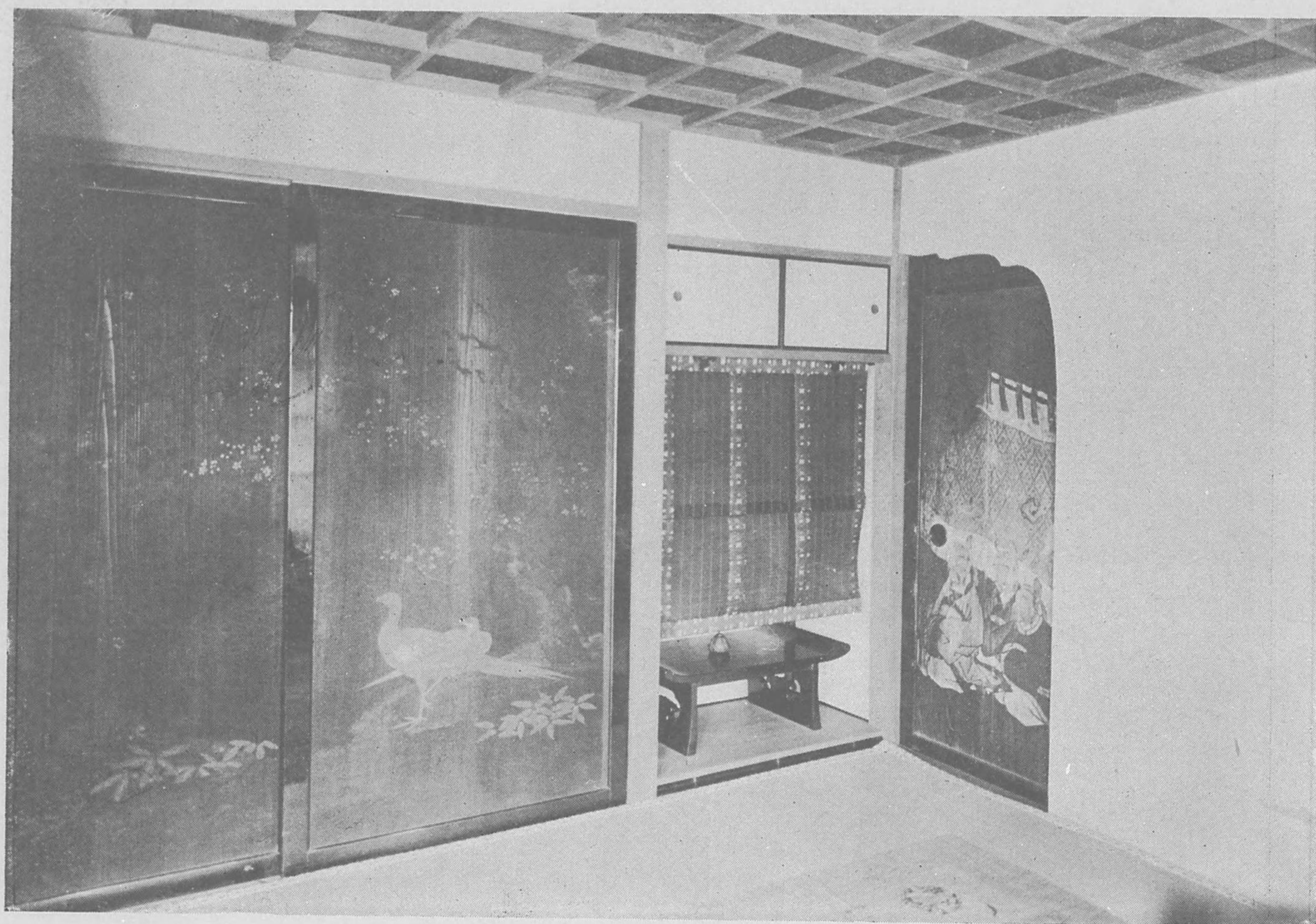
圖七十四第



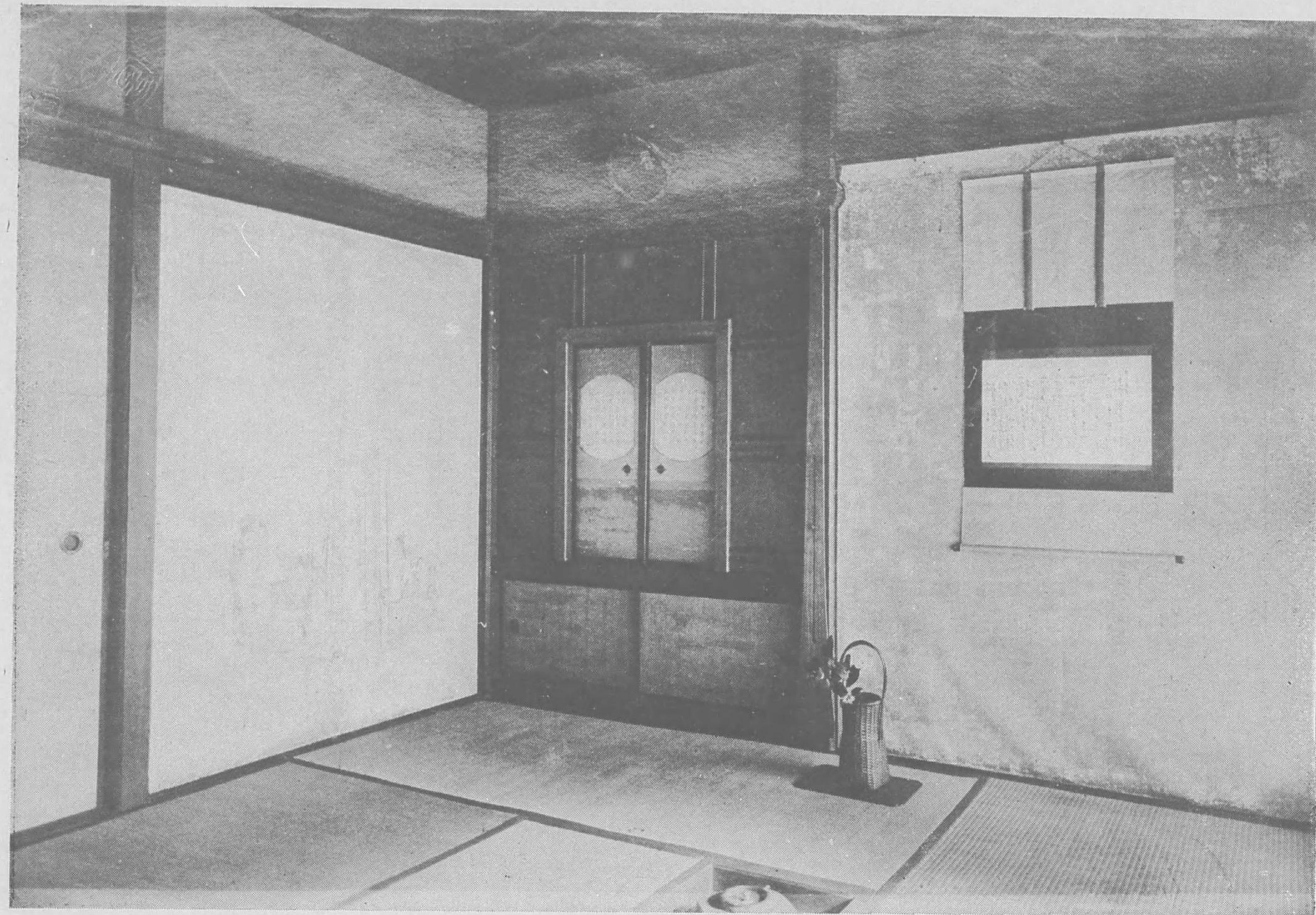
圖八十四第



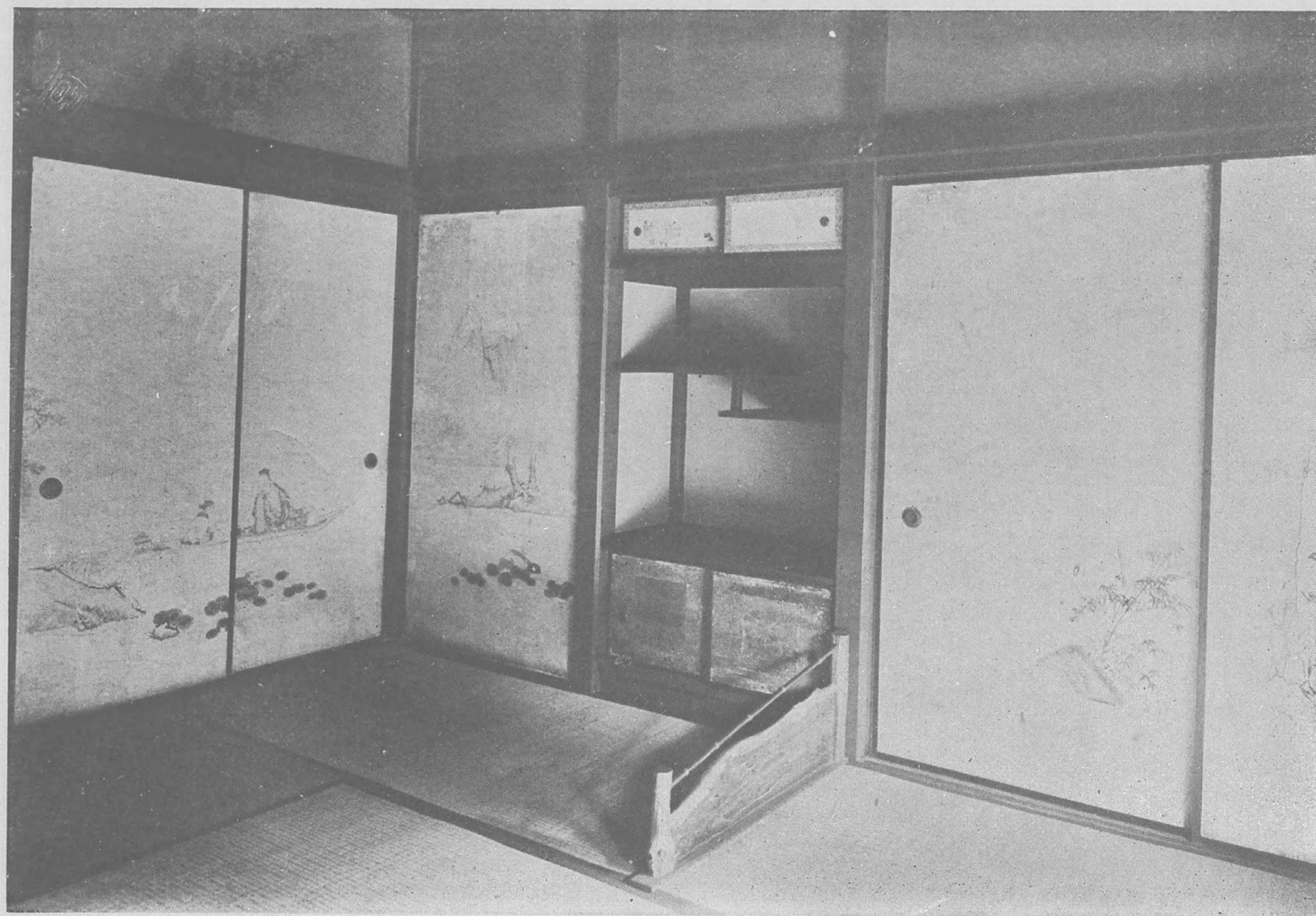
圖九十四第



圖十五第



圖一十五第



圖二十五第

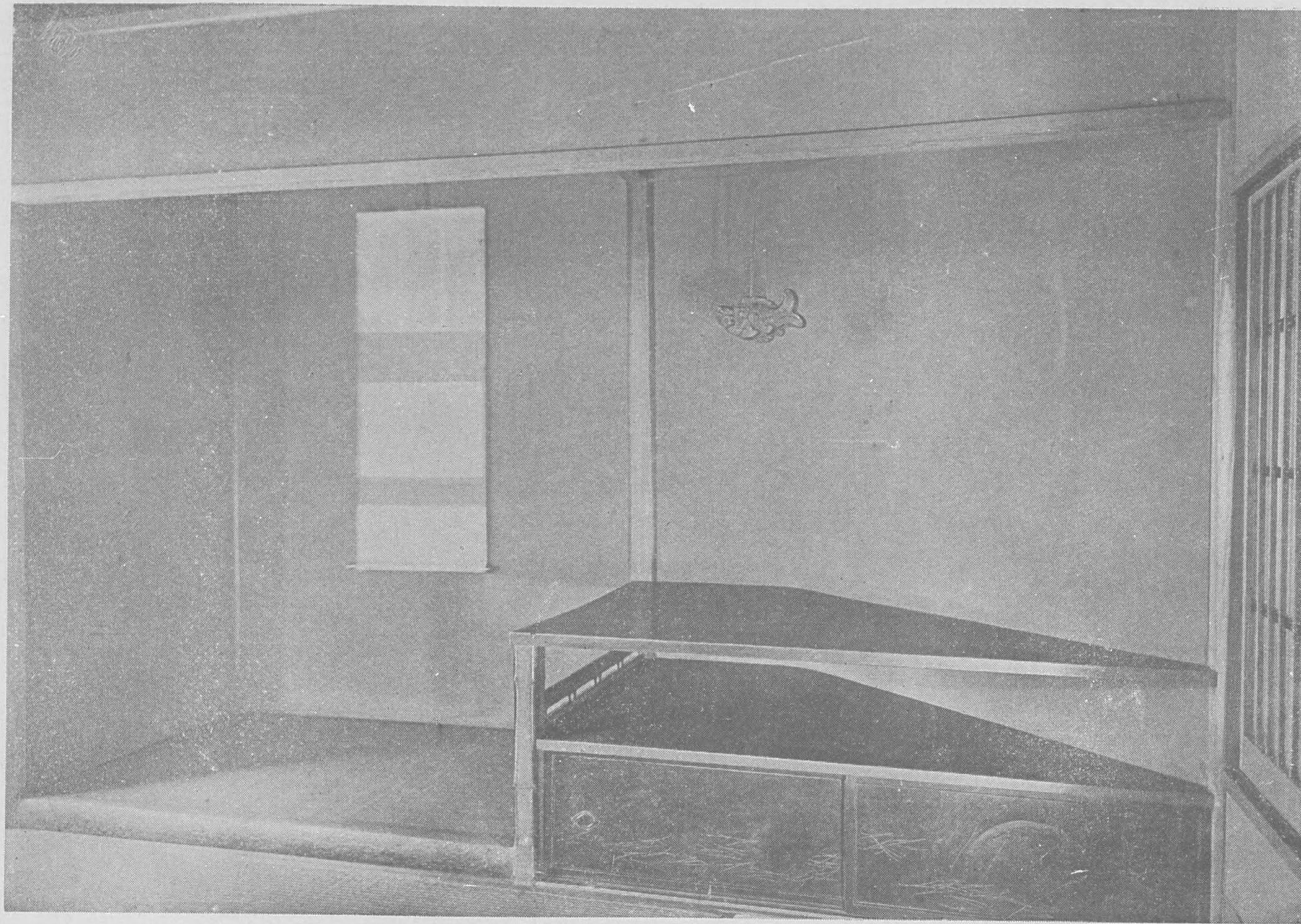
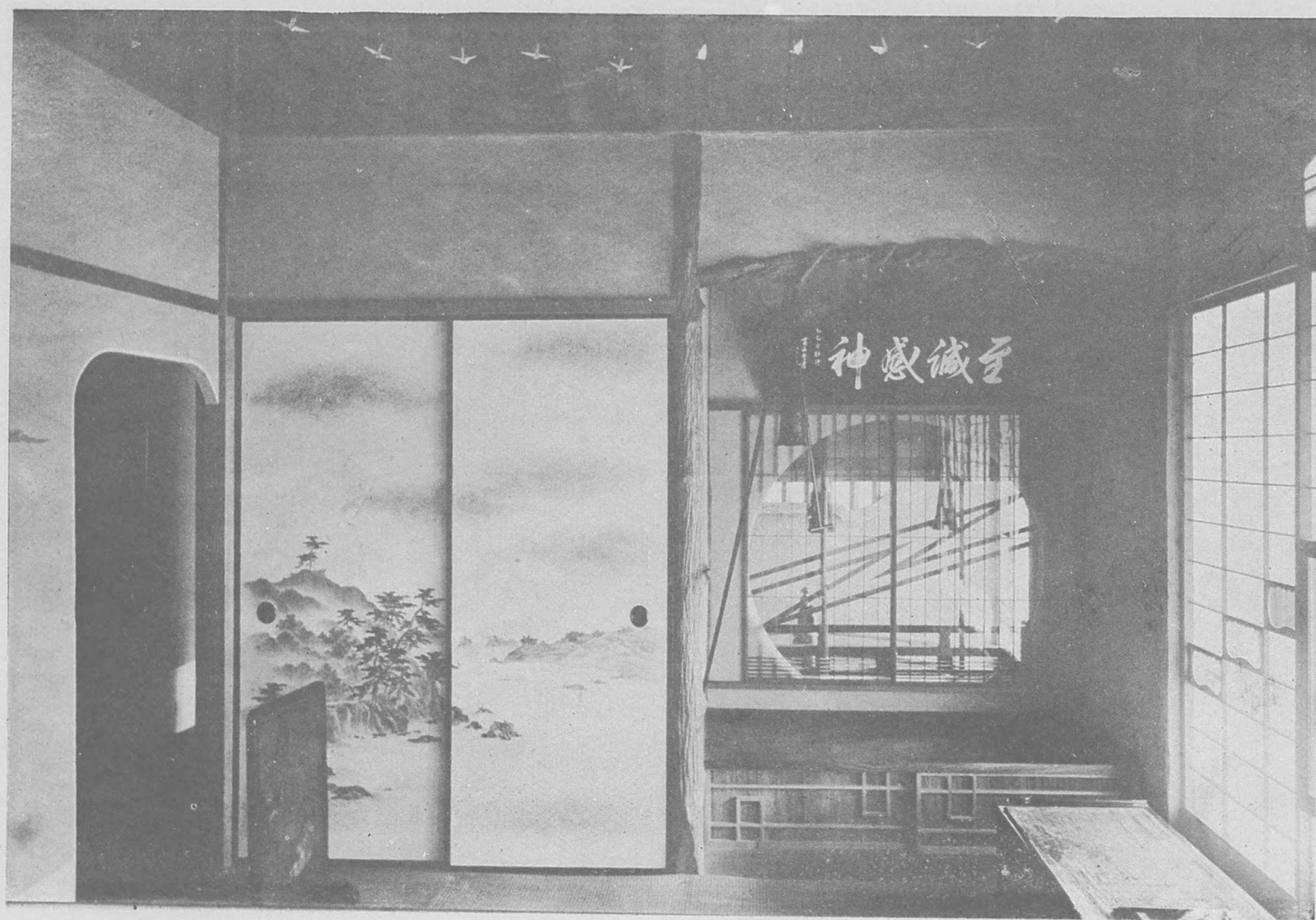
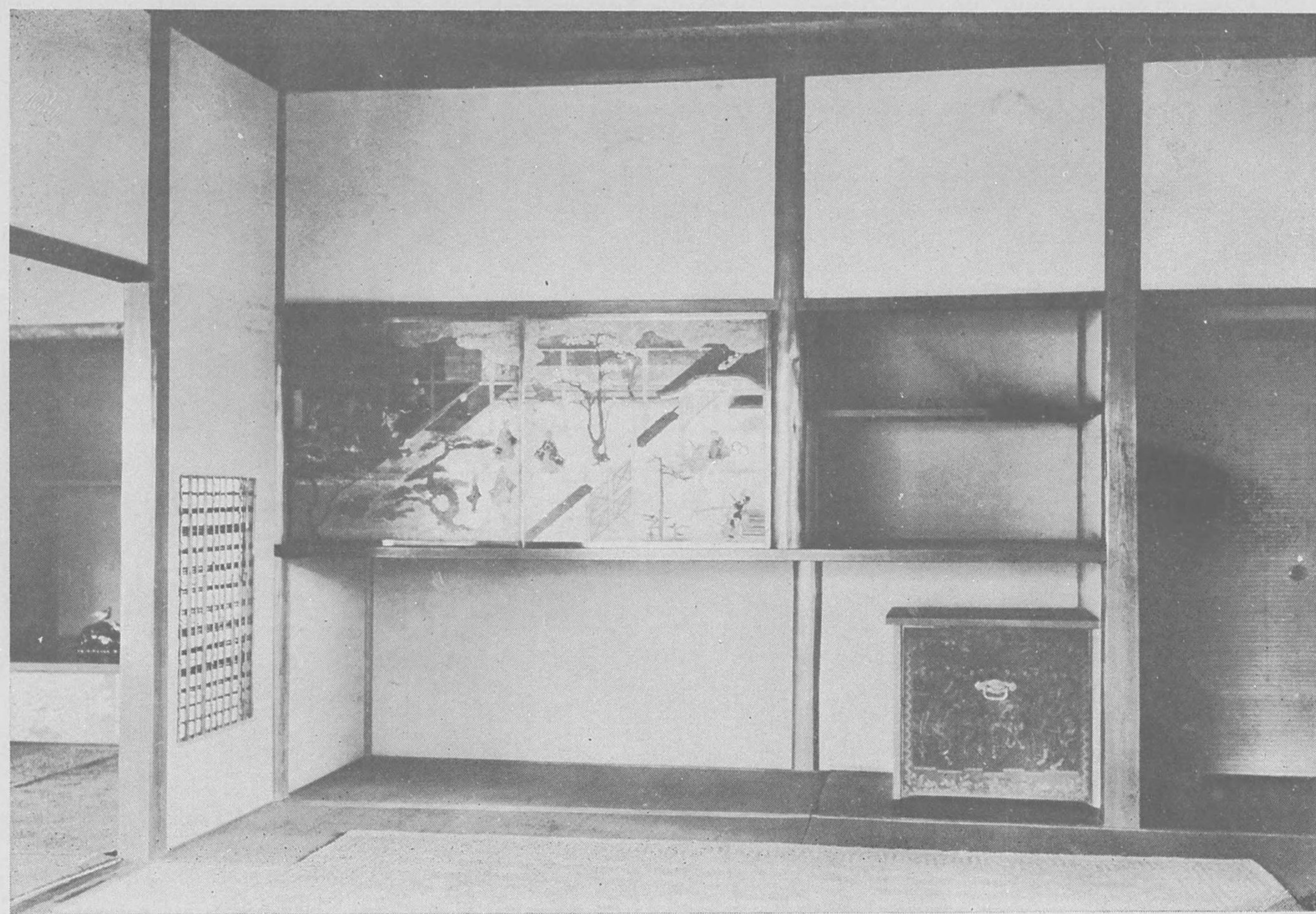


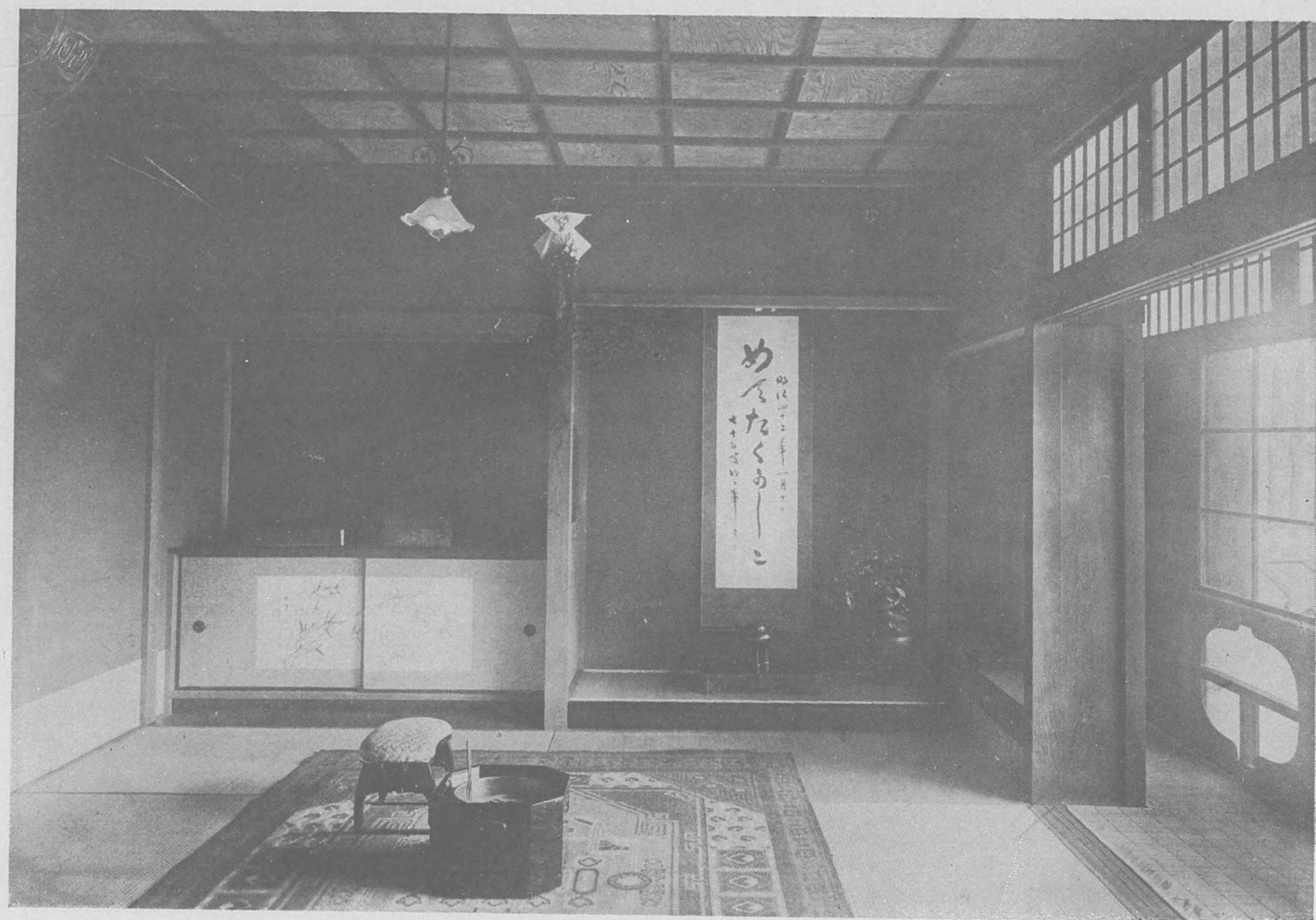
圖 三 十 五 第



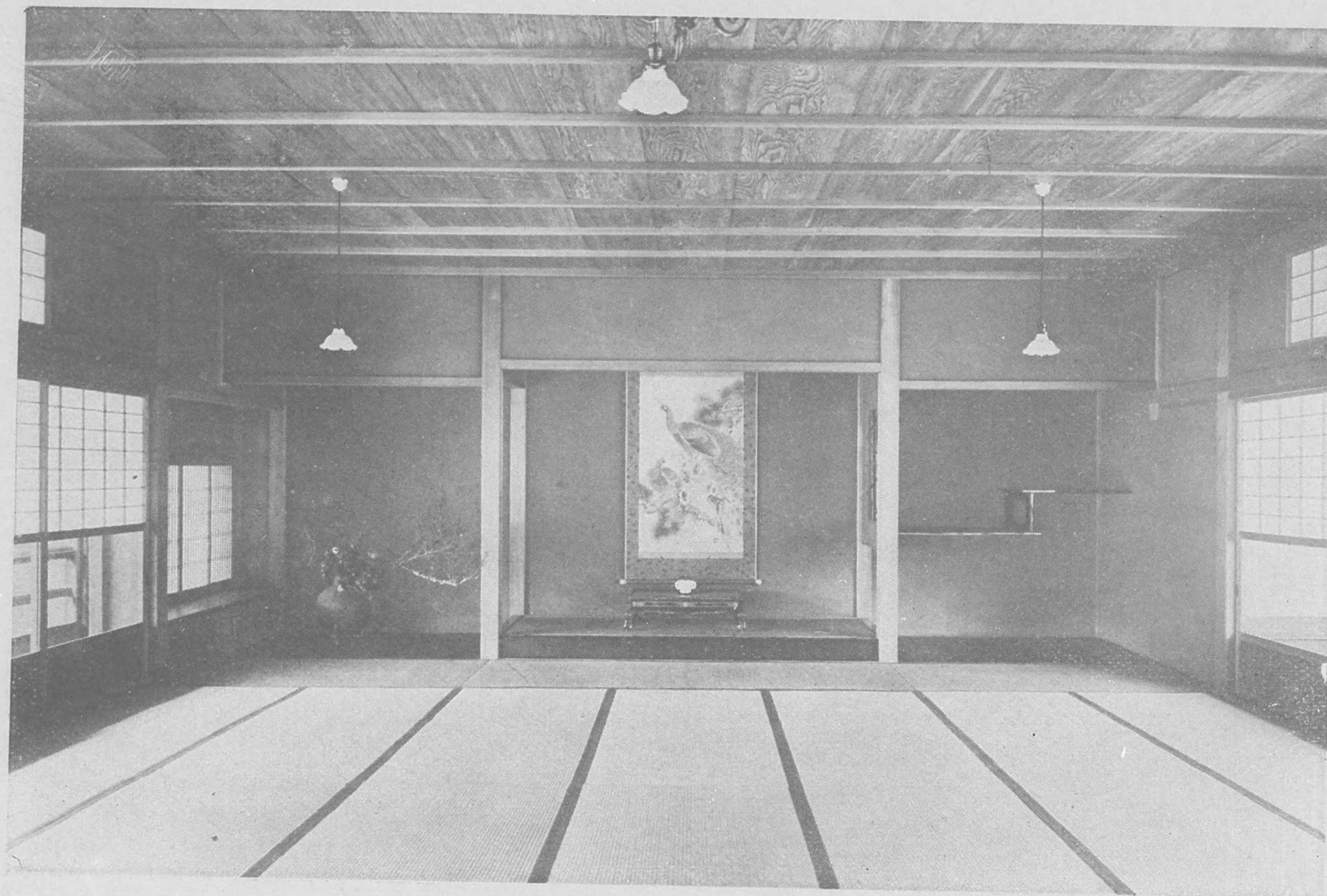
圖四十五第



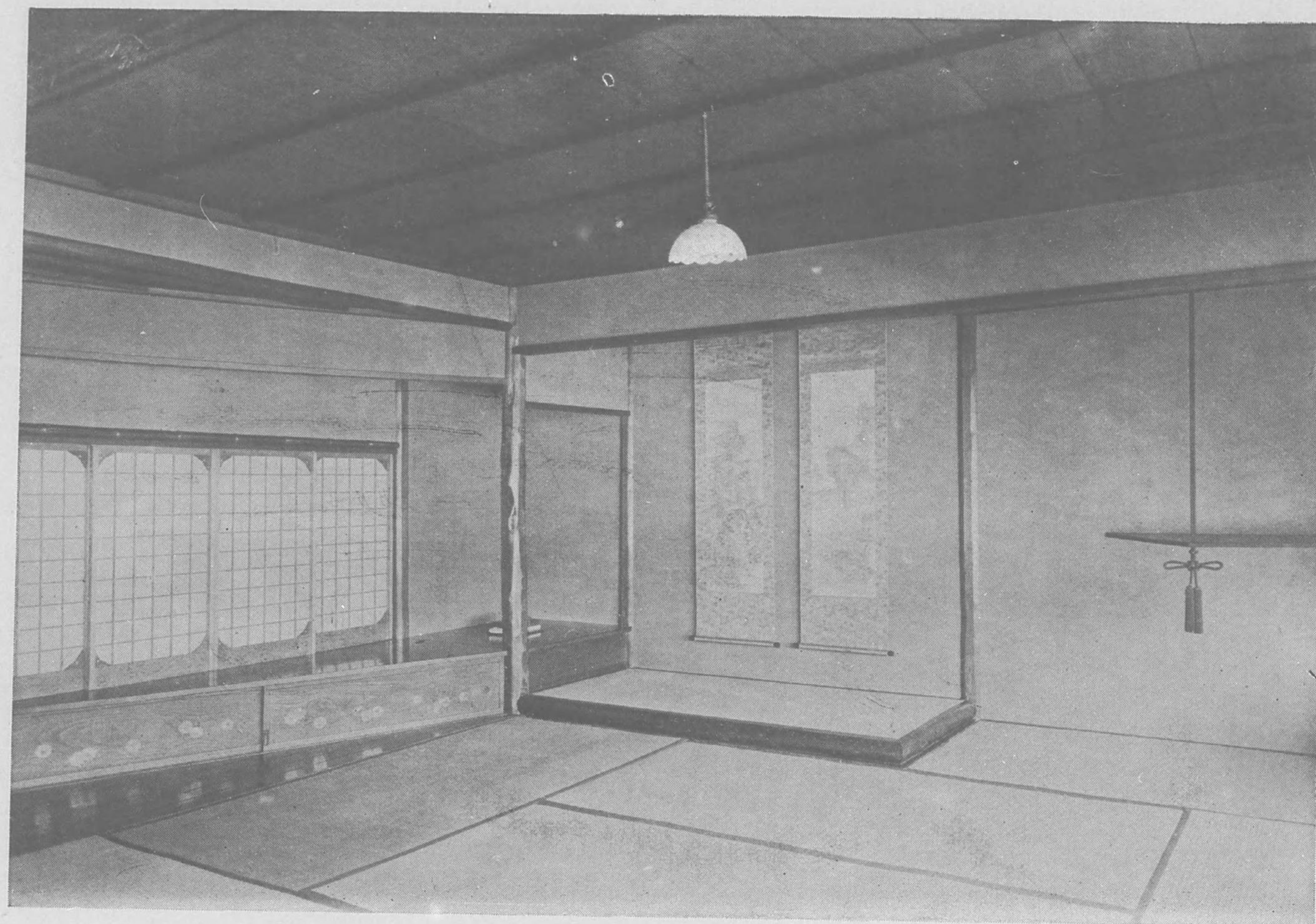
圖五十五第



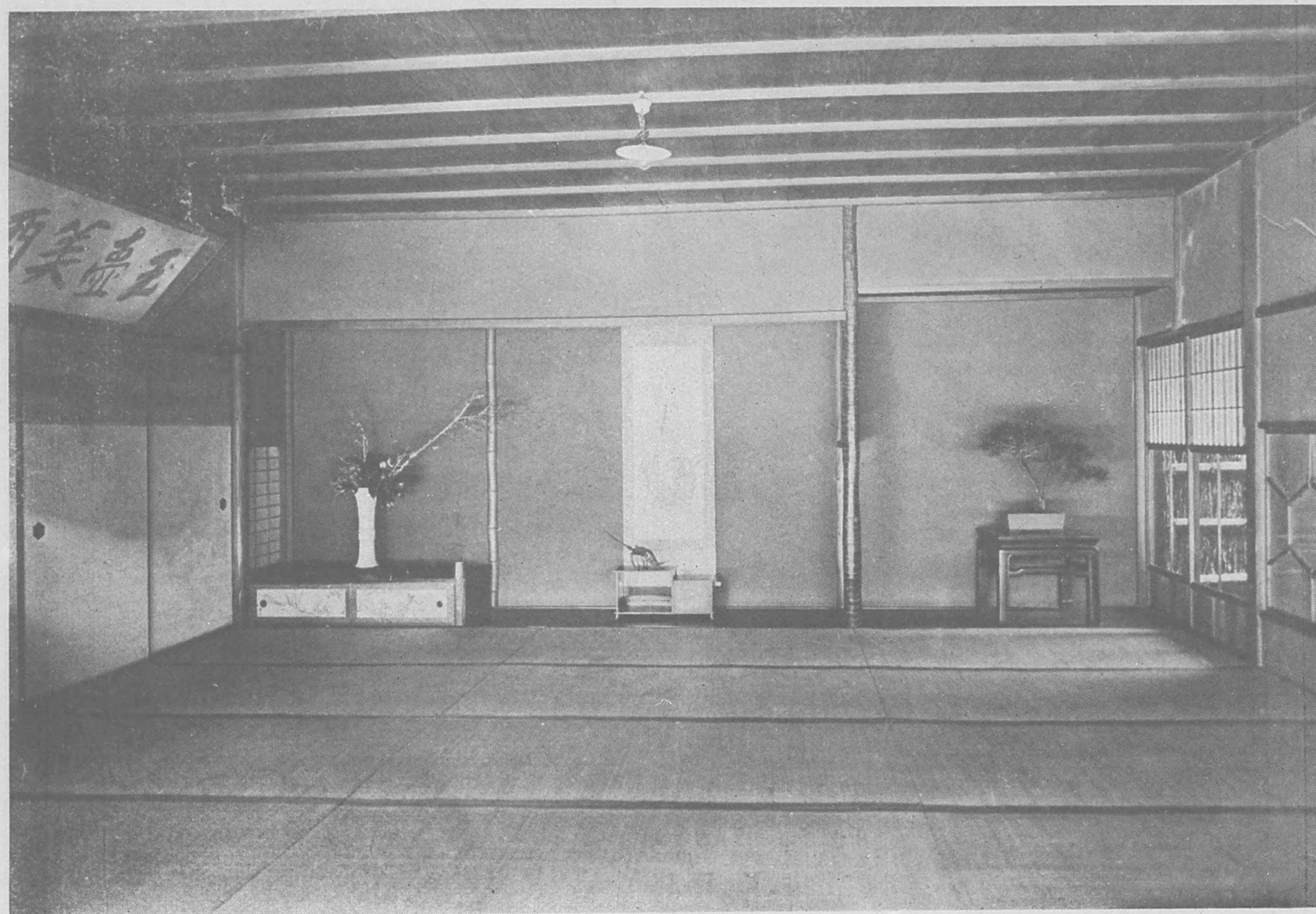
圖六十五第



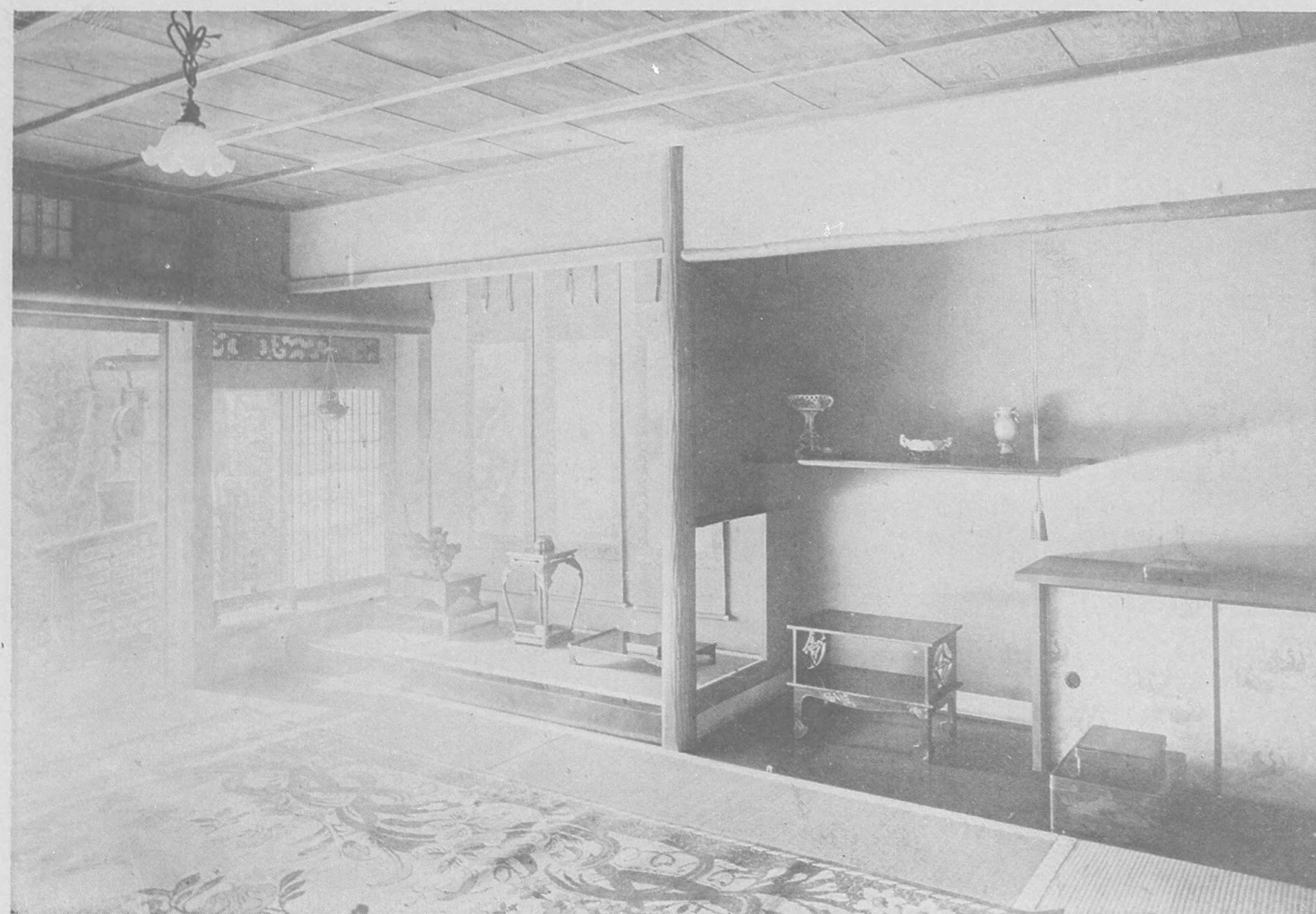
圖七十五第



圖八十五第



圖九十五第



圖十六第

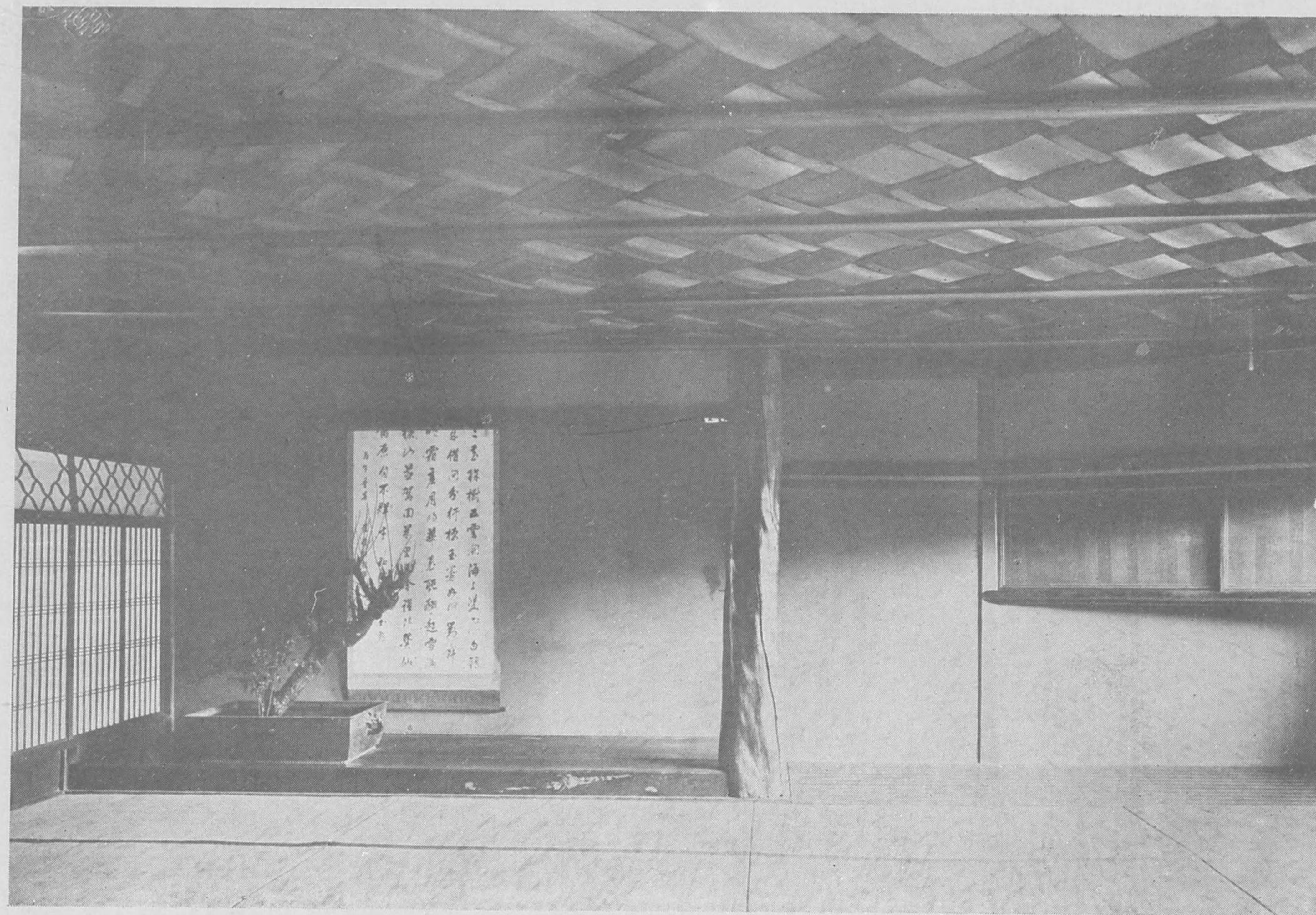
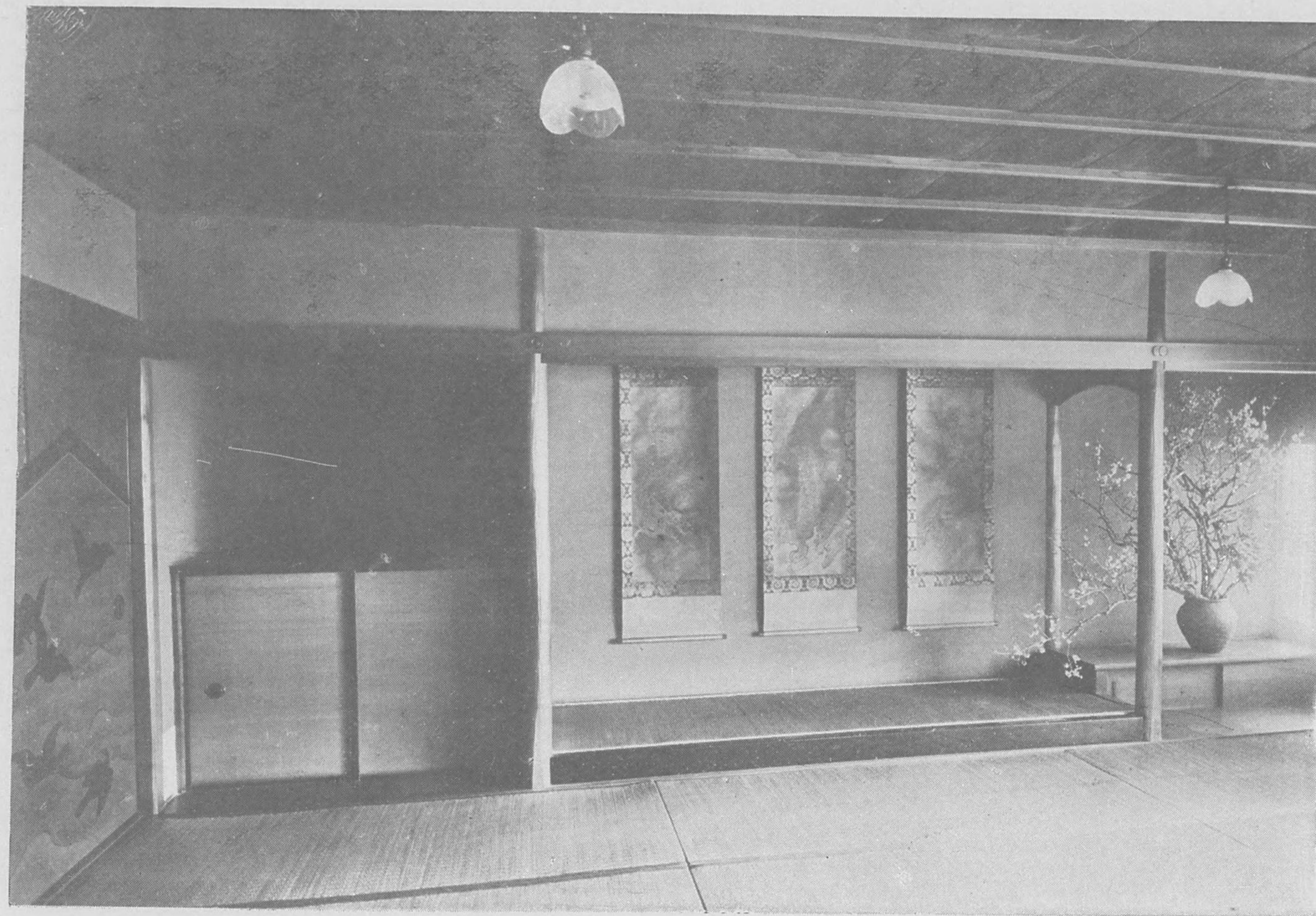
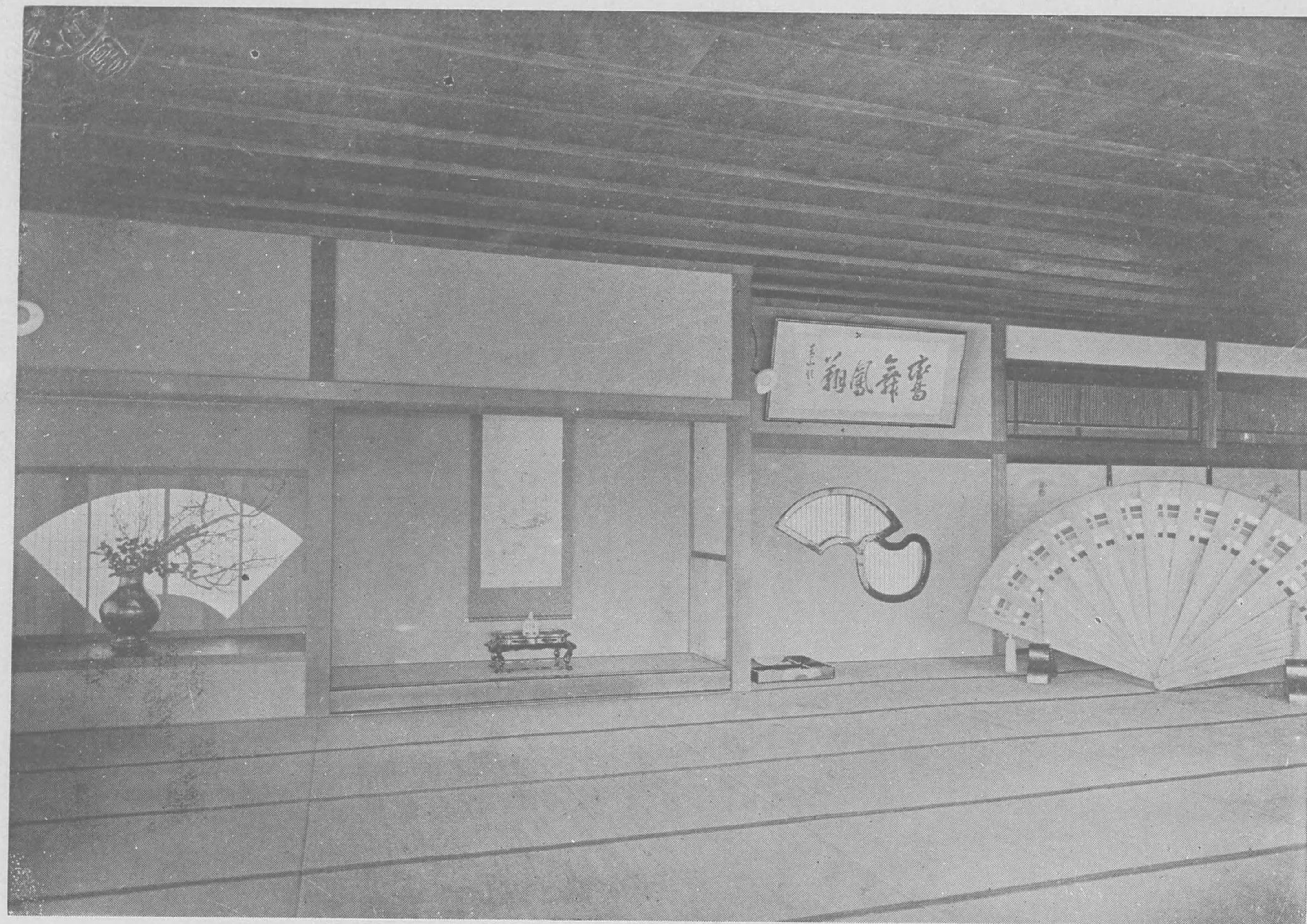


圖 一 十 六 第



圖二十六第



圖三十六第

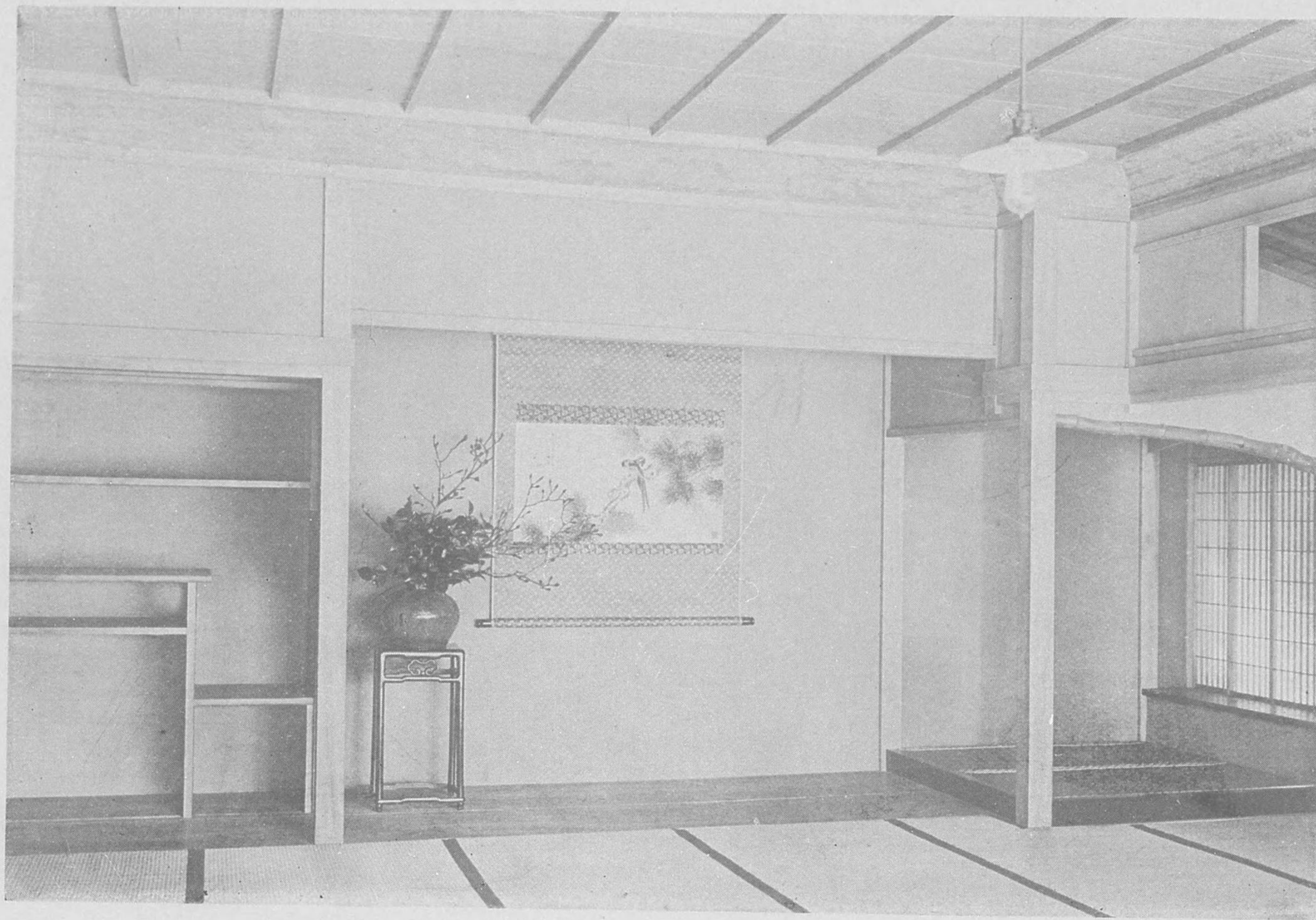
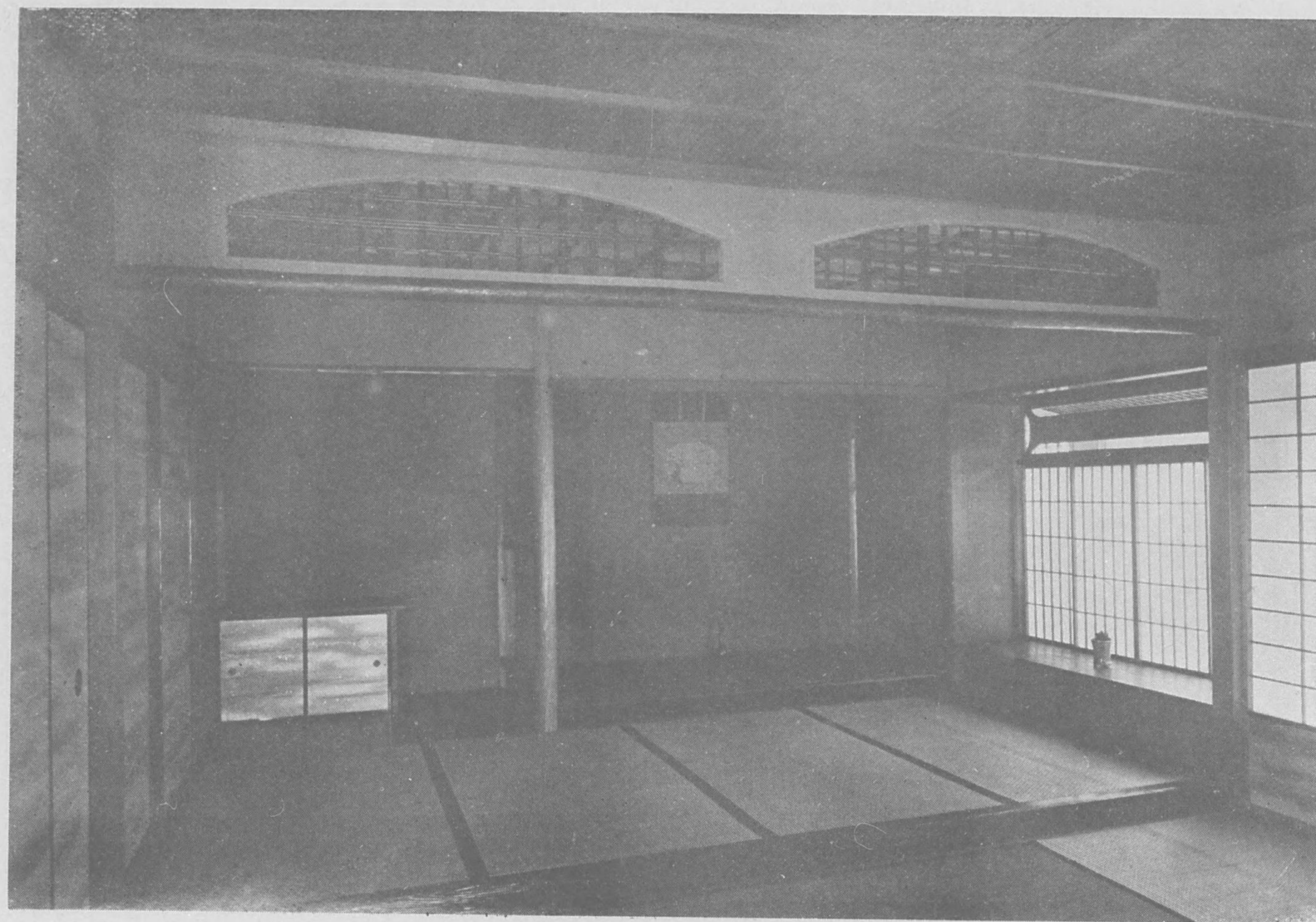
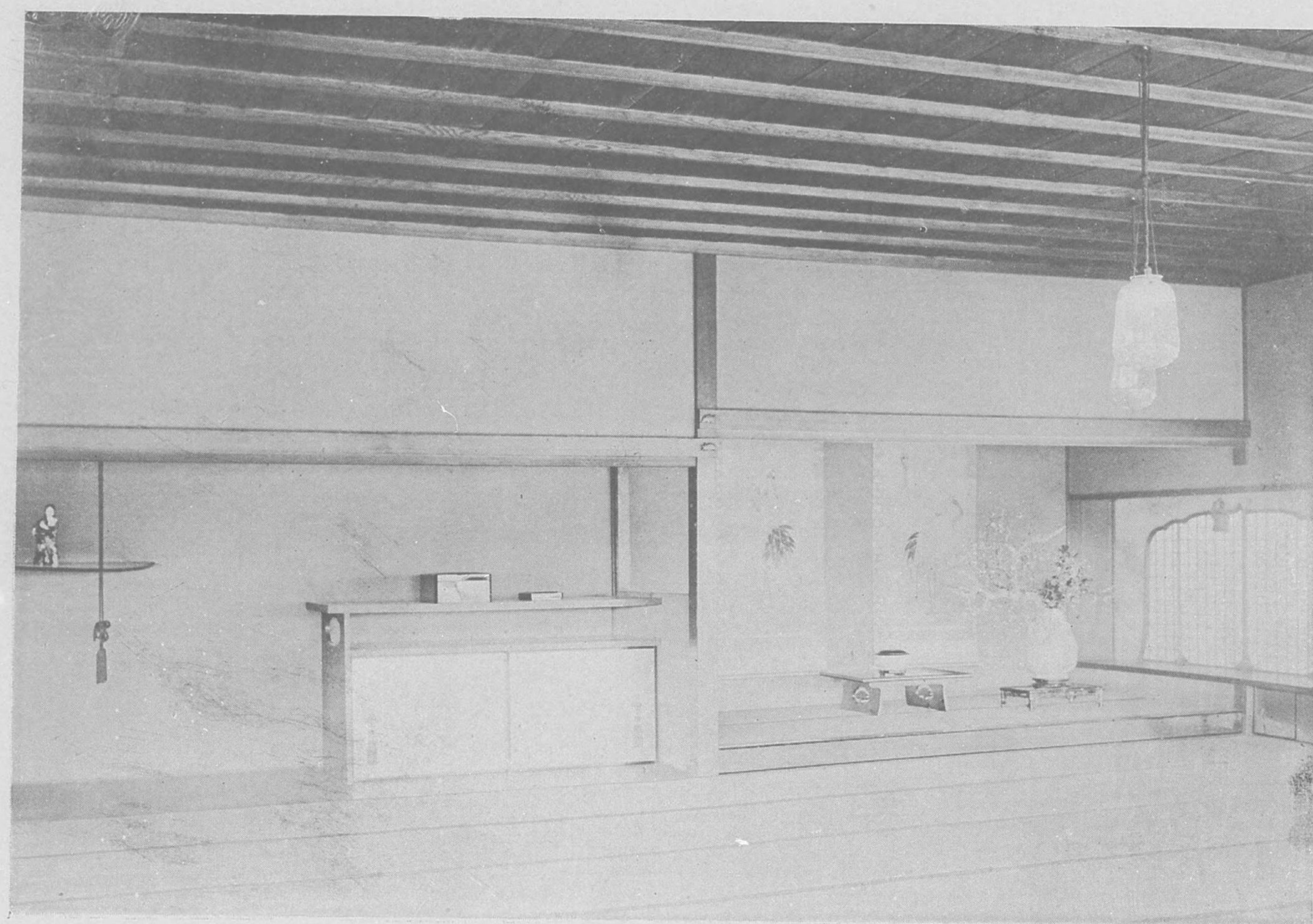


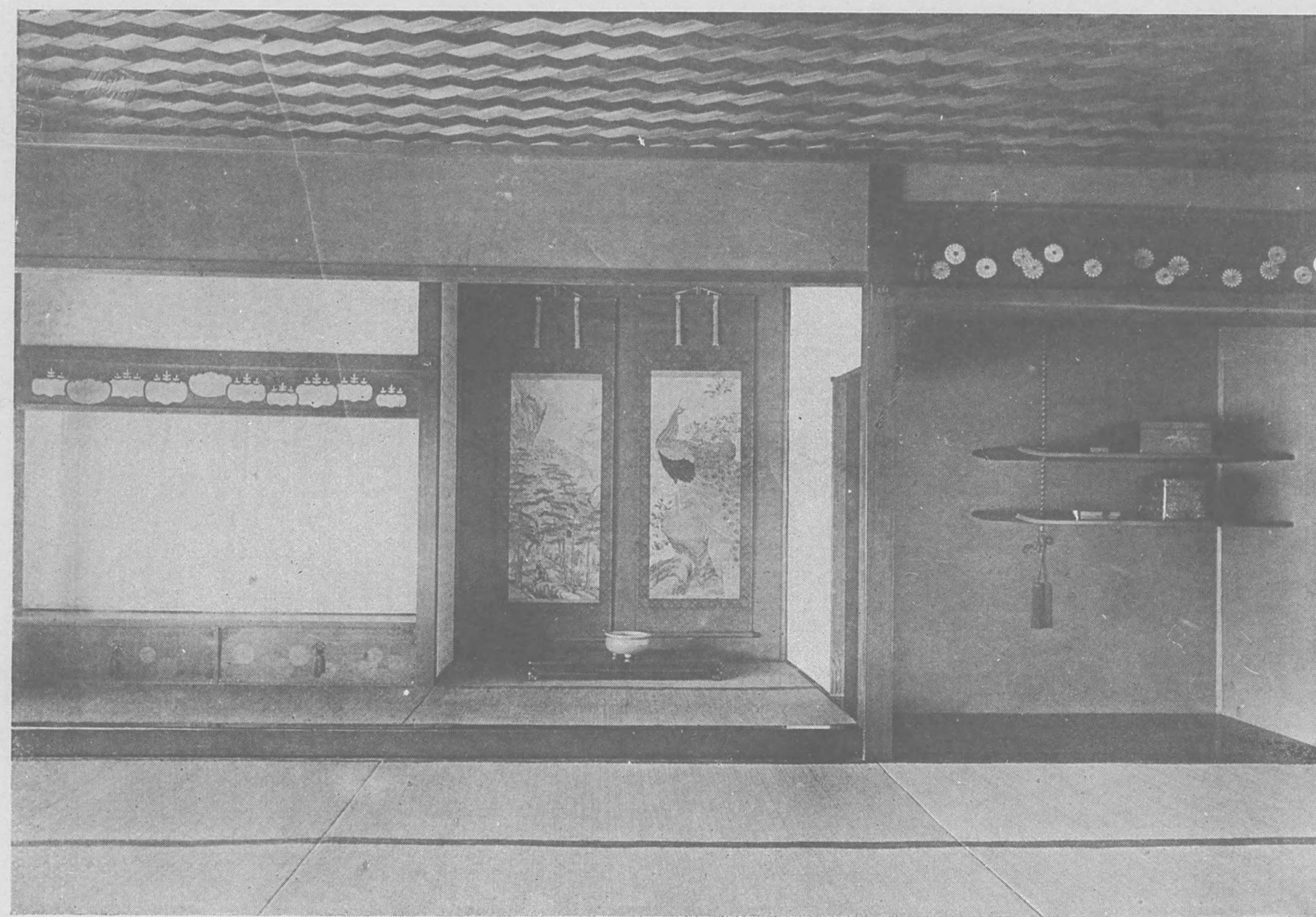
圖 四 十 六 第



圖五十六第



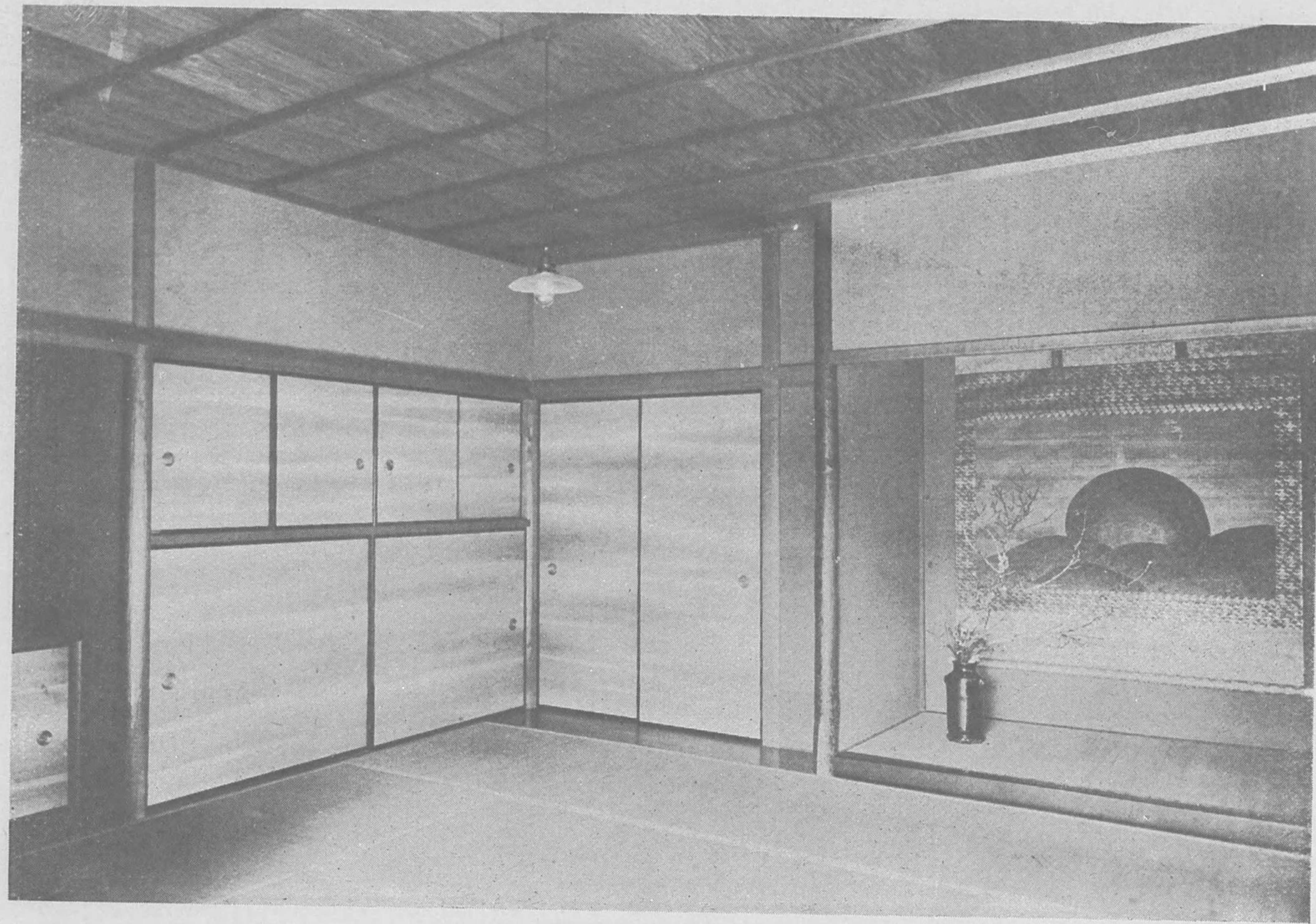
圖六十六第



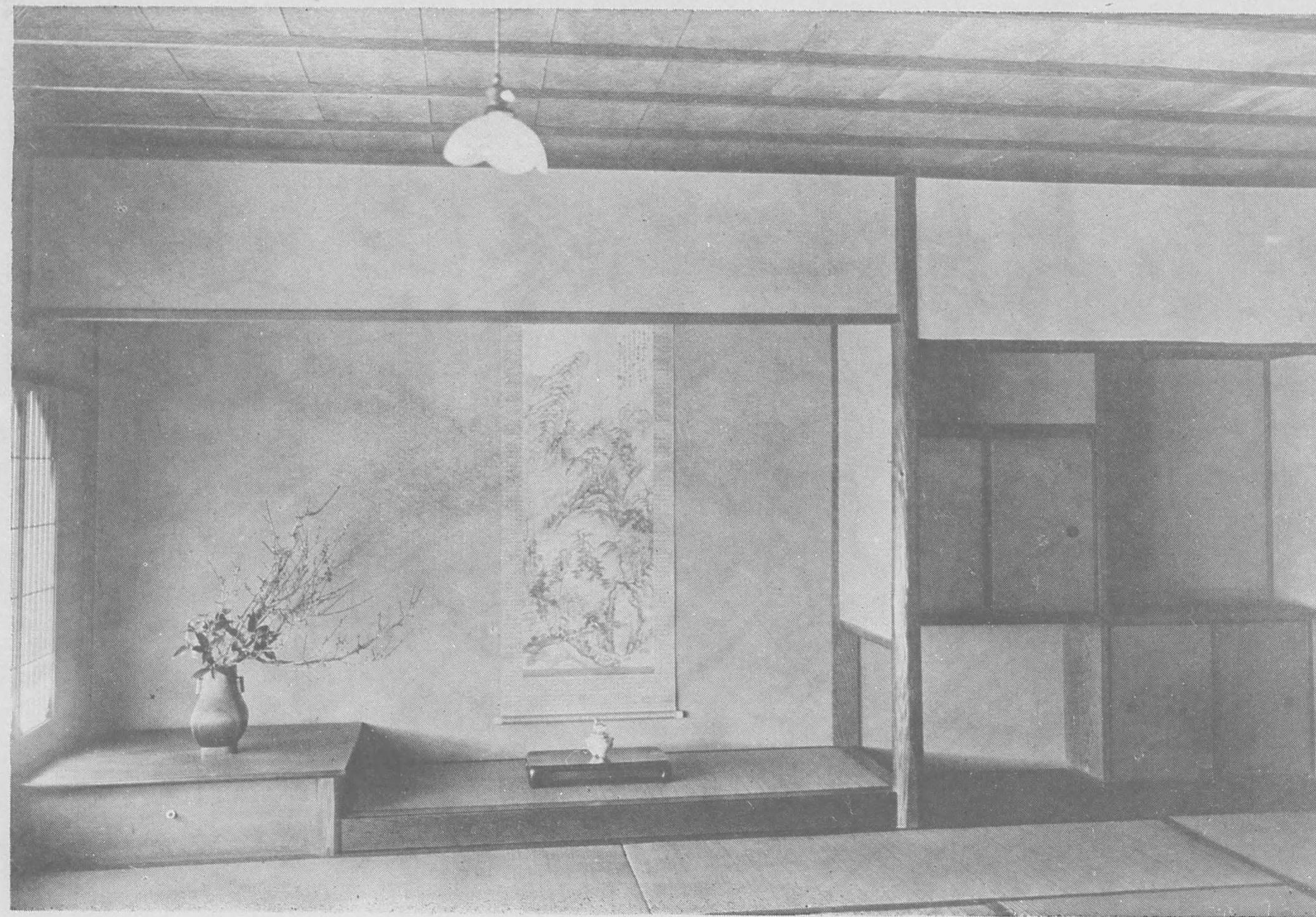
圖七十六第



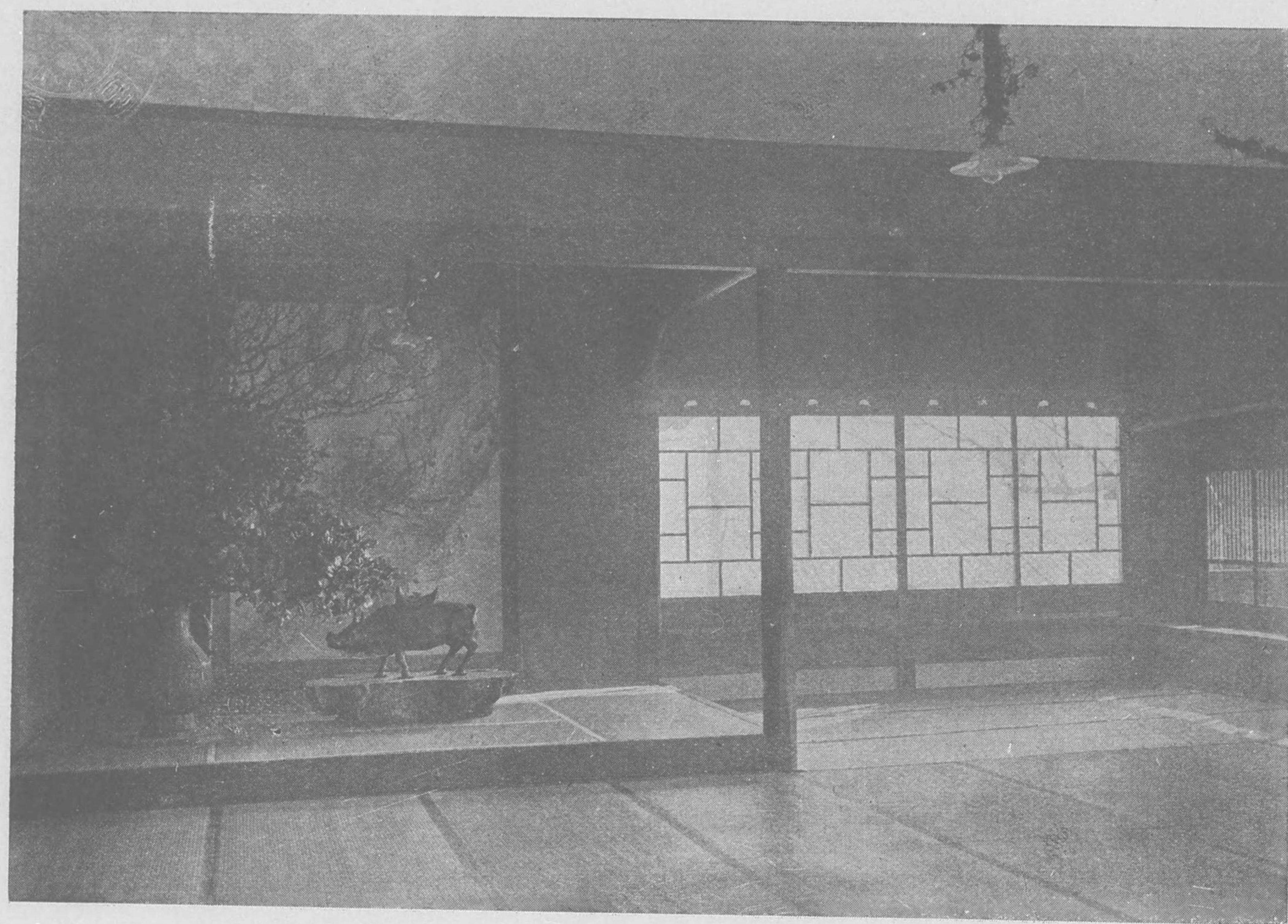
圖八十六第



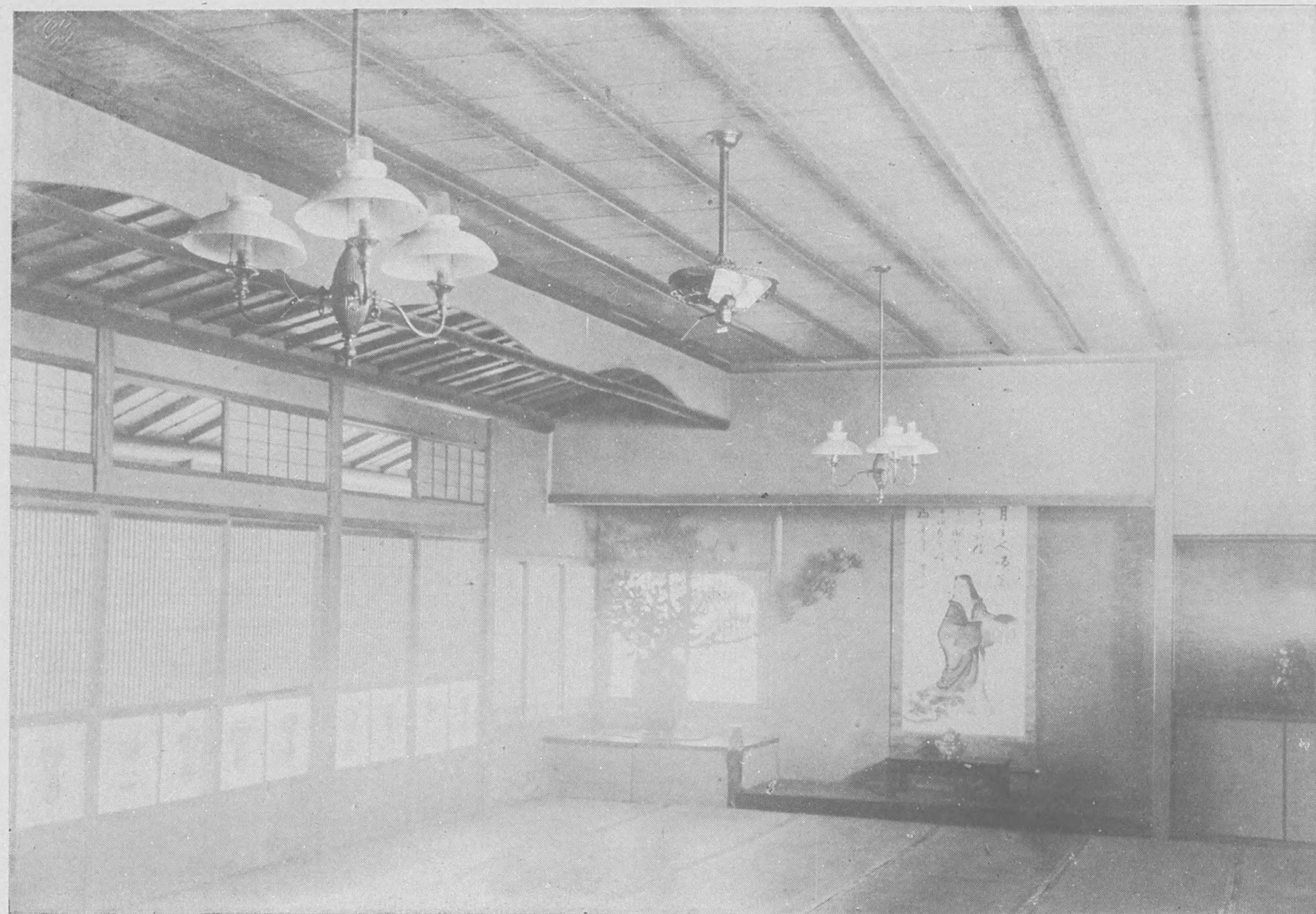
圖九十六第



圖十七第



圖一十七第



圖二十七第

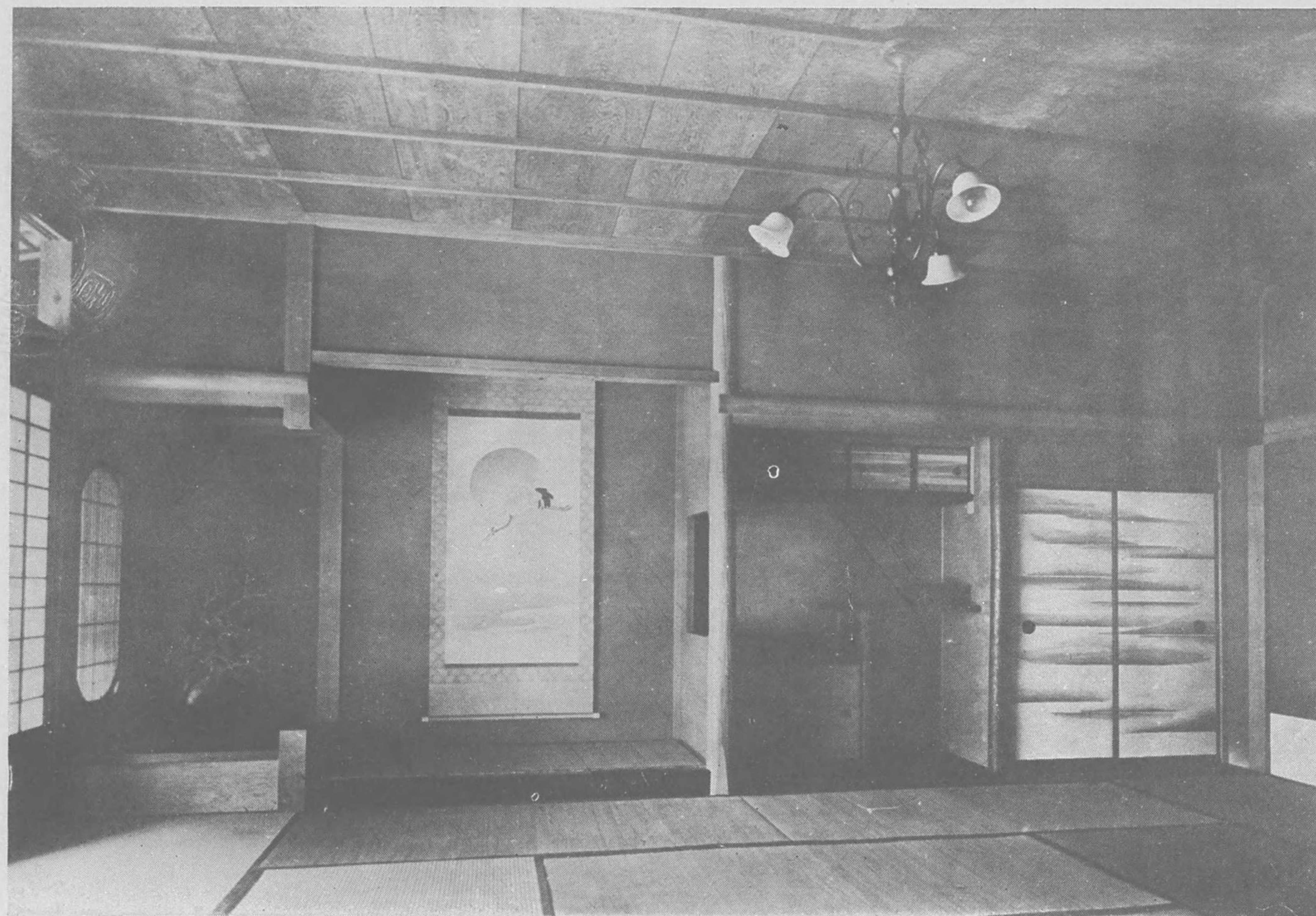


圖 三 十 七 第

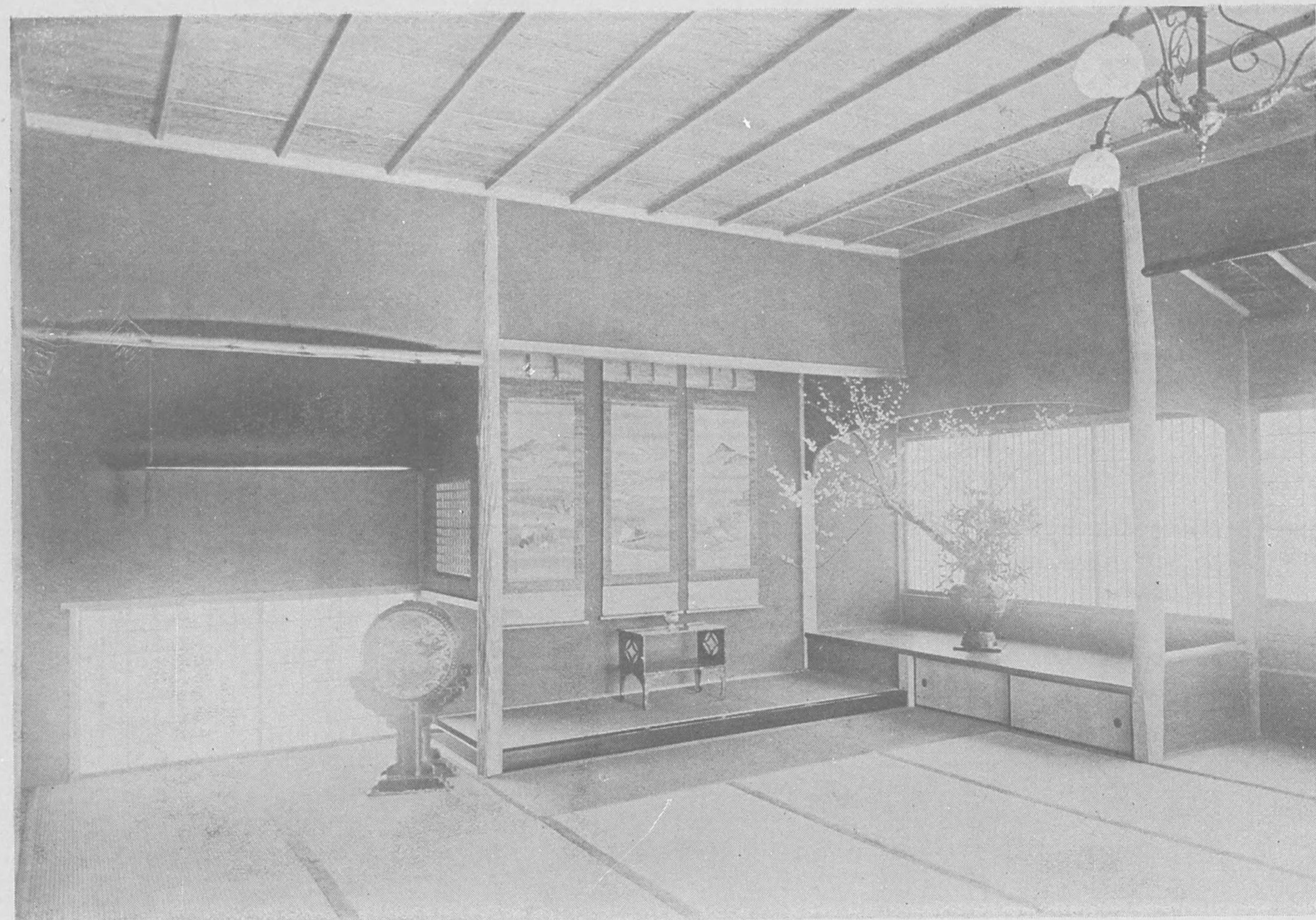
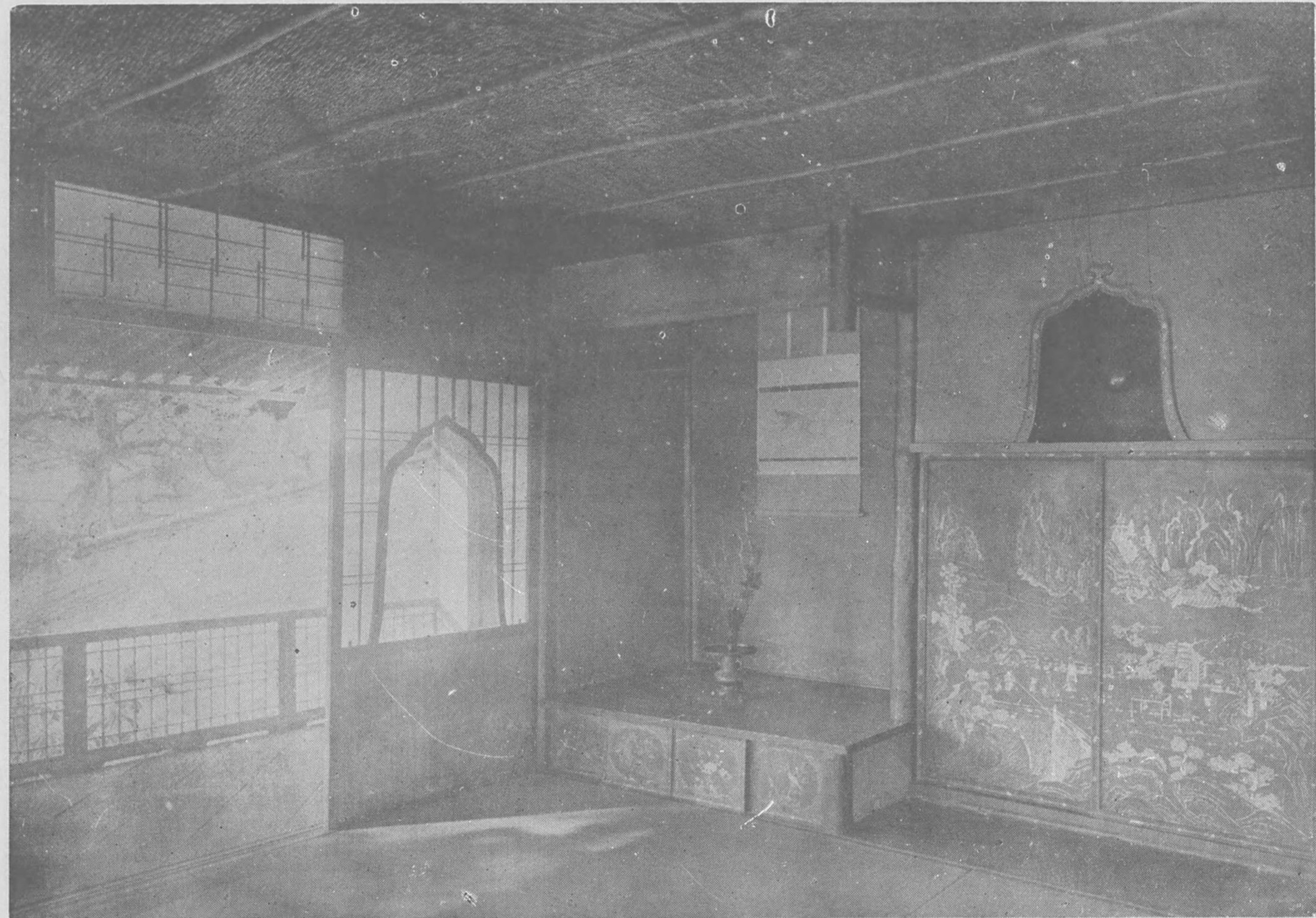
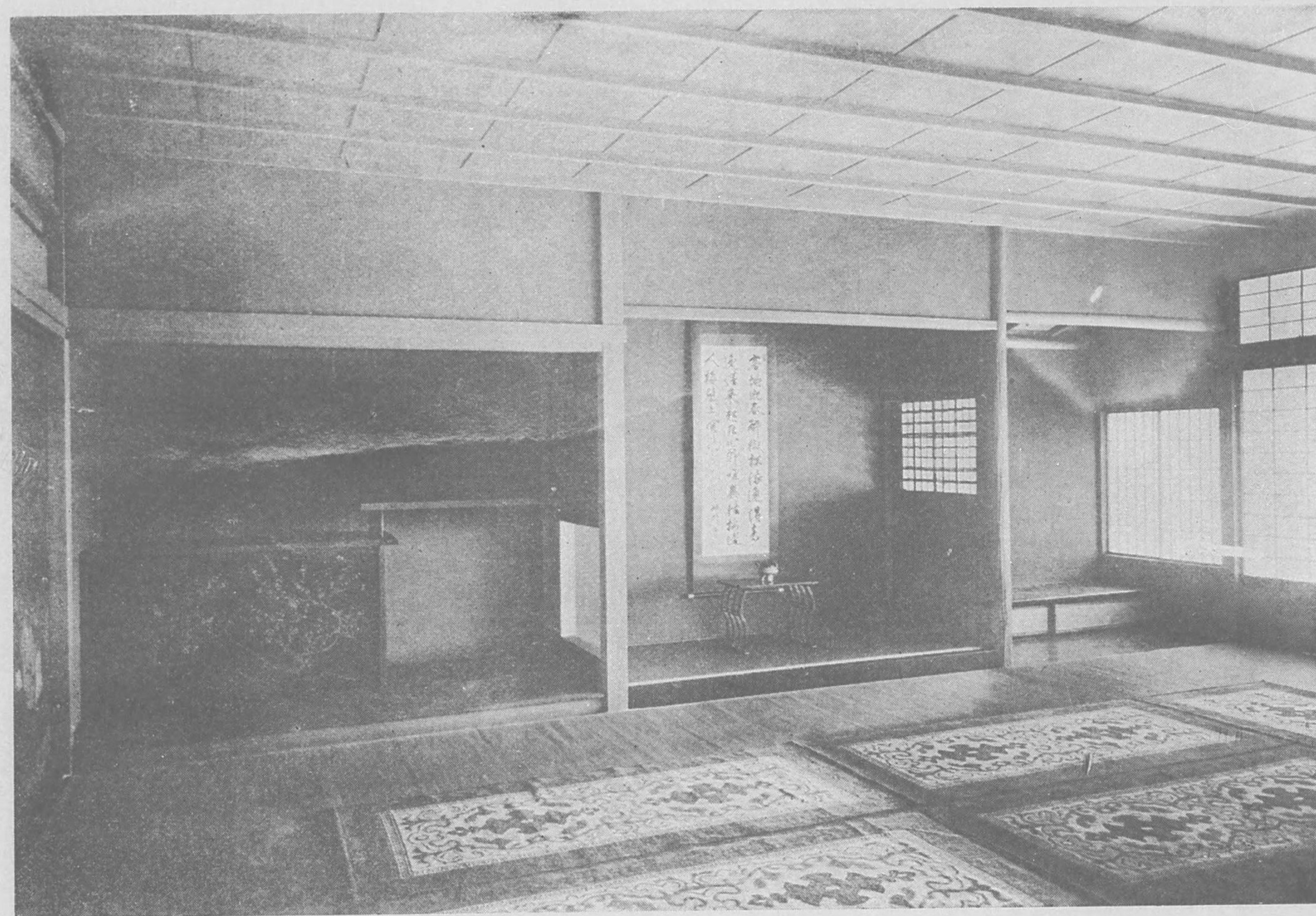


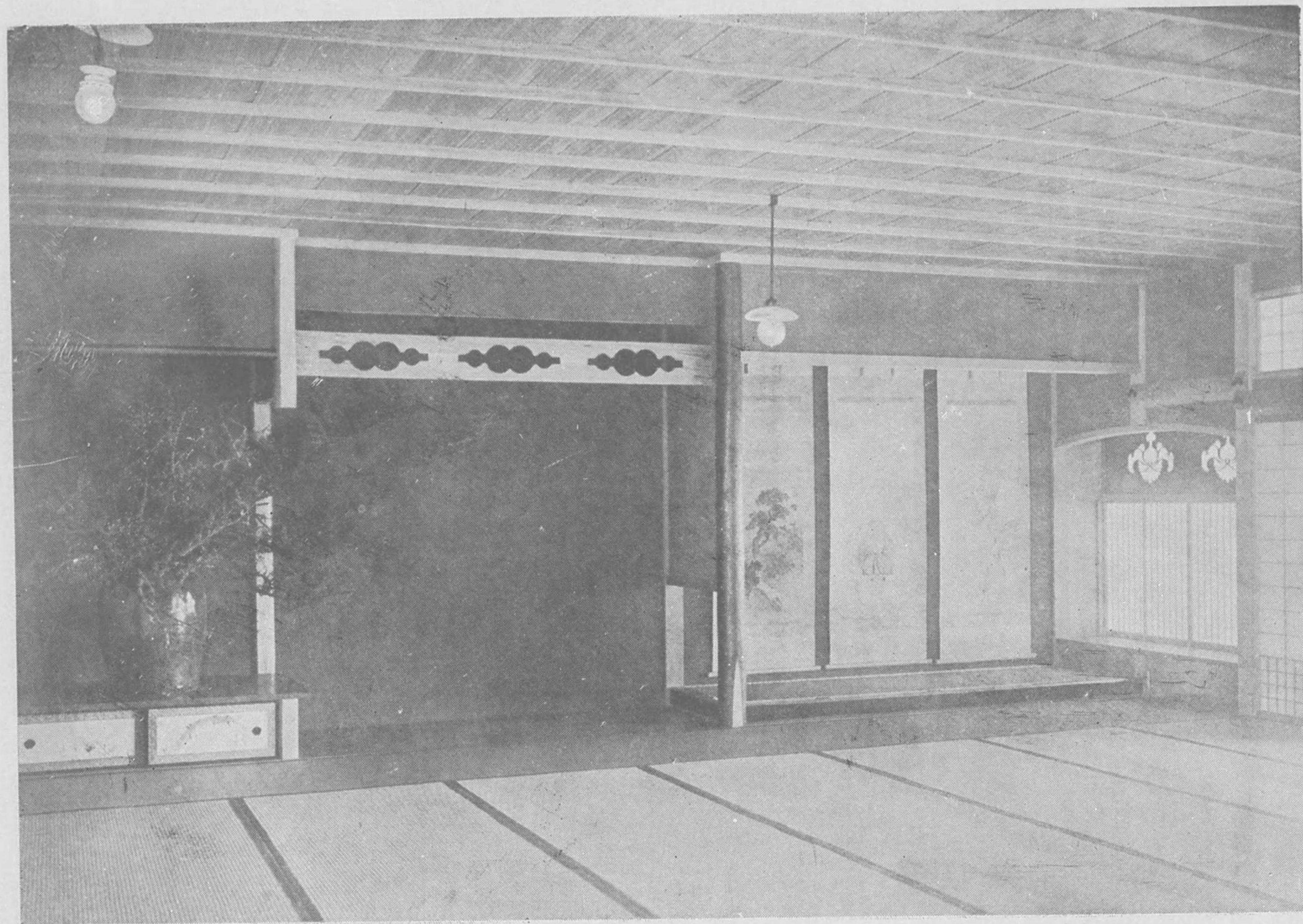
圖 四 十 七 第



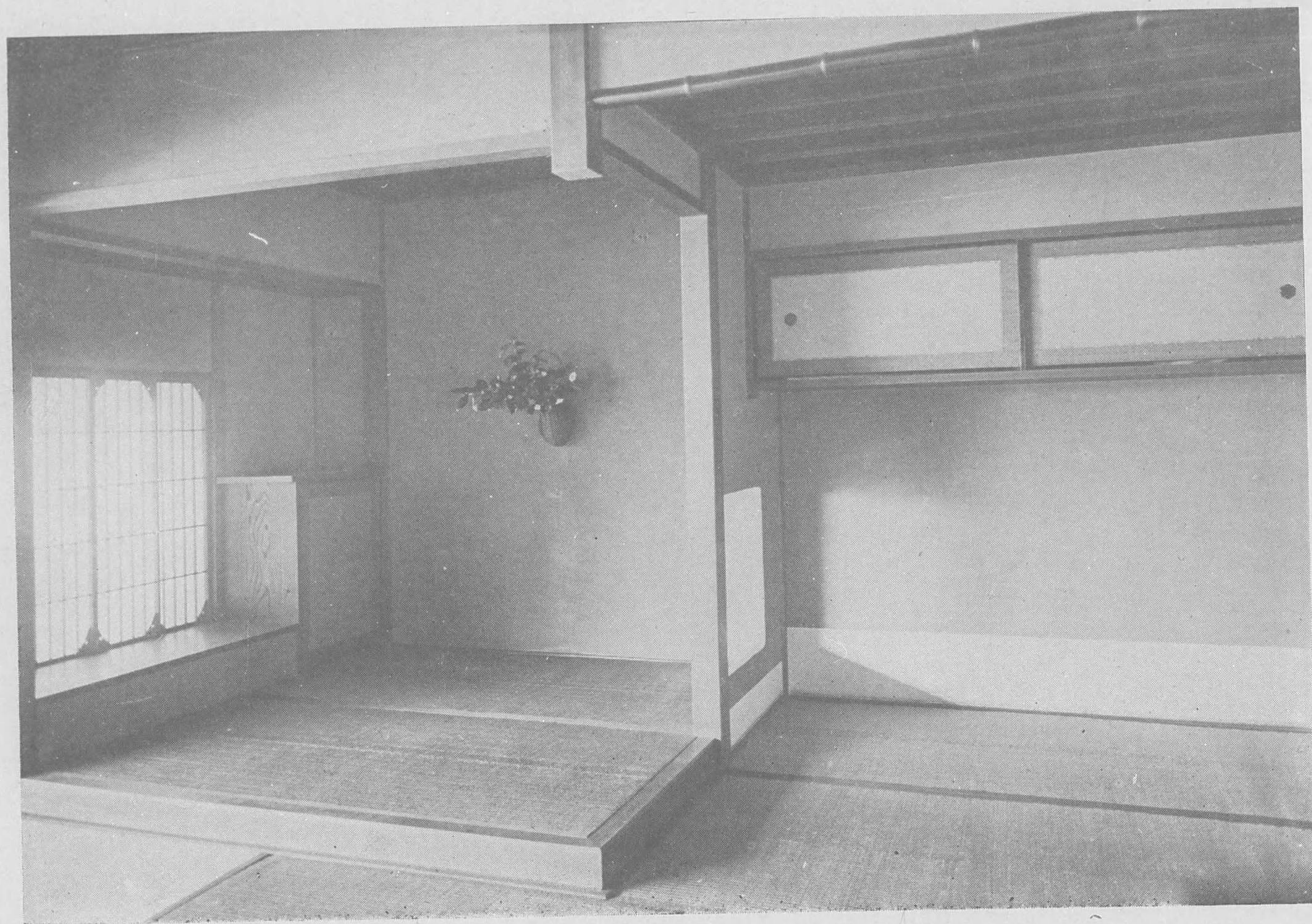
圖五十七第



圖六十七第



圖七十七第



圖八十七第



圖九十七第

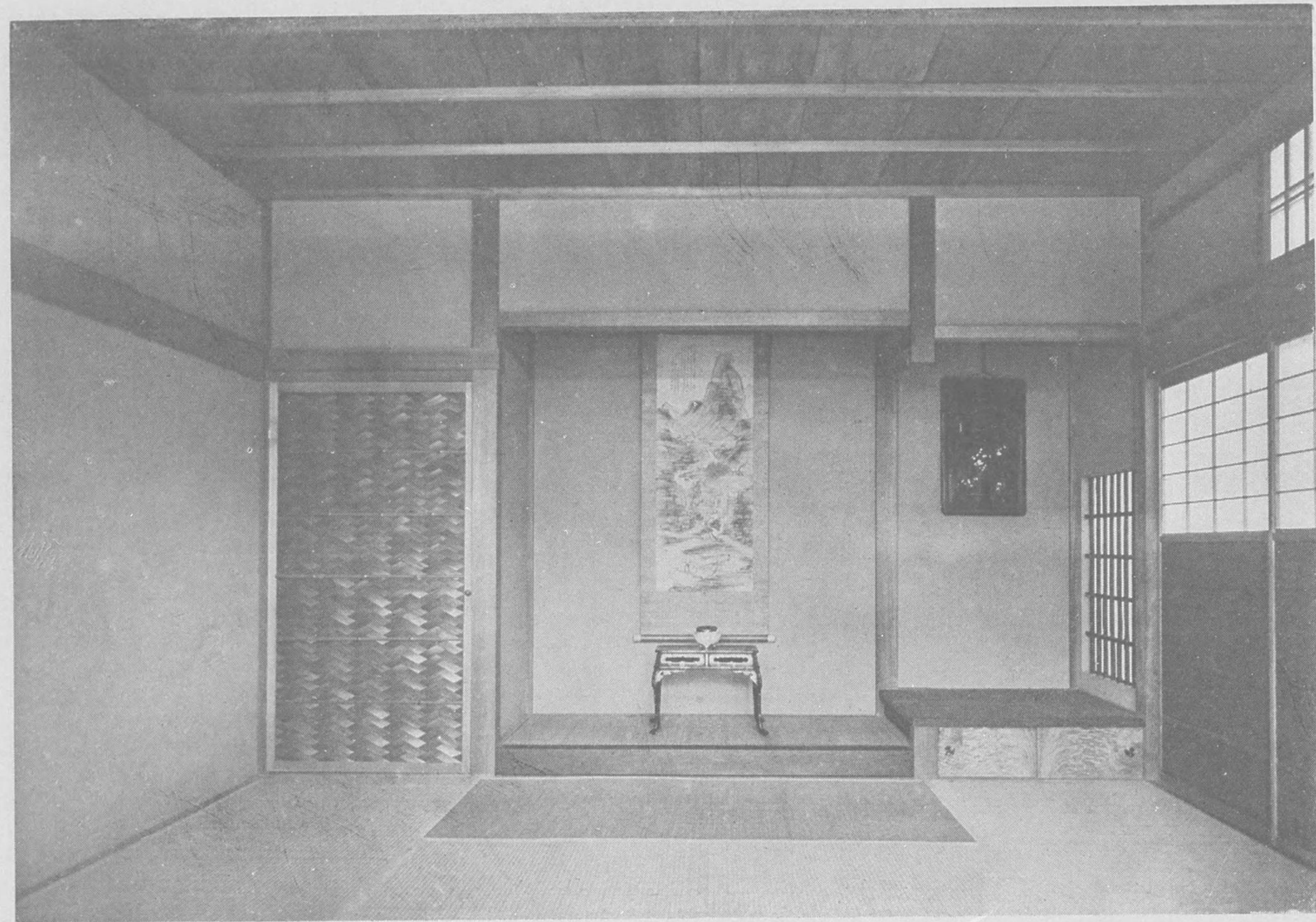
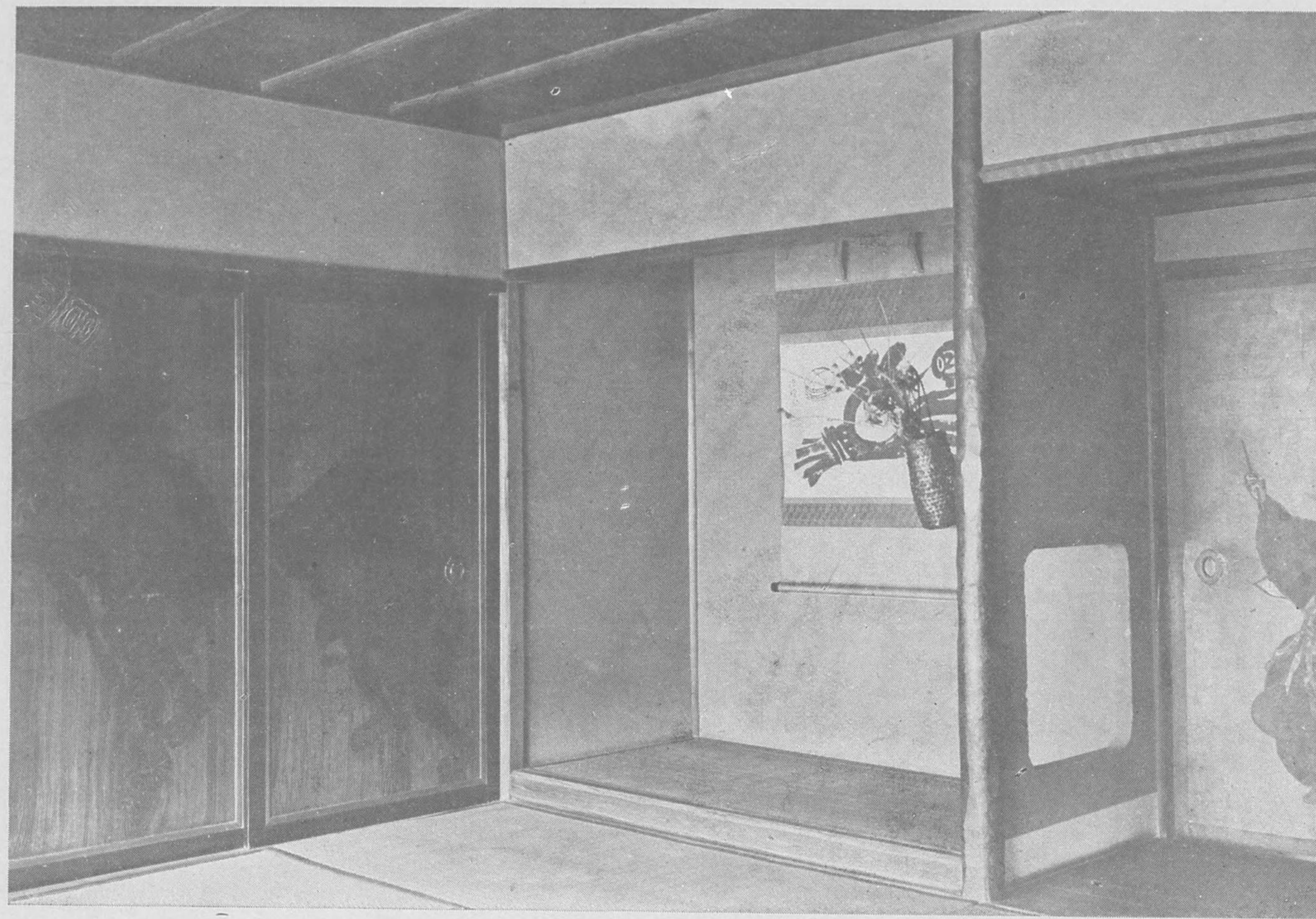
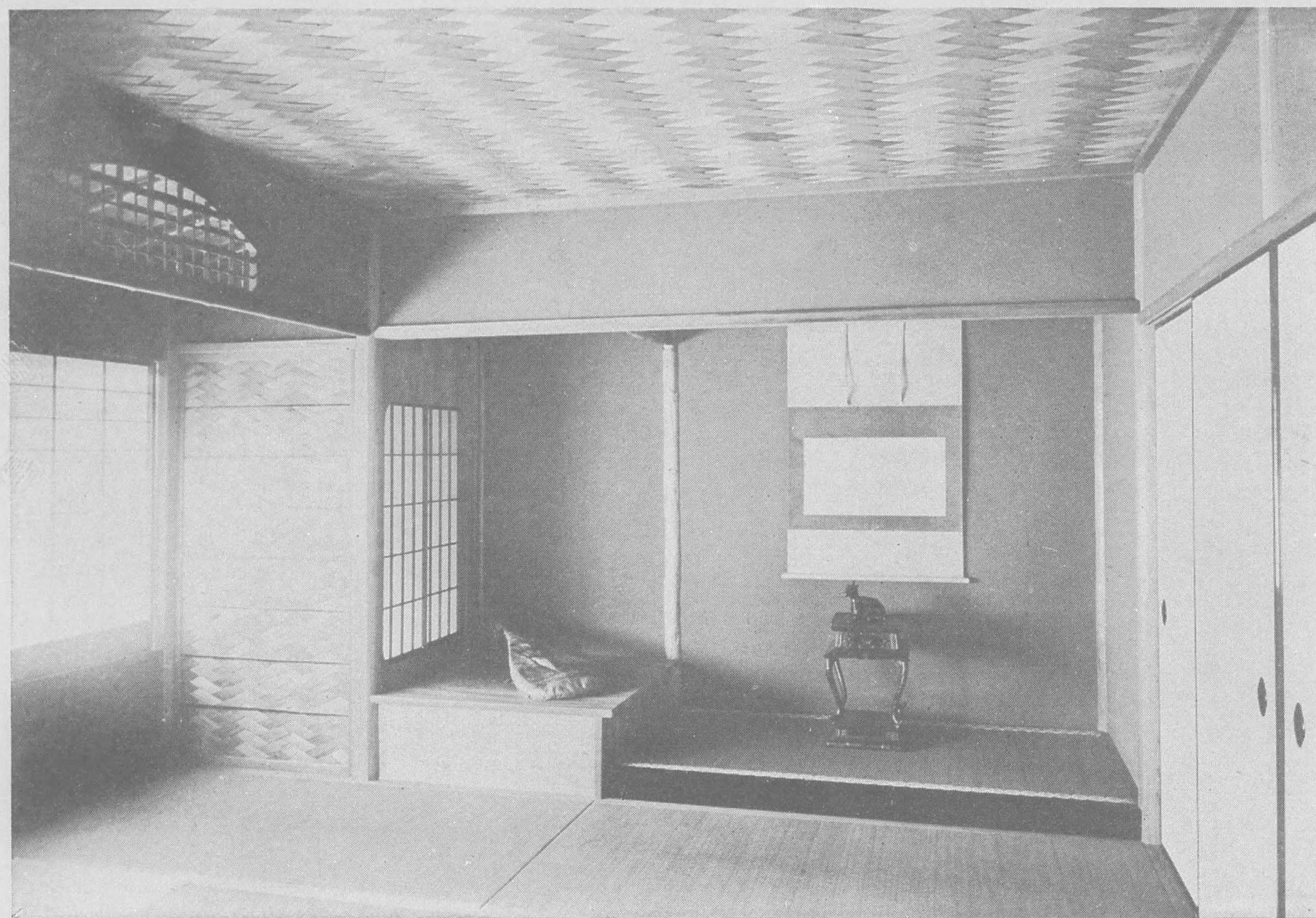


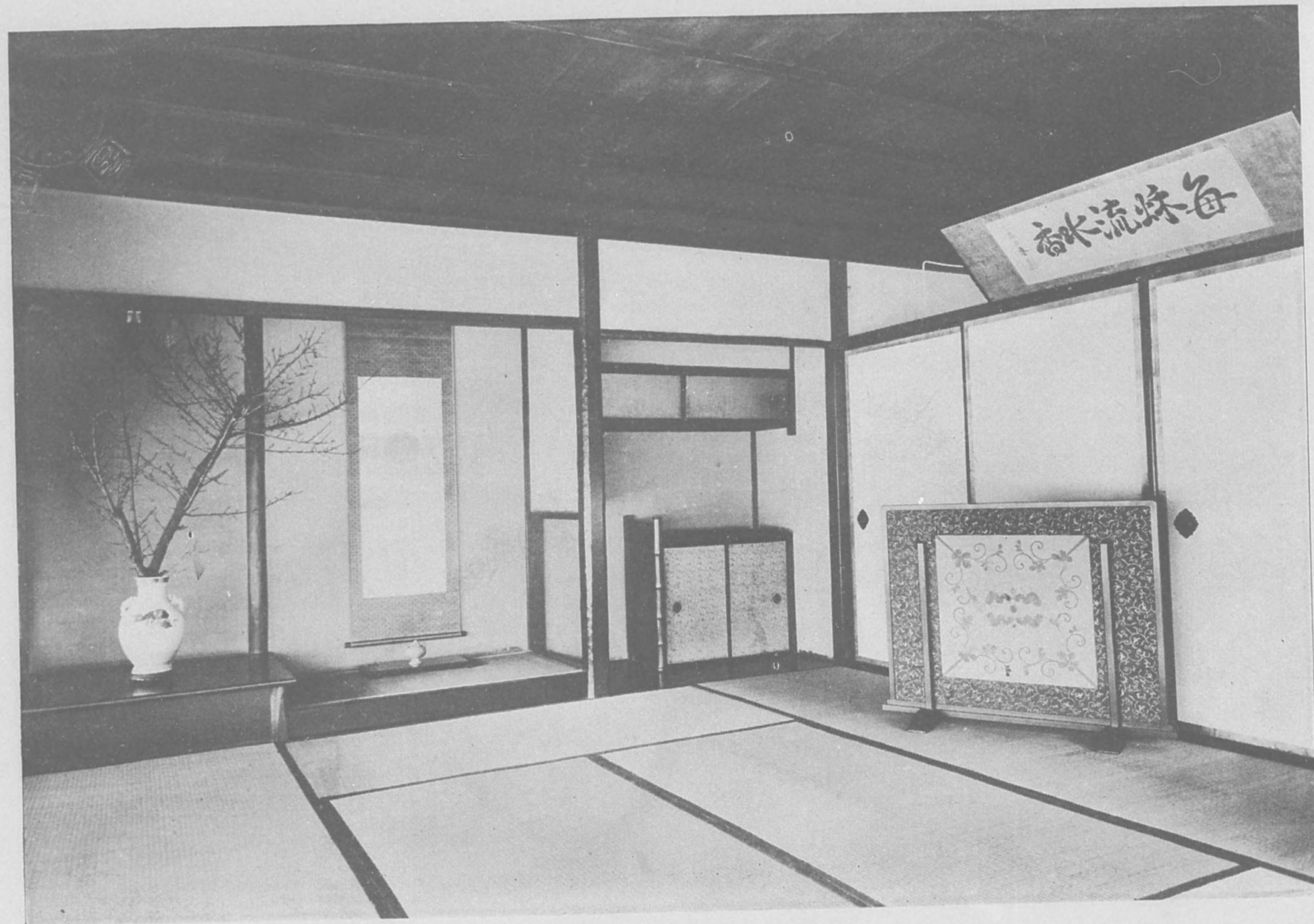
圖 十 八 第



圖一十八第



圖二十八第



圖三十八第

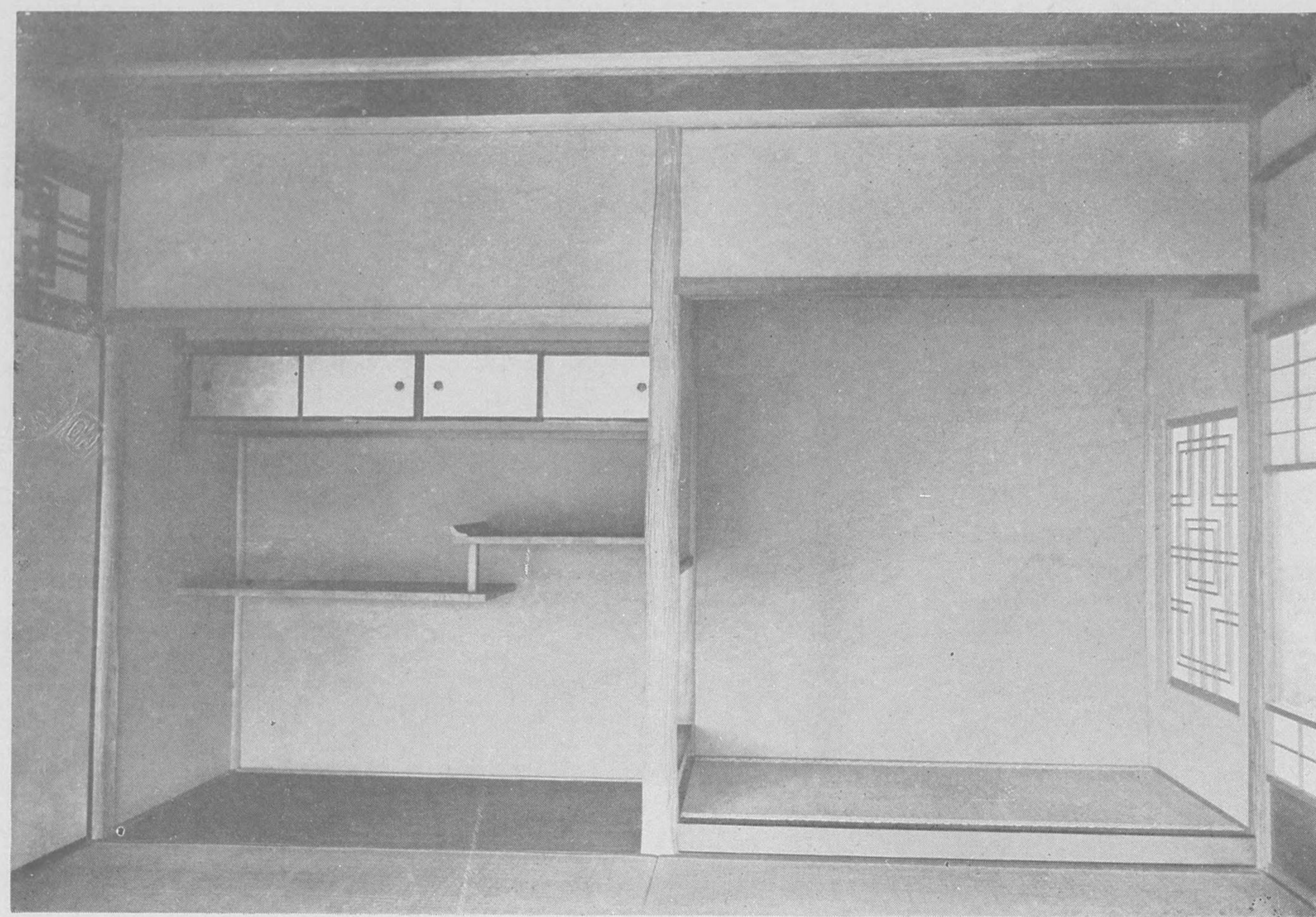
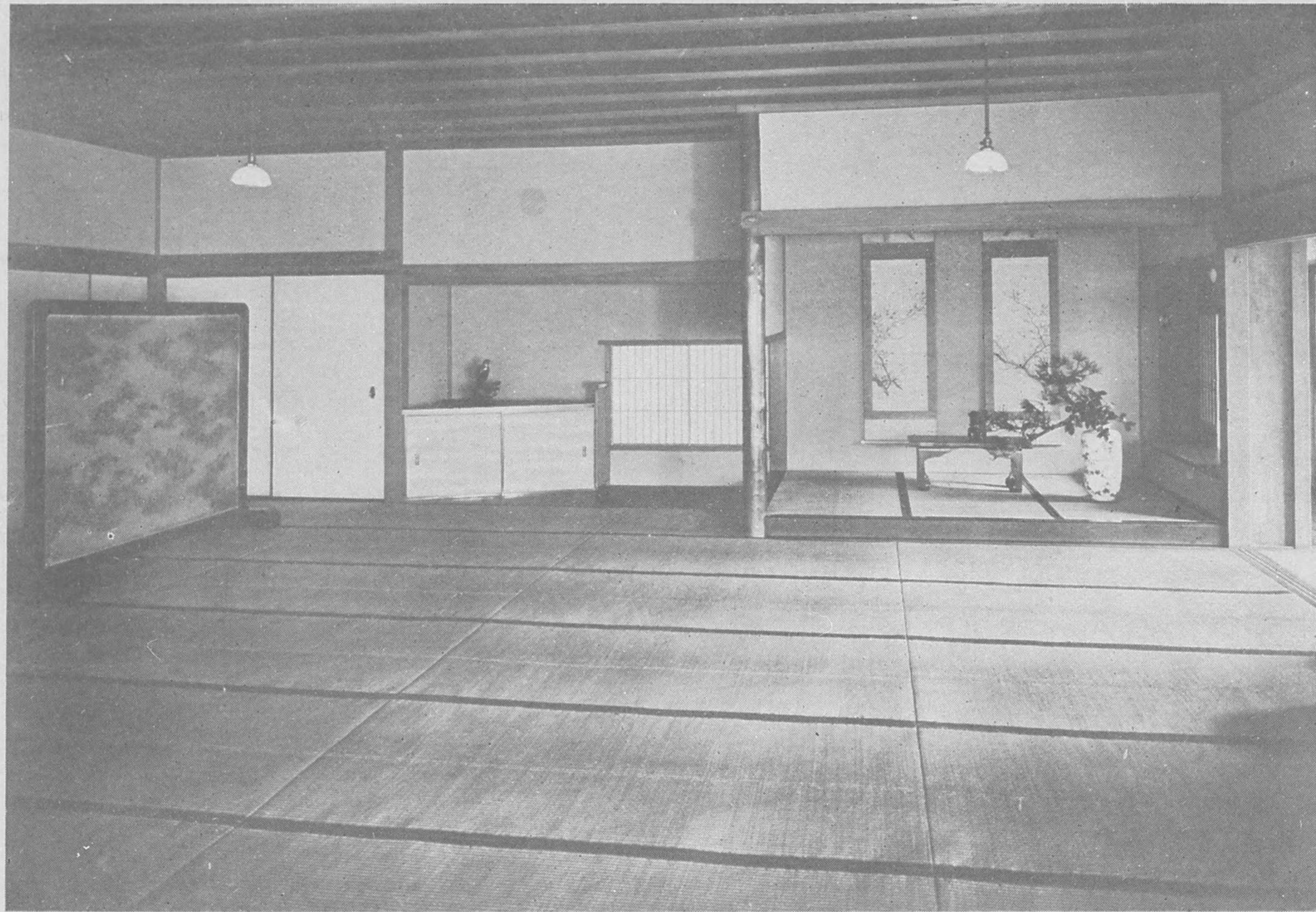
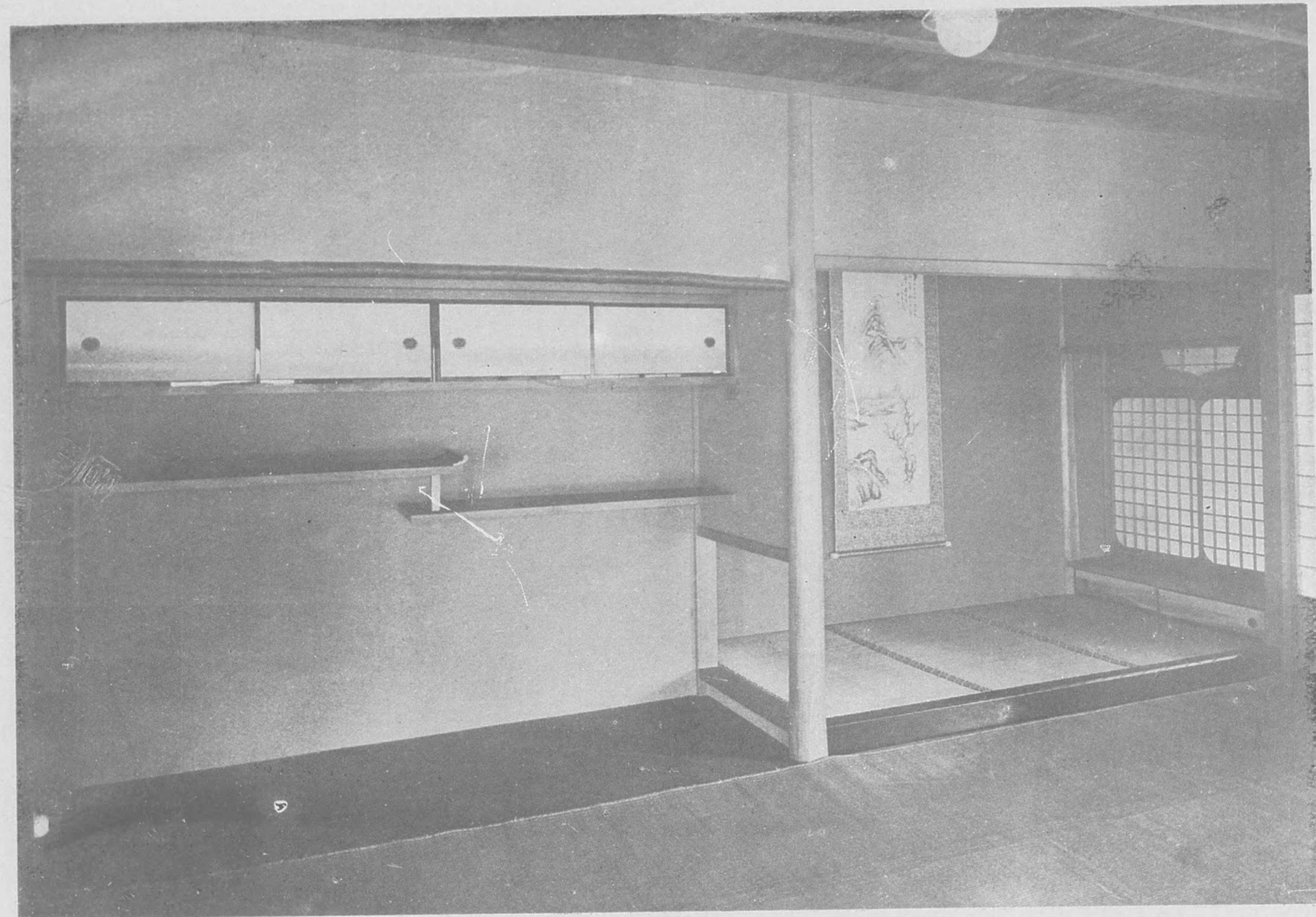


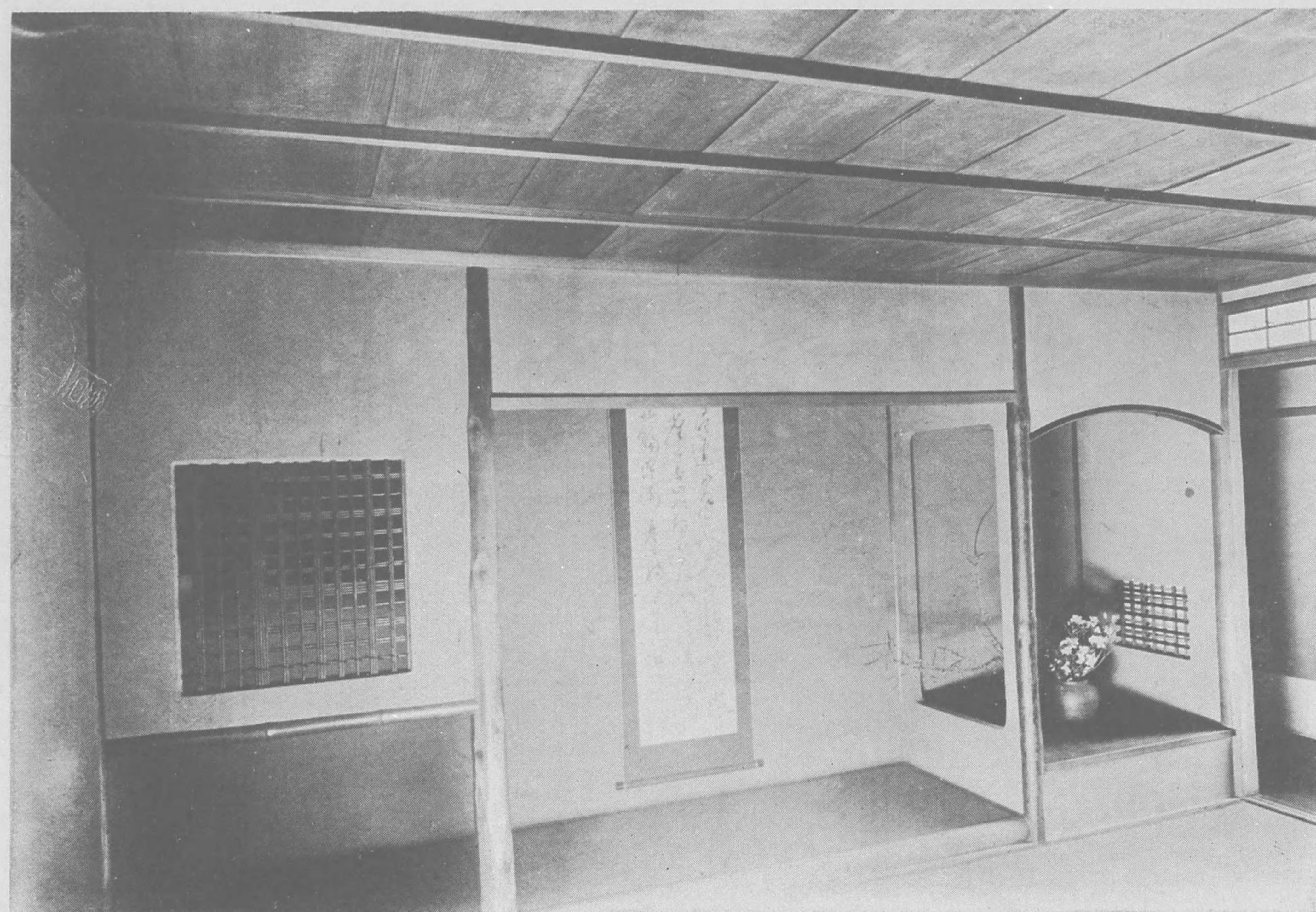
圖 四 十 八 第



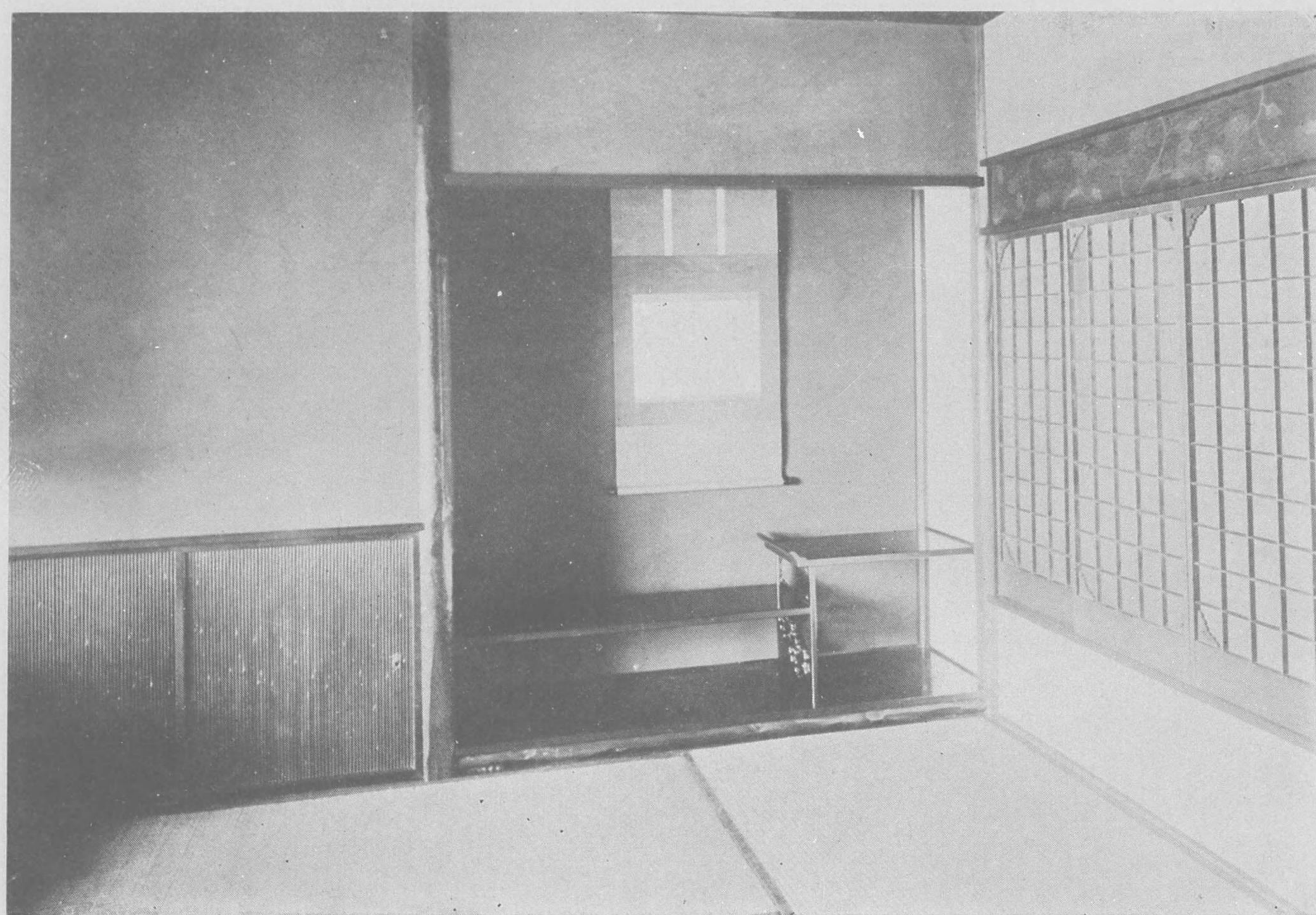
圖五十八第



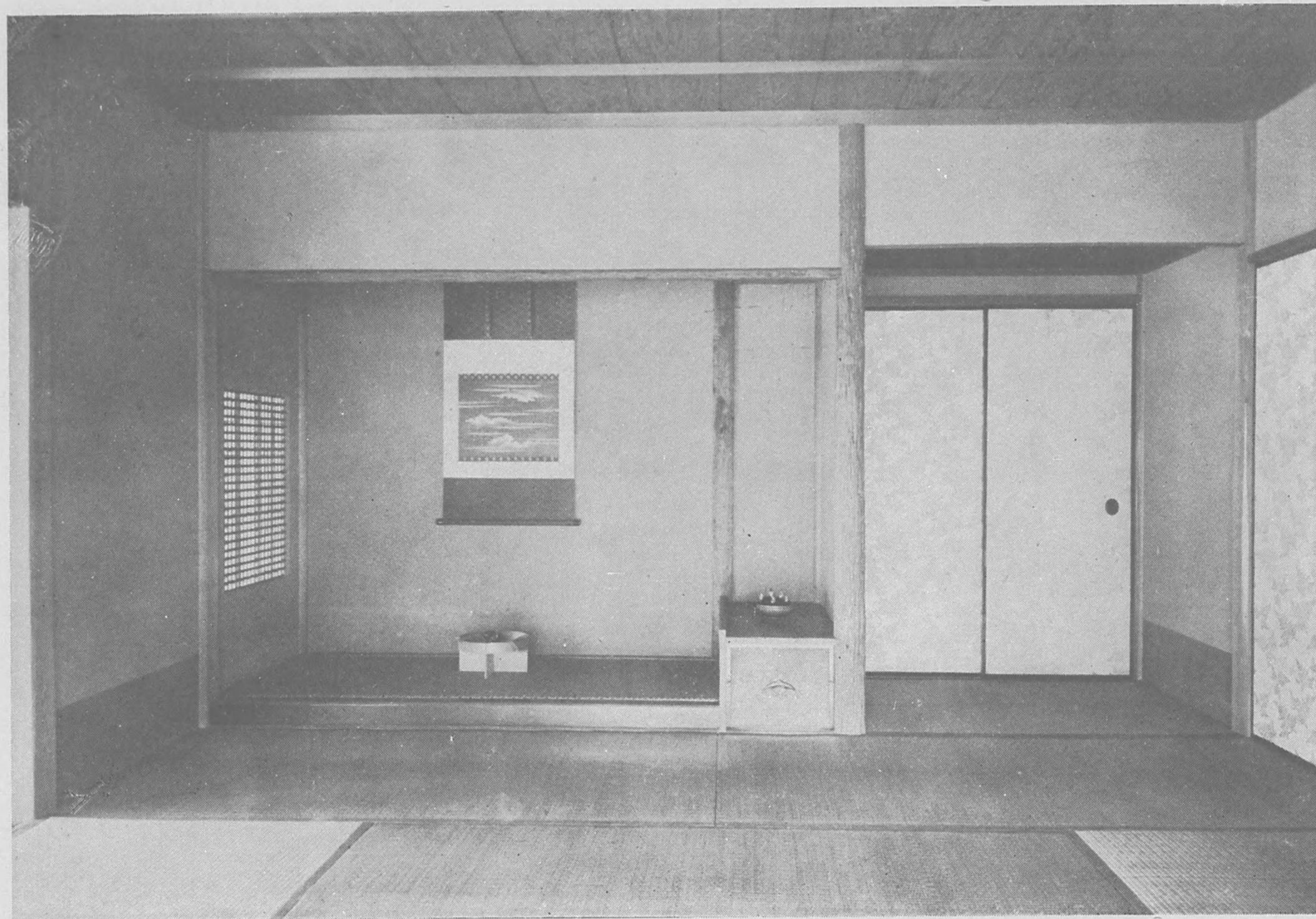
圖六十八第



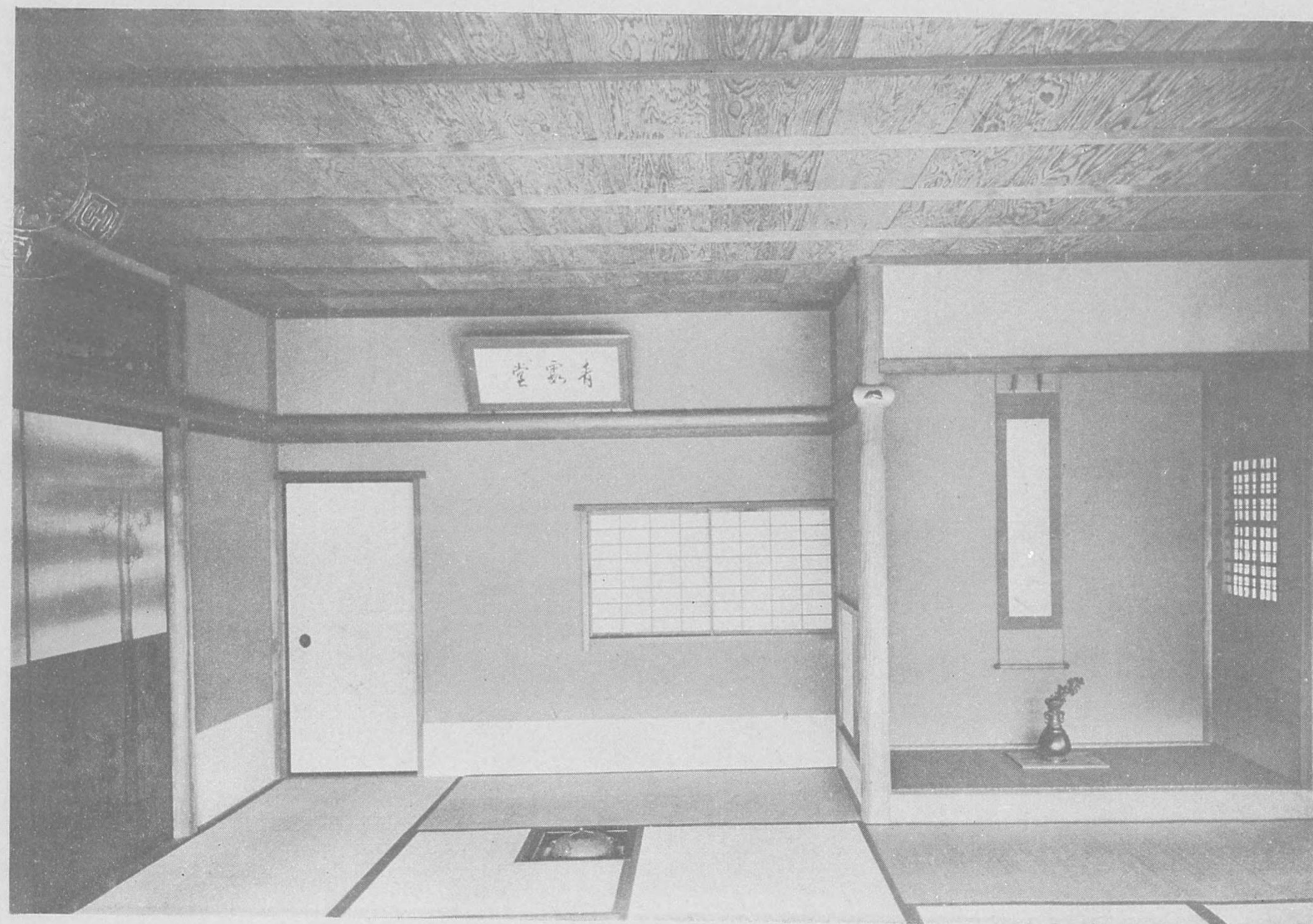
圖七十八第



圖八十八第



圖九十八第



圖十九第

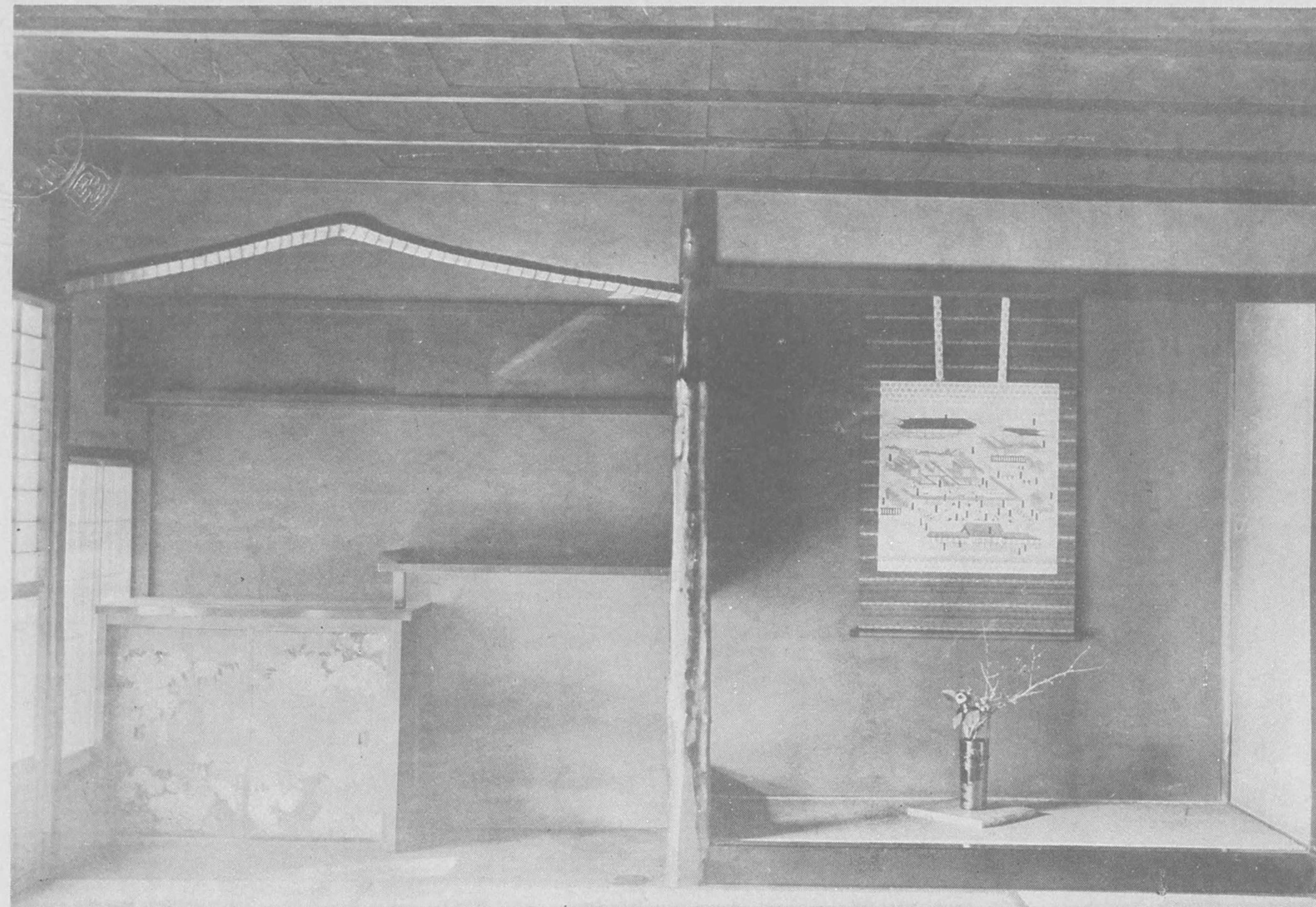
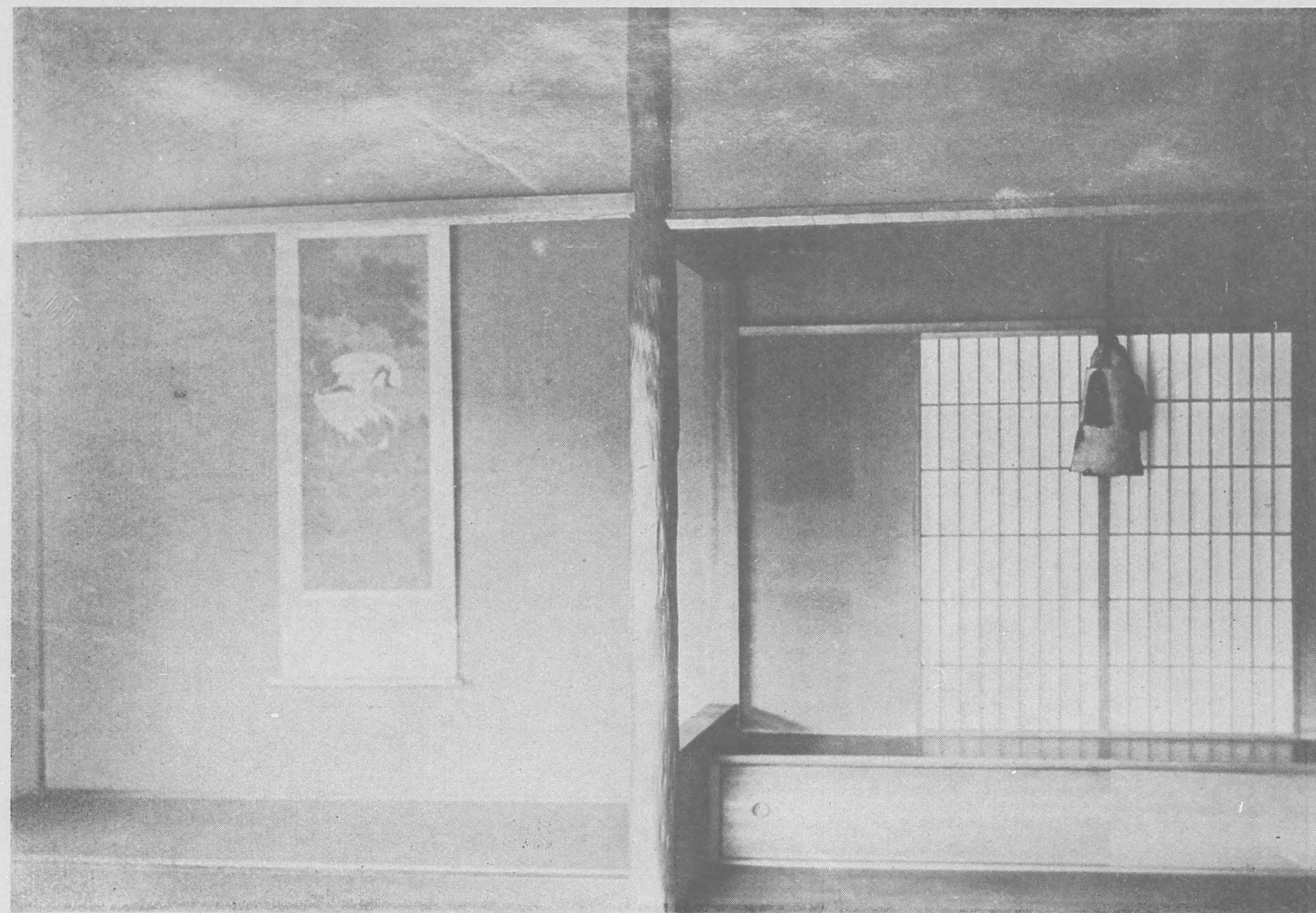


圖 一 十 九 第



圖二十九第